

## 資料編

## 地域の概況

## 1. 豊明市の概要

本市は、愛知県の中央よりやや西部に位置し、東は境川を隔てて刈谷市、北は東郷町、西は名古屋市、南は大府市に接しています。

面積は 23.18km<sup>2</sup>、周囲 27km で地形は台地と低地からなり、一帯の土地は、北部の標高 72m を最高に南に向かってゆるやかに傾斜し、全市平野部を形成しています。土地は肥沃で、温暖な気候に恵まれているため農業に適していますが、近年では、その自然にあふれた環境のよさから宅地化が進み、きれいな街なみの住宅地として整備しています。

本市の位置図は図-1 に示すとおりです。



図-1 豊明市の位置図

## 2. 自然条件

### 1) 水象

本市の主な河川は、若王子川、井堰川、正戸川、皆瀬川及び五箇村川です。すべての河川は池を水源としており、市の東端（刈谷市との市境）を流れる境側に注いでいます。

### 2) 気象

本市の最寄りの地方気象観測所である名古屋気象観測所における気温と降雨量を図-2及び表-1に示します。

過去5年間の年間平均気温は15～16℃前後となっています。

平成24年の降雨量をみると9月が最も多く、次いで7月となっており、降雨量が最も少ないのは1月となっています。

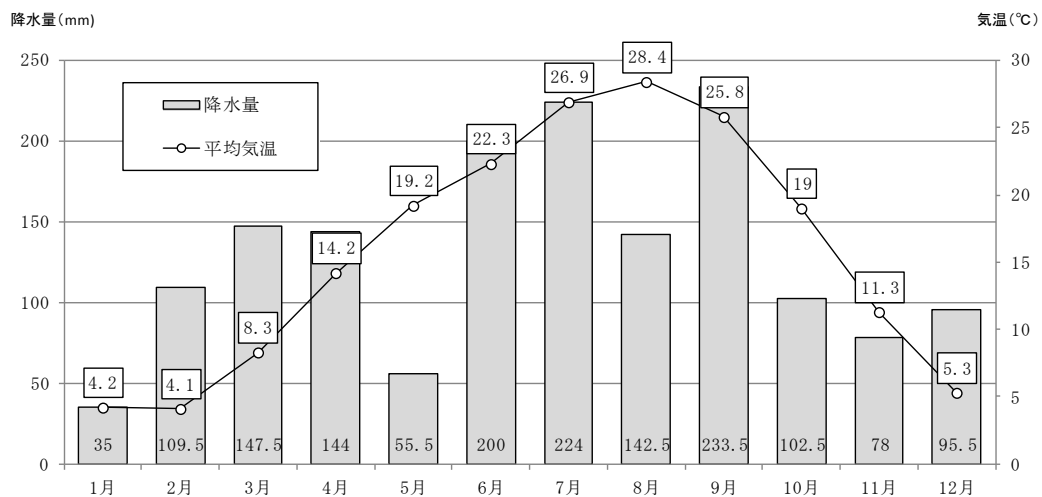


図-2 月別気温・降雨量の状況（平成24年 名古屋気象観測所）

表-1 気温・降雨量の状況（名古屋気象観測所）

年度	名古屋気象観測所			
	気温(°C)			降雨量 (mm)
	平均	最高気温	最低気温	
H. 20	16.4	37.9	-2.4	1,579.5
H. 21	16.5	35.2	-2.0	1,755.5
H. 22	16.6	38.0	-2.2	1,730.0
H. 23	16.1	36.7	-3.2	1,785.5
H. 24	15.8	36.9	-5.2	1,567.5

資料：気象庁ホームページ

## 3. 社会条件

## 1) 人口

## ア. 人口及び世帯

本市の平成15年度から平成24年度の10年間の人口及び世帯数の推移は図-3及び表-2に示すとおりです。

人口は平成15年から平成21年まで増加し続けていましたが、平成22年以降で減少に転じています。平成15年から平成24年までの10年間で1,614人増加しています。

その一方で、世帯数は経年的に増加の傾向がみられます。

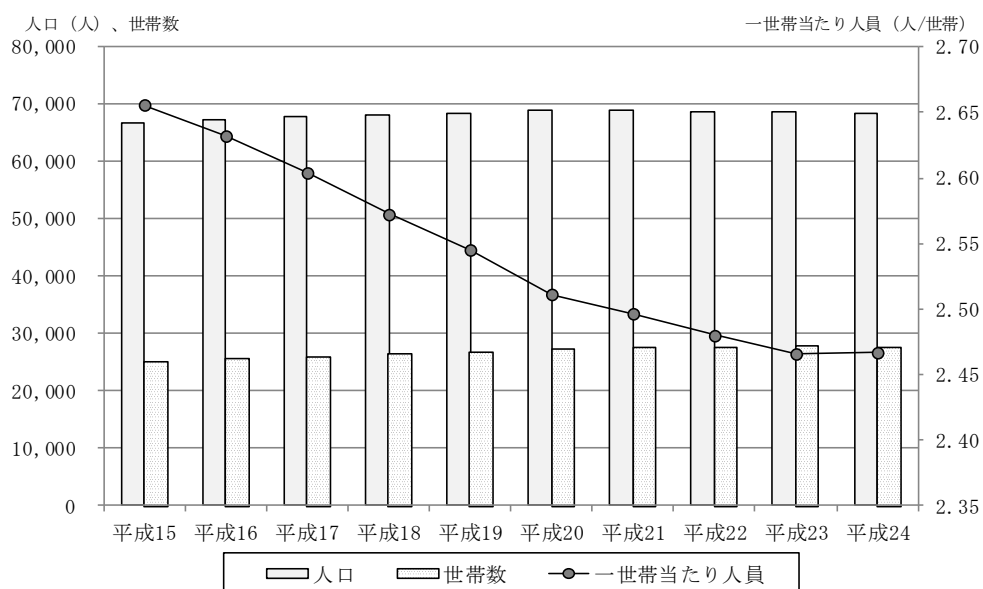


図-3 人口及び世帯数の推移

表-2 人口及び世帯数の実績

年度	人口 (人)		世帯数 (世帯)	一世帯当たり人員 (人/世帯)
	総数	対前年度増減数		
H. 15	66,805	-	25,153	2.66
H. 16	67,371	566	25,595	2.63
H. 17	67,755	384	26,019	2.60
H. 18	68,178	423	26,505	2.57
H. 19	68,534	356	26,926	2.55
H. 20	68,924	390	27,445	2.51
H. 21	68,861	-63	27,582	2.50
H. 22	68,811	-50	27,748	2.48
H. 23	68,567	-244	27,806	2.47
H. 24	68,419	-148	27,735	2.47

住民基本台帳登録人口(外国人含む) (各年10月1日現在)

イ. 人口動態

本市における人口の自然動態・社会動態の推移は、図-4及び表-3に示すとおりです。

過去10年間の人口増減をみると、平成15年から平成20年にかけては人口が年々増加していましたが、平成21年以降では減少に転じています。

自然動態で出生が死亡を上回り増加している一方で、社会動態において転入が転出を下回り、減少していることがこの要因となっています。

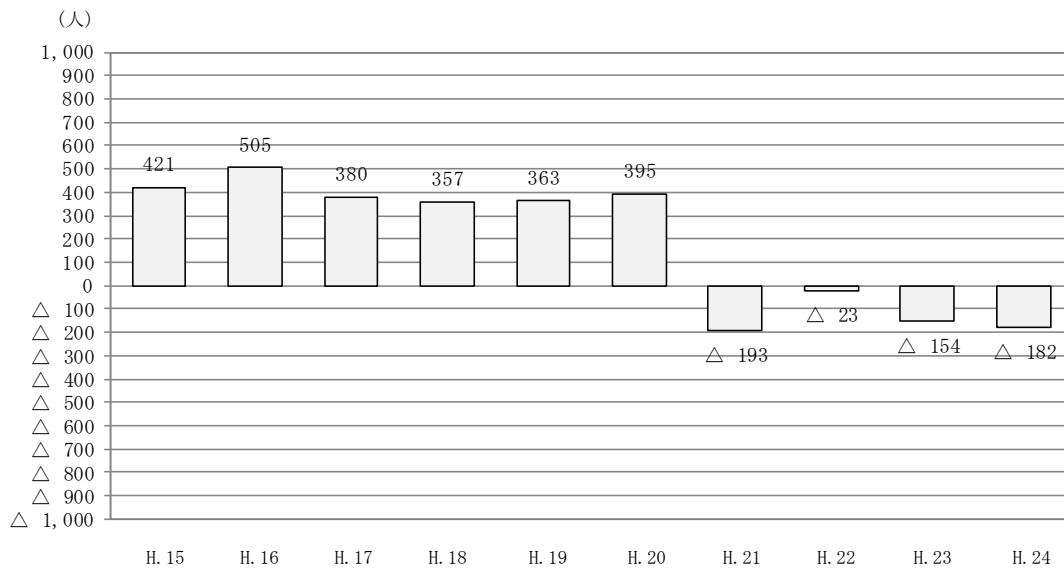


図-4 人口増減の推移

表-3 人口増減の推移

区分	単位	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	
人口増減	人	421	505	380	357	363	395	△ 193	△ 23	△ 154	△ 182	
自然動態	人	254	296	224	207	181	118	155	94	74	109	
	出生	人	689	714	652	675	651	554	612	600	616	633
	死亡	人	435	418	428	468	470	436	457	506	542	524
社会動態	人	167	209	156	150	182	277	△ 348	△ 117	△ 228	△ 291	
	転入	人	3,523	3,499	3,501	3,747	3,459	3,699	3,317	3,219	2,970	3,107
	転出	人	3,349	3,271	3,362	3,608	3,266	3,396	3,666	3,334	3,205	3,267
	その他増減	人	△ 7	△ 19	17	11	△ 11	△ 26	1	△ 2	7	△ 131

住民基本台帳登録人口(外国人含む) (各年1月～12月)

## ウ. 人口構造

本市における年齢別人口の状況は、図-5及び表-4に示すとおりです。

人口構造は、幼年人口、生産年齢人口の構成比が減少している一方で、老年人口の構成比が増加しており、高齢化が経年的に進んでいるものと考えられます。

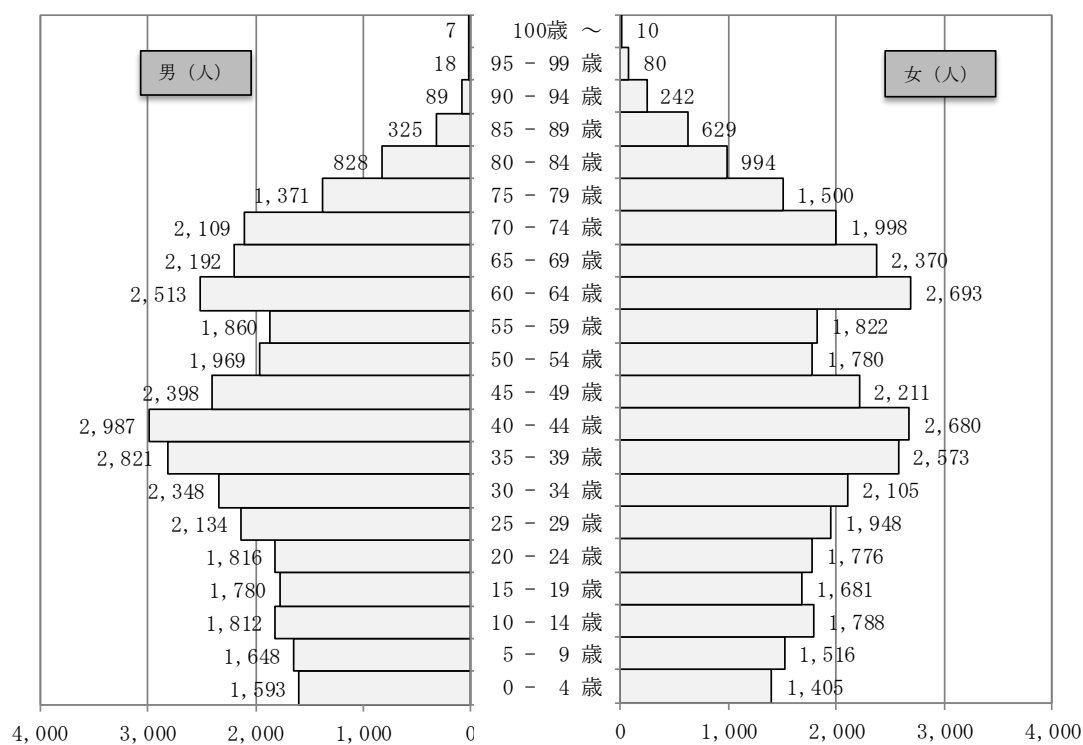


図-5 年齢別人口（平成24年10月1日現在）

表-4 年齢別人口

区分		H. 20		H. 22		H. 24	
		人口 (人)	構成比	人口 (人)	構成比	人口 (人)	構成比
幼年人口	0～14歳	10,315	15.0%	10,091	14.7%	9,762	14.3%
生産年齢人口	15～64歳	45,831	66.5%	44,886	65.2%	43,895	64.2%
高齢人口	65歳以上	12,778	18.5%	13,834	20.1%	14,762	21.6%
計		68,924	100.0%	68,811	100.0%	68,419	100.0%

住民基本台帳登録人口(外国人含む) (各年10月1日現在)

## エ. 流動人口

本市における流動人口の状況は表-5に示すとおりです。

平成12年から平成22年にかけていずれも流出人口が流入人口を上回っています。

自動車産業等の大規模工場の勤務者が市外へ流出することがこの要因として考えられます。

表-5 流出人口の状況

単位：人

年	夜間人口	流動人口			昼間人口	昼間人口比率
		流出人口	流入人口	流入超過数		%
H. 12	66,345	22,750	15,987	-6,763	59,582	89.8
H. 17	68,219	22,898	15,975	-6,923	61,296	89.9
H. 22	69,745	21,870	16,250	-5,620	64,125	91.9

資料：国勢調査人口（各年10月1日現在）

## 2) 産業

## ア. 産業構造

本市における産業別就業者数の推移は図-6及び表-6に示すとおりです。

平成16年から平成21年にかけて、事業所数が211事業所増加しており、就業者数では3,461人増加しています。

産業別割合では、第3次産業が最も多く70%弱、次いで第2次産業が30%強、最も少ない第1次産業は0.1%程度となっています。

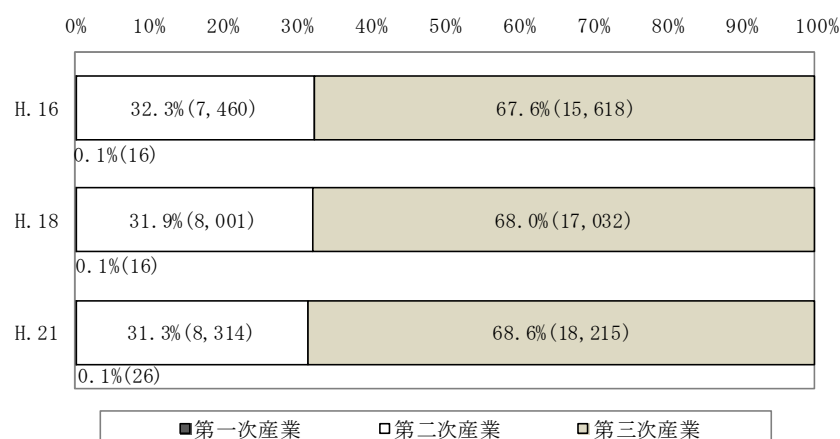


図-6 産業別就業者数の推移

表-6 産業別就業者数の推移

産業分類	H. 16		H. 18		H. 21		
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	
第1次産業	農林漁業	4	16	4	16	5	26
第2次産業	鉱業	—	—	—	—	—	—
	建設業	247	1,359	248	1,327	288	1,592
	製造業	356	6,101	361	6,674	377	6,722
	小計	603	7,460	609	8,001	665	8,314
第3次産業	電気・ガス・水道熱供給業	—	—	—	—	1	10
	運輸・通信業	44	694	43	679	59	946
	卸売・小売業飲食店	812	5,826	825	6,143	810	6,147
	金融・保険業	29	316	29	292	30	309
	不動産業	173	364	177	405	205	582
	サービス業	605	8,418	699	9,513	706	10,221
	小計	1,663	15,618	1,773	17,032	1,811	18,215
総数	2,270	23,094	2,386	25,049	2,481	26,555	

資料：事業所・企業統計調査（平成16年：6月1日現在、平成18年10月1日現在、平成21年7月1日現在）



## イ. 農業

本市における農家数の推移は図-7及び表-7に示すとおりです。

農家数は減少傾向にあり、平成7年から平成22年の15年間で総農家数は874戸から754戸の120戸減少しており、専業農家数は44戸から41戸の3戸減少しています。

また、農家数の多くが農業所得を主としない第2種専業農家や自給的農家であり、平成22年度では農家数に占める専業農家の割合が5.4%となっています。

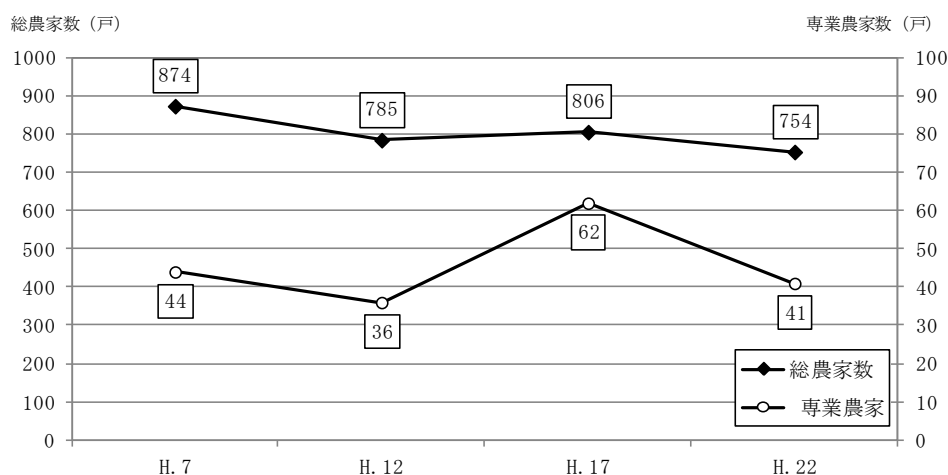


図-7 農家数の推移

表-7 農家数と農家人口の推移

年	農家数 (戸)								
	総農家数	専 兼 業 別						自給的農家	
		専業農家	第1種兼業農家		第2種兼業農家		割合 (%)	割合 (%)	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)				
H. 7	874	44	5.0%	45	5.1%	461	52.7%	324	37.1%
H. 12	785	36	4.6%	39	5.0%	397	50.6%	313	39.9%
H. 17	806	62	7.7%	21	2.6%	335	41.6%	388	48.1%
H. 22	754	41	5.4%	25	3.3%	309	41.0%	379	50.3%

資料：農業センサス（各年2月1日現在）

注1) 第1種兼業農家：農業所得を主とする兼業農家

注2) 第2種兼業農家：農業所得を従とする兼業農家

## ウ. 工業

従業者数・事業所数・製造品出荷額等の推移は図-8及び表-8に示すとおりです。

いずれも平成18年から平成22年の5年間で減少傾向にあります。

なお、平成22年において、事業所数では輸送機械業、金属製品業が多くを占めており、従業者数では食料品業、はん用機械業等が多くを占めています。

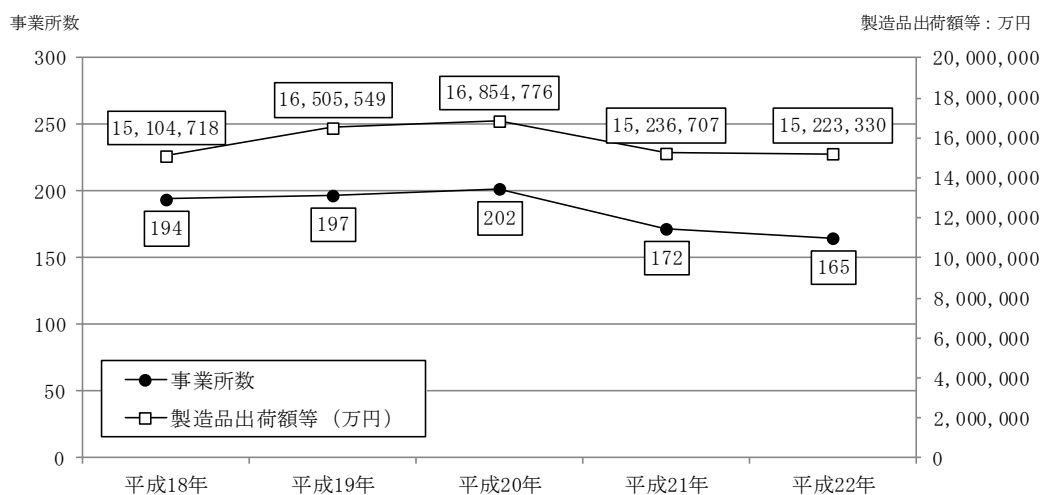


図-8 事業所数・製造品出荷額等の推移

表-8 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

区分	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21	H. 22
事業所数	194	197	202	172	165
従業者数 (人)	6,135	6,320	6,392	5,957	5,856
製造品出荷額等 (万円)	15,104,718	16,505,549	16,854,776	15,236,707	15,223,330

資料：工業統計調査（各年12月31日現在）

注）数値は従業者4人以上の事業所について集計したものです

## 工. 商業

本市における事業所数・年間商品販売額等の推移は図-9及び表-9に示すとおりです。

事業所数は平成14年から平成19年にかけて減少の傾向を示していますが、従業者数及び年間商品販売額は平成14年から平成19年で増加しています。

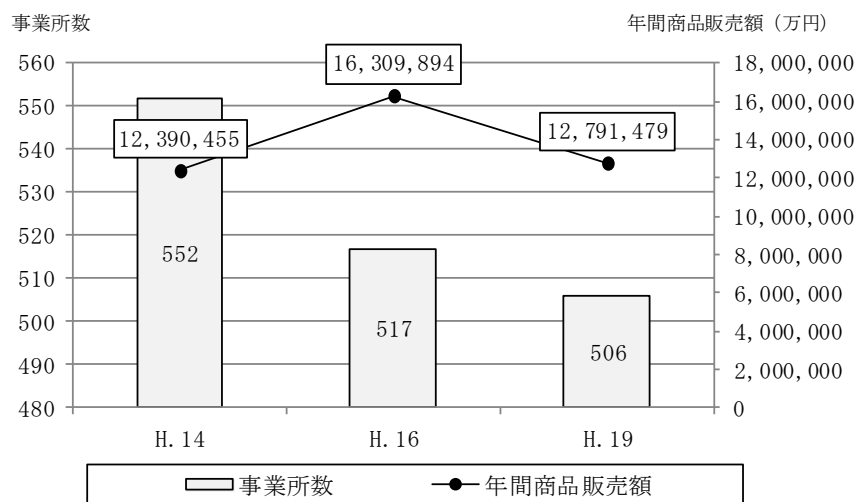


図-9 事業所数・年間商品販売額の推移

表-9 事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

項目		H. 14	H. 16	H. 19
事業所数	総数	552	517	506
	卸売業	107	110	93
	小売業	445	407	413
従業者数 (人)	総数	4,109	3,915	4,295
	卸売業	951	1,041	1,126
	小売業	3,158	2,874	3,169
年間商品販売額 (万円)	総数	12,390,455	16,309,894	12,791,479
	卸売業	7,215,079	11,461,155	7,507,966
	小売業	5,175,376	4,848,739	5,283,513

資料：商業統計調査（各年6月1日現在）

注）平成16年は簡易調査（民間事業所のみ）

## オ. 観光

本市における主な観光地として、桶狭間の合戦跡地として知られ、毎年6月に桶狭間古戦場まつりが開催される「桶狭間古戦場伝説地・高德院（平成23年観光者数：69,700人）」や、豊明市の最高地点でもある景勝地「二村山（平成23年観光者数：9,600人）」があります。

## 4. 土地利用

## 1) 都市計画

本市における都市計画用途地域別面積は図-10 及び表-10 に示すとおりです。

市全体に占める市街化区域の割合は 30.2%となっており、そのうち、「第1種中高層住居専用地域」が最も多く 52.3%、次いで「第1種住居地域」が 17.7%、さらに続いて「第1種低層住居専用地域」が 12.0%となっています。

このように、市街化区域の 86.7%を住居地域が占めており、反対に「工場地域」や「工業専用地域」がないという特徴がみられます。

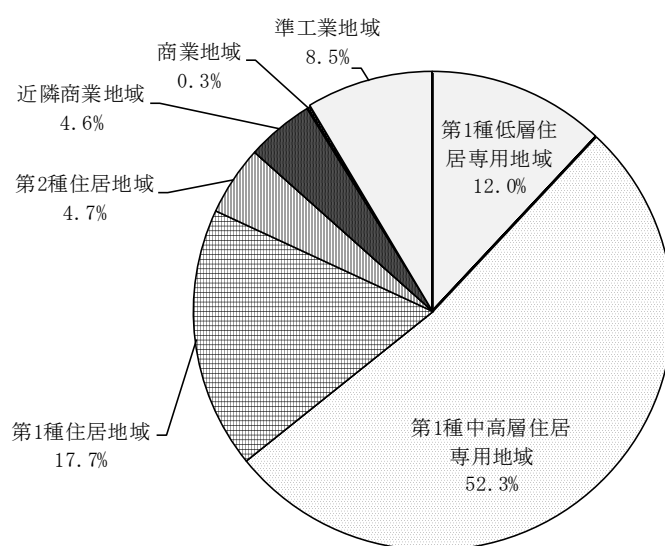


図-10 都市計画用途地域別面積 (市街化区域内割合 平成 22 年 12 月 24 日告示)

表-10 都市計画用途地域別面積

区分	市街化区域												
	計	住居専用地域				住居地域		準住居地域	商業地域		準工業地域	工業地域	
		第1種低層	第2種低層	第1種中高層	第2種中高層	第1種	第2種		近隣商業	商業		工業	工業専用
面積 (ha)	702	84	-	367	-	124	33	-	32	2	60	-	-
構成比 (%)	30.2%	3.6%	-	15.8%	-	5.3%	1.4%	-	1.4%	0.1%	2.6%	-	-
市街化区域内	100%	12.0%	-	52.3%	-	17.7%	4.7%	-	4.5%	0.3%	8.5%	-	-

資料：都市計画課

## 2) 土地利用状況

本市における土地利用状況は図-11 及び表-11 に示すとおりです。

宅地化が進んでおり、全体に占める宅地の割合が 28%と最も多く、次いで田の 16%、道路の 12%等となっています。

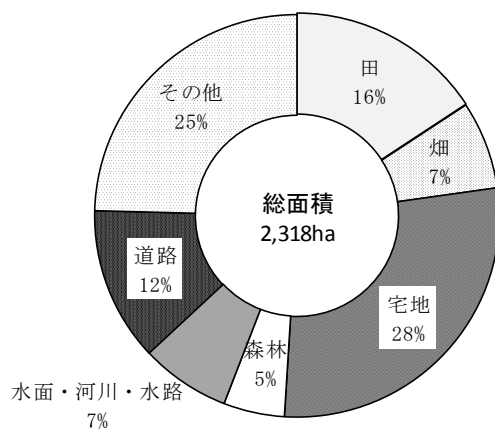


図-11 土地利用の現況

表-11 土地利用の現況

区分	行政面積	農地		森林	水面・河川・水路	道路	宅地		工業用地 その他の宅地	その他
		田	畑				住宅地			
面積 (ha)	2,318	528	365	113	167	286	654	488	166	570
構成比 (%)	100%	23%	16%	5%	7%	12%	28%	21%	7%	25%

資料：土地に関する統計年報（平成23年実績）

## 5. 関連計画

### 1) 第4次豊明市総合計画

#### ア. 基本理念・将来像

本市では、平成15～17年度の3か年をかけ、本格的な市民参加と全庁的な職員参画を経て、「第4次豊明市総合計画」を策定しています。この計画期間は平成18年度から平成27年度の10年間と定めていましたが、前期の5年が経過した中で少子高齢化や高度情報化の進展、環境問題の顕在化をかんがみて計画を見直し、新たに平成23年度から平成27年度の後期基本計画を策定しています。

計画の基本理念・将来の都市像は図-12に示すとおりです。

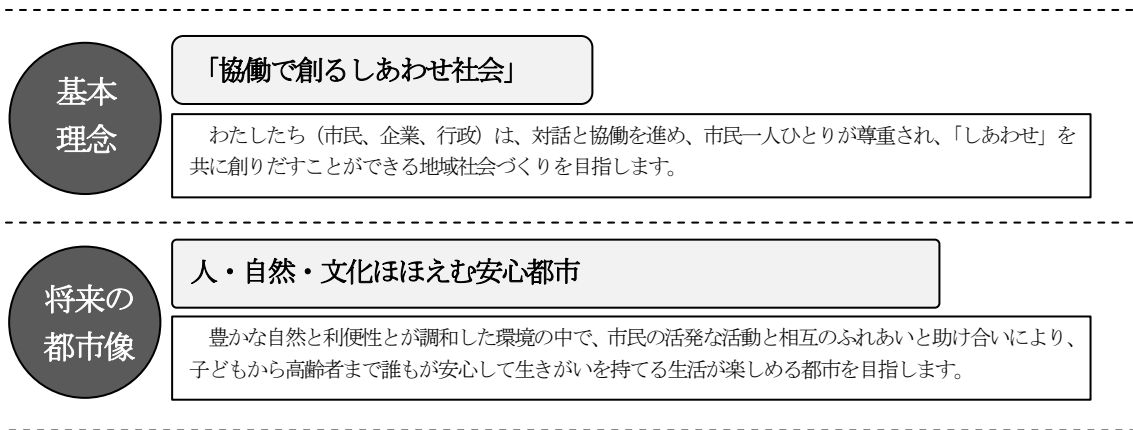


図-12 基本理念・将来像

#### イ. 将来人口

将来人口について以下のように定めています。

計画策定時（2005年）：68,285人        目標年度（2015年）：72,000人

#### ウ. 循環型社会の形成に関する計画

循環型社会の形成に向けて以下のように目標が掲げられています。

##### ◆施策のめざす将来の姿

- ごみの排出が抑制されるとともに、ごみとして出されても資源として適正に循環利用される循環型社会が形成されています。
- 市民・事業者・行政の各主体が担い手となる循環型社会が形成されています。

## ◆現状と目標値

基本成果指標	現状値	前期計画目標 値	現状値	目標値
	2004年	2010年		2015年
資源化率 (%)	27	40	29.0	33.0
家庭ごみの減量等に対する満足度 (%)	79.8	81.0	87.4	88.0

## ◆施策の内容

<b>(1) ごみ減量化の推進</b>	
①3Rの推進と情報の発信	ごみの減量化のため、市民、事業者とともに3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進するため、ごみの分別徹底とリサイクルを促す情報提供やPRを行うなど、様々な取り組みを展開します。
②市民意識の高揚	身近な環境問題をきっかけにした市民のごみ減量に向けた取り組みを促す学習機会を提供します。また、ごみの組成調査に対する協力を通して、意識の高揚を図ります。
③事業系一般ごみの減量化推進	事業所からのごみが適切に排出されるよう、自己処理の原則や排出方法を説明・指導するとともに、リサイクル業者の紹介等を行います。
<b>(2) リサイクルの推進</b>	
①リサイクル製品の普及	リサイクルによって再生された資源を利用したリサイクル製品の普及に努めます。また、各種リサイクル法の主旨や役割分担をPRし、ごみの不法投棄の防止と循環型社会の構築を推進します。
②リサイクル拠点の整備	資源ごみを常時持ち込むことができるリサイクル拠点を整備し、市民の利便性向上とリサイクルの推進に努めます。また、リサイクルプラザの整備をしていきます。
<b>(3) 有機循環システムの構築</b>	
①生ごみ堆肥化の推進	分別収集地区における協力率の向上を図るとともに、回収及び堆肥化に係るコストの削減、堆肥の増産に努めます。
②生ごみ堆肥の普及・活用	沓掛堆肥センターで生産された「とよあけEco堆肥」の利用を促進するため、試験農園の運営を行うとともに、年間を通じて施肥される畑への堆肥の提供を継続します。
③農家と市民の協働	「とよあけEco堆肥」を使用する農家の登録や生産された農産物の認証制度を運用し、農業生産者・市民・事業者等の関係者が連携した循環システムの構築をめざします。
<b>(4) ごみ処理施設の整備</b>	
①焼却場の整備	東部知多クリーンセンターの老朽化に対応するため、関係自治体と調整を図りつつ新たな施設の整備を進めます。
②最終処分場の確保	廃棄物の減量化を推進し、関係機関に委託している最終処分場の延命化に努めます。また、新たな最終処分場の確保等を検討します。

## ◆単位施策の成果指標

単位施策の成果指標	現状値	前期計画目標 値	現状値	目標値
	2004年	2010年		2015年
家庭系ごみの排出量 (t)	19,542	18,301	18,530	17,670
事業系一般ごみの排出量 (t)	5,553	4,242	3,172	3,000
資源ごみリサイクル施設数 (箇所)	2	3	2	4
生ごみ堆肥化対象世帯数 (世帯)	1,835	8,000	8,000	8,000
焼却場へのごみの搬入量 (t)	18,697	14,813	15,673	13,818
最終処分場へのごみの搬入量 (t)	2,566	2,108	2,217	1,980

## ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要
ごみ減量化推進事業	市	家庭、事業所から出るごみの量の減量化を図る
有機循環推進事業	市	生ごみの分別収集地区における協力率向上及び生ごみの堆肥化、堆肥の有効利用を図る
リサイクルプラザ整備事業	市	リサイクル活動の拠点となる施設を整備する
新クリーンセンター整備事業	市 (広域)	関係自治体と調整し、新たなごみの焼却場の整備する
新最終処分場整備事業	市 (広域)	関係自治体・機関と調整し、最終処分場を整備する



## 2) 豊明市環境基本計画

本市では環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、「21世紀のとよあけ環境羅針盤」を策定しています。この計画の期間は平成13年度から始まる20年間で、短期目標を平成17年度、長期年度を平成32年度と設定しています。

この計画の望ましい環境像の一つとして掲げられている「循環型ライフスタイルをめざして」では、以降に示すようなごみ処理に関する計画を検討しています。

### ア. 環境目標

環境目標について、短期目標、長期目標に分けて以下のとおりに定めています。

短期目標	一人一日あたりのごみ排出量 280 g 以下をめざします。
	事業系ごみ排出量を 2000 年比で 40%削減をめざします。
長期目標	市民・事業者・行政の協力・連絡体制を確立するとともに、その取組を豊かなまちづくりに活かしていきます。
	市内全ての廃棄物の処理や投棄について、環境影響や環境汚染を監視していきます。
	ごみゼロ社会を目指します。

### イ. 施策の方向性

施策の方向性について、以下のとおりに定めています。

1 ごみ出しのルールとマナー	
a ごみ意識の向上啓発	市民のごみ処理意識向上のため、広報や教育等を通して、ごみ問題等の周知、ごみ意識の啓発を進めていきます。
b 実践行動の推進、マナーの向上	ごみ出しルールの適正管理のため、減量推進員等の活動により適切なごみ出し等の実践行動の推進、マナーの向上を図っていきます。
c ポイ捨て、不法投棄、犬の糞等	ごみのポイ捨て、不法投棄、犬の糞等の放置は、市民のモラルによるところが大きく、意識の向上・啓発、マナー向上等を図っていきます。
d 道路・空き缶や公園のゴミ	道路・空き地や公園のごみポイ捨て問題が生じている場所では、看板設置、ごみ箱の撤去、きれいにしてポイ捨てしにくくする等を検討していきます。
e 剪定枝・落葉の処理	公園、街路樹や家庭の庭木等から発生した剪定木・落葉は、リサイクル（堆肥化）等による適切な処理を行っていきます。
f 雑草の管理	道路の雑草は行政と地域住民との協力を原則に対応していきます。空き地の雑草は土地所有者等の理解・協力を求めていきます。
2 ごみ減量と資源リサイクルの推進	
a ごみを断る生活様式の定着	1 R (Refuse:断る)として、買い物袋持参でレジ袋を断ったり、ごみになるものを買わない生活様式の推進を図っていきます。
b ごみ排出を減らす工夫	2 R (Reduce:減らす)として、過剰包装の回避、エコクッキングの実践等、市民や事業者とともにごみ排出を減らす工夫をしていきます。
c 再利用の推進	3 R (Reuse:再利用)として、リユース容器の活用、フリーマーケット、粗大ごみのリサイクル等の再利用の推進を積極的に行います。

d リサイクルの推進	4 R (Recycle:再資源化)として、ごみ分別、資源回収、生ごみの処理・堆肥化、再生品の普及等の資源のリサイクルに取り組んでいきます。また、リサイクルを推進していくため、リサイクルルートの確保・拡充・開発に努めていきます。
e 有機循環資源リサイクルシステムの推進	現在、市内の一部の地区で、試験的に生ごみを分別収集して堆肥化しています。生ごみ堆肥化の規模拡大や確立を進めていくため、収集や処理等の方法、堆肥の安全性、堆肥の使い道を検討していきます。 木の剪定くず等も、粉砕、堆肥化等でリサイクルを進めていきます。 市内の家庭生ごみを堆肥化し、それを使って安全で健康な農作物を作って、それを市民が消費するような、生ごみの循環システムを確立していきます。
f 生ごみ処理機補助制度の推進	家庭での生ごみの減量、堆肥化リサイクルを促進するため、生ごみ処理機の補助等を進めていきます。なお、適切な利用がなされているか調査する等、制度のフォローアップにも努めます。
g ボカシによる生ごみの堆肥化	ボカシによる堆肥化で家庭単位の生ごみの減量・リサイクルも進めていきます。ボカシは適切に扱わないと臭って近所迷惑になることもあるので、ボカシの正しい使い方等の情報を広めていきます。また、家庭で使い切れなかった堆肥の活用方法についても検討していきます。
h ごみの適正処理、新処理技術・仕組みの導入	リサイクルできないごみについては、市収集・処理等で適切な廃棄物処理を図っていきます。そのため、さらなるごみの適正処理、新処理技術・仕組みの導入を検討していきます。また、ごみの収集や資源リサイクルの方法やシステム等についても、市民の意見を聞きながら、逐次、検討等を進めていきます。
i 事業者が行うごみ減量等への働きかけ	事業活動に伴い発生する事業系一般廃棄物については、適正なごみ処理・減量を働きかけていきます。
j 産業界等への働きかけ	資源リサイクルを推進していくためには、市民、行政、生産・流通業等の事業者の三者が協力して取り組むことが重要であるため、分別・リサイクルしやすい製品や仕組み等について、事業者等へ働きかけていきます。
k ごみゼロ社会を目指した研究・理念づくり	ごみのないまちづくりを進めていくため、循環型社会構築の制度等の経済的手法などの導入も含めて、環境負荷低減・資源保護を考え入れたごみゼロ社会を目指した研究・理念づくりを進めていきます。
<b>3 環境に配慮したごみ処理</b>	
a 産業廃棄物の適正処理、土壌・地下水等の環境汚染の防止	産業廃棄物については、信頼性と安全性を確保した適正処理を図り、不法投棄を防止するとともに、土壌・地下水等の環境汚染の防止も図っていきます。
b 廃棄物処理施設の適正化	一般廃棄物や産業廃棄物の最終処分場等、廃棄物処理施設の建設・維持管理は、公共・民間の関係なく、周辺環境や住民に影響や不安を生んでいます。このため、廃棄物処理施設の建設・維持管理、不法投棄等については、県・国、産業界等と連携することに加え、市条例による独自の監視・取締を行っていきます。

### 3) 東部知多衛生組合における関連計画

本市におけるごみ処理は、大府市、知多郡東浦町、阿久比町と本市を含む2市2町で構成される東部知多衛生組合において広域処理しています。

以降に東部知多衛生組合の関連計画について整理します。

#### ア. ごみ処理基本計画（平成21年10月策定）

平成21年を初年度とし、平成35年度までの15年計画となっています。

また、達成管理のため8年目の平成28年度を中間目標年度、平成35年度を計画目標年度と設定します。

##### a. 基本理念・基本方針

ごみ処理における組合の役割は、大きくごみの適正処理及び最終処分であることを考慮して、基本理念と基本方針を以下のように定めています。

###### ■基本理念■

適正処理・処分システムの構築による循環型社会の形成

###### ■基本方針■

###### ○構成市町との協働による減量化・資源化の推進

構成市町におけるごみ減量化、資源回収の推進施策に対し、組合としての協力体制を強化し、更なる減量化・資源化の推進に努める。

###### ○資源循環・環境保全に配慮した処理・処分システムの構築

中間処理から最終処分を実施するなかで、資源化や減量、減容化、エネルギー利用、環境負荷低減等に努め、循環型社会形成、環境保全に寄与する。

###### ○安全かつ経済的な適所処理・処分の実施

環境面、作業面ともに安全な処理、処分に努めるとともに、より経済的な処理、処分の実現を目指す。

##### b. 将来目標

具体的な数値目標を以下のように定めています。

###### ① 1人1日当たりの排出量を現状（平成20年度）から12%減量

家庭系ごみ 760.4 g/人・日 ⇒ 699.6 g/人・日 (8%減)

事業系ごみ 36.9 t/日 ⇒ 29.0 t/日 (21%減)

###### ② 資源化率を現状（平成20年度）の26%から34%に向上

資源化率（集団回収含む）26.0% ⇒ 34.2% (8.2%増)

###### ③ ごみの最終処分量を現状（平成20年度）から70%減量

最終処分量 8,328 t ⇒ 2,530 t (69.6%減)

## イ. ごみ処理施設の整備に関する計画

現在、東部知多クリーンセンター内の焼却施設について、最終処分場の減容化を図るために溶融施設を整備し、溶融スラグ、メタルの再資源化を図ることができる新たな可燃ごみ焼却施設の整備を計画中です。また、粗大ごみ処理施設、最終処分施設も新たに整備するよう計画中です。整備計画の概要は以下のとおりです。

	概 要		
	中間処理		最終処分
	可燃ごみ処理施設	粗大ごみ処理施設	最終処分場
処理対象物	可燃ごみ、粗大ごみ処理施設からの可燃物、脱水汚泥	不燃ごみ、粗大ごみ	熱回収施設からの溶融残渣、粗大ごみ処理施設からの不燃性残渣
処理方式	熱回収施設（焼却（溶融）処理）熱処理により可燃ごみの減量、減容化を図るとともに、効率的な熱回収を行う。残渣は溶融処理等による資源化を検討する。	破碎・選別	準好気性埋立処理
施設規模	約 210 t/日	約 13 t/日	約 53,000m <sup>3</sup>
整備時期	平成 31 年度稼働（予定）	平成 34 年度稼働（予定）	平成 27 年度稼働（予定）

ごみ排出量の推計

1. 推計方法

将来予測は、人口は過去10年間の実績や上位計画等の将来人口を基に予測し、ごみ排出量等は過去5年間（平成20年度～平成24年度）の実績を用いて、最も近似する回帰式（5式）を求め予測します。このうち、ごみ排出量は大きく家庭系ごみと事業系ごみに分け、家庭系ごみは1人1日平均排出量(g/人・日)を基に、事業系ごみは年間量(t/年)を基に予測します。なお、将来予測は「現況推移ケース」（現況実績のまま推移した場合の予測）と、それに対して発生・排出抑制及び資源化移行に関する施策を展開した場合の予測「目標達成ケース」の2段階に分けて検討します。予測フローは図-13に示すとおりです。

また、回帰式を求める方法として、次の5ケースについて検討します。

① 一次傾向線	: $y=ax+b$	: 単調な増加（減少）を示す直線式	
② 二次傾向線	: $y=ax^2+bt+c$	: 年次とともに増加率（減少率）が収縮していく曲線式	
③ 一次指数曲線	: $y=a \times x^t$	: 年次とともに緩やかに増加（減少）していく曲線式	
④ ベキ曲線	: $y=a \times x^b$	: 年次とともに増加率（減少率）が増大していく曲線式	
⑤ ロジスティック曲線	: $y=K/(1+e^{(a-bx)})$	: 最初は増加（減少）し、途中でその増加率（減少率）が最大になった後、無限年度後に飽和に達する曲線式	
x	: 基本年からの経過年数	y	: 基本年からx年後の推計値
K	: 飽和値	a, b, c	: 定数

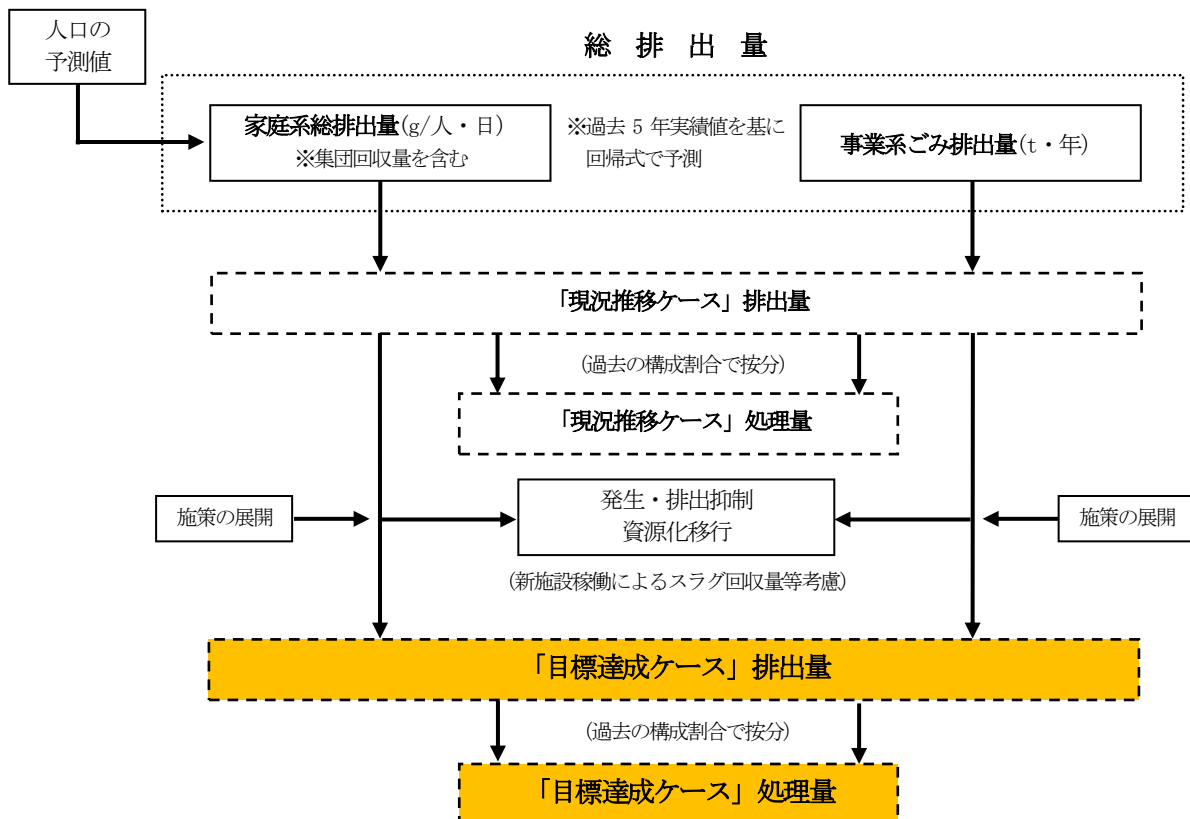


図-13 予測フロー

## 2. 人口の予測

人口実績は、表-12 及び図-14 に示すとおりです。過去 10 年間では平成 15 年以降増加が続いていましたが、平成 20 年をピークに年々減少しています。人口動態別では、自然動態で出生が死亡を上回り増加している一方で、社会動態において転入が転出を下回っているため、全体としての人口が減少しています。

本市の将来人口については、第 4 次豊明市総合計画（平成 18 年度～27 年度）において、目標年度である平成 27 年度に 72,000 人を想定していますが、平成 24 年度実績では 68,419 人であるため、現実的には想定人口より少ない推移を示すものと考えられます。

表-12 人口の実績

	H. 15	H. 16	H. 17	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24
人口	66,805	67,371	67,755	68,178	68,534	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419
増減数	—	+566	+384	+423	+356	+390	-63	-50	-244	-148

住民基本台帳登録人口(外国人含む) (各年10月1日現在)

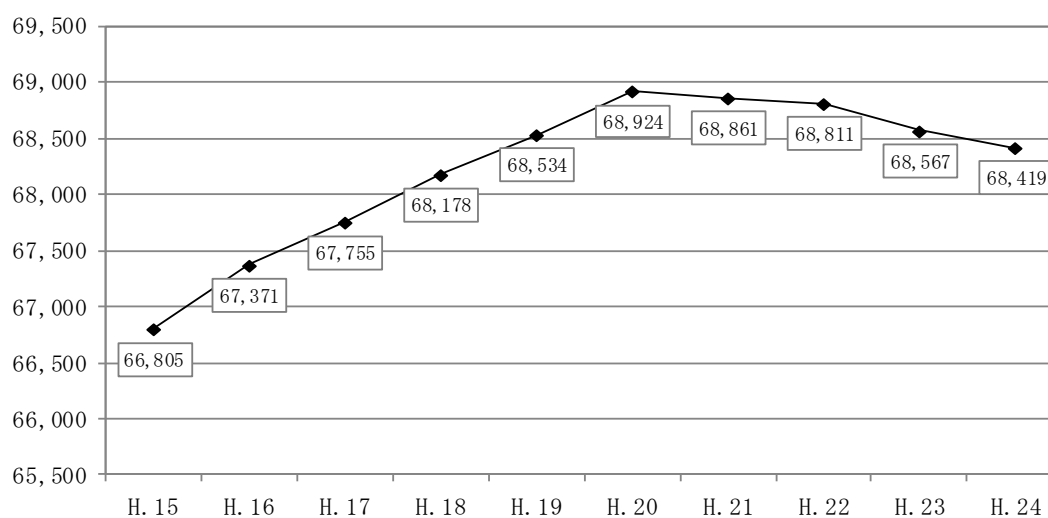


図-14 人口の実績

人口の予測結果は、表-13 及び図-15 に示すとおりです。

過去 10 年間の実績を基に推計をすると人口増加が予想される一方。過去 5 年間の実績を基に推計をすると人口減少が予想されます。

過去 5 年間の実績から今後も減少が予測されますが、ある程度で飽和するものと考えられるため、減少の傾向を示す過去 5 年間の実績の中で最も減少量の少ない「べき曲線」を採用します。

表-13 人口の予測

年度	実績	人口(人)										総合計画	
		過去10年間の実績を基に推移					過去5年間の実績を基に推移						
		一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線		
15	66,805												
16	67,371												
17	67,755												
18	68,178												
19	68,534												
20	68,924												
21	68,861												
22	68,811												
23	68,567												
24	68,419												
25		69,243	68,052	69,252	69,198	69,176	68,325	68,143	68,326	68,348	68,102		
26		69,429	67,588	69,442	69,347	69,334	68,195	67,831	68,196	68,237	67,649		
27		69,614	67,015	69,632	69,491	69,488	68,064	67,466	68,067	68,131	66,990	72,000	
28		69,800	66,334	69,823	69,630	69,639	67,934	67,050	67,938	68,028	66,040		
29		69,985	65,545	70,014	69,764	69,786	67,804	66,582	67,809	67,959	64,884		
30		70,171	64,648	70,205	69,894	69,930	67,673	66,061	67,680	67,834	62,778		
31		70,356	63,642	70,397	70,020	70,071	67,543	65,489	67,552	67,742	60,158		
32		70,542	62,528	70,590	70,142	70,209	67,412	64,864	67,424	67,653	56,663		
33		70,728	61,306	70,783	70,261	70,344	67,282	64,188	67,296	67,567	52,180		
34		70,913	59,975	70,977	70,376	70,476	67,152	63,460	67,168	67,484	46,718		
35		71,099	58,536	71,171	70,488	70,605	67,021	62,679	67,041	67,403	40,457		
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{b(X-a)})$	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{b(X-a)})$			
a=	64,604.1	44,461.2	64,678.8	57,990.6	0.2	71,585.2	59,053.2	71,647.2	78,084.1	0.0			
b=	185.6	2,297.3	1.0	0.1	0.0	-130.4	1,013.6	1.0	-0.0	-0.4			
c=		-54.1					-26.0						
K=					75,816.4						69,068.4		
相関係数	0.798	0.700	0.796	0.822	0.815	0.962	0.977	0.962	0.957	0.986			
採用結果									○				

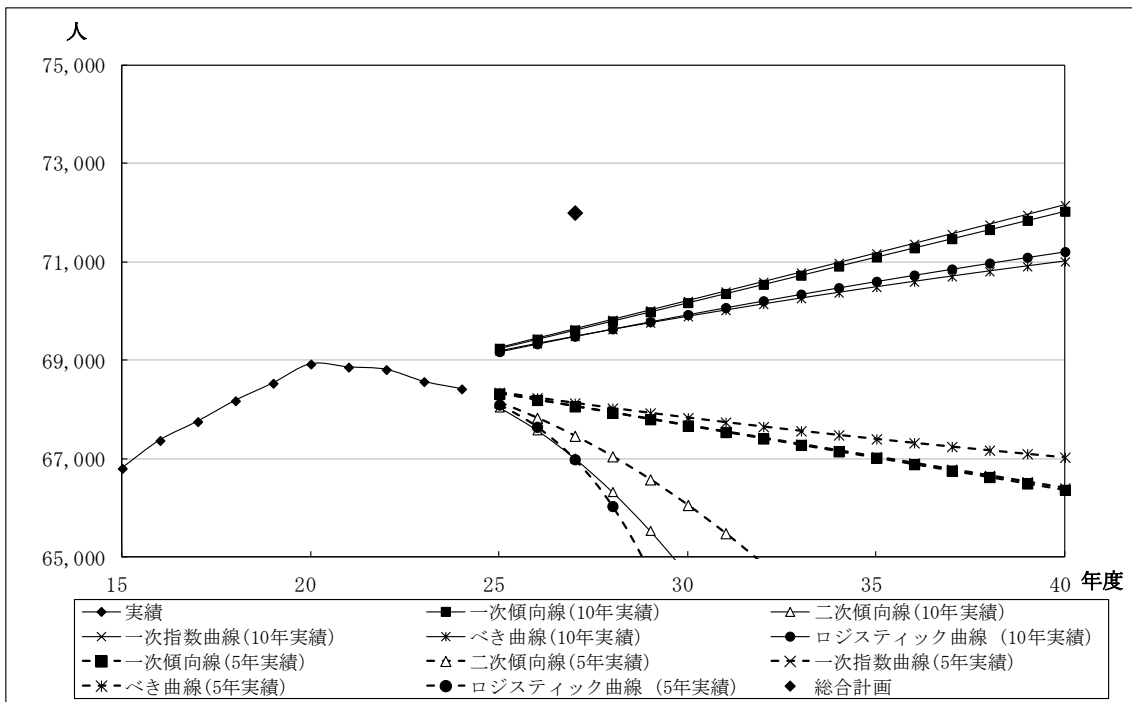


図-15 人口の予測

### 3 現況推移ケースの予測

表-14 に示す分別区分に基づき、現況推移ケースにおける家庭系ごみ（集団回収量含む）及び事業系ごみの総排出量を予測します。

表-14 予測対象ごみの分別区分

大区分	中区分	小区分
家庭系ごみ (g/人・日)	燃えるごみ	収集、直接搬入
	燃えないごみ	収集、直接搬入
	資源ごみ (集団回収含む)	収集（拠点回収含む）＋集団回収（紙・布類、紙製容器包装、金属類、ビン類、乾電池、ペットボトル）
	プラスチック製容器包装	収集
	粗大ごみ	可燃性粗大ごみ、不燃性粗大ごみ、粗大回収金属
	生ごみ	収集
	使用済小型家電	拠点回収
事業系ごみ (t/年)	燃えるごみ	許可収集、直接搬入
	燃えないごみ	許可収集、直接搬入
	公共施設	燃えるごみ、燃えないごみ



## 1) 家庭系ごみ排出量原単位の予測

表-15 に示す過去 5 年間の実績値（排出量原単位）を用いて、家庭系ごみ排出量原単位の予測根拠を表-16 のように、推計結果を表 17～31 及び図 16～30 のように定めます。

表-15 予測に用いる実績値（家庭系ごみ排出量原単位）

単位：g/人・日

分別区分		H. 20	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24
燃えるごみ	収集	466.8	455.3	451.8	454.1	456.7
	直接搬入	18.2	15.5	15.5	15.2	16.6
燃えないごみ	収集	21.3	20.6	19.9	20.0	20.1
	直接搬入	3.2	2.4	2.4	2.6	3.0
資源ごみ	紙・布類	160.3	149.4	143.4	133.3	127.7
	紙製容器包装	9.4	9.2	8.6	8.1	7.6
	金属類	7.6	7.4	7.2	7.1	7.1
	ビン類	20.9	21.5	20.1	18.4	17.5
	乾電池	1.0	1.1	1.0	0.7	0.7
	ペットボトル	6.0	6.1	6.1	5.6	5.4
プラスチック製容器包装	収集	31.0	29.8	29.4	29.3	28.7
粗大ごみ	可燃性粗大ごみ	2.7	2.6	2.5	2.5	2.6
	不燃性粗大ごみ	1.2	0.9	0.5	0.5	0.3
	粗大回収金属	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5
生ごみ	収集	13.1	14.7	12.2	11.9	11.6
使用済小型家電	拠点回収	-	-	-	-	0.8

※資源ごみのうち、紙・布類、紙製容器包装は集団回収分を含む

表-16 家庭系ごみ排出量原単位の採用根拠

	種類	採用式	採用根拠
燃えるごみ	収集 原単位	べき曲線 【表-17 参照】	過去5年間の排出量はほぼ横ばいの傾向となっています。 今後の予測値は、最も相関係数の高いべき曲線を採用します。
	直接搬入 原単位	5年間平均値 【表-18 参照】	過去5年間の排出量は増減しており、増加もしくは減少のみの傾向とはいえません。 このことから、今後の予測値は5年間平均値を採用します。
燃えないごみ	収集 原単位	べき曲線 【表-19 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向ですが、この3年間ではほぼ横ばいの傾向となっています。 今後の予測値は、最も相関係数が高く、減少量の少ないべき曲線を採用します。
	直接搬入 原単位	5年間平均値 【表-20 参照】	過去5年間の排出量は増減しており、増加もしくは減少のみの傾向とはいえません。 このことから、今後の予測値は5年間平均値を採用します。
資源ごみ	紙・布類 (収集+集団回収) 原単位	二次傾向線 【表-21 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっています。 今後も減少傾向が予測されますが、ある程度で飽和すると考えられるため、年次とともに減少率が収縮していく二次傾向線を採用します。
	紙製容器包装 (収集+集団回収) 原単位	べき曲線 【表-22 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっています。 今後も減少傾向が予測されますが、ある程度で飽和すると考えられるため、減少量の少ないべき曲線を採用します。
	金属類 (収集) 原単位	べき曲線 【表-23 参照】	過去5年間の排出量は微小ながら減少傾向となっています。 今後の予測値は、最も相関係数が高く、減少量の少ないべき曲線を採用します。
	ビン類 (収集) 原単位	べき曲線 【表-24 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっています。 今後も減少傾向が予測されますが、ある程度で飽和すると考えられるため、減少量の少ないべき曲線を採用します。
	乾電池 (収集) 原単位	H24 実績 一定推移 【表-25 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっていますが、この2年間では横ばいです。 このことから、今後の予測値は平成24年度実績値で一定推移するものとします。
	ペットボトル (収集) 原単位	べき曲線 【表-26 参照】	過去5年間の排出量は、平成23年度以降の2年間で減少傾向となっています。 今後も減少傾向が予測されますが、ある程度で飽和すると考えられるため、減少量の少ないべき曲線を採用します。
	プラスチック製容器包装 (収集) 原単位	べき曲線 【表-27 参照】	過去5年間の排出量は微小ながら減少傾向となっています。 今後の予測値は、最も相関係数の高いべき曲線を採用します。
粗大ごみ	可燃性粗大ごみ 原単位	5年間平均値 【表-28 参照】	過去5年間の排出量は増減しており、増加もしくは減少のみの傾向とはいえません。 このことから、今後の予測値は5年間平均値を採用します。
	不燃性粗大ごみ 原単位	3年間平均値 【表-29 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっていますが、平成22年度以降は減少量も下がっており、平成23年度には若干増加しています。 このことから、今後の予測値は3年間平均値を採用します。
	粗大回収金属 原単位	H24 実績 一定推移 【表-30 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっていますが、この2年間では横ばいです。 このことから、今後の予測値は平成24年度実績値で一定推移するものとします。
	生ごみ (収集) 原単位	H24 実績 一定推移 【表-31 参照】	過去5年間の排出量は減少傾向となっていますが、この3年間では横ばいです。 このことから、今後の予測値は平成24年度実績値で一定推移するものとします。
	使用済小型家電 (拠点回収) 原単位	H24 実績 一定推移	H.24年度から回収を開始しているため、実績値が1年分のみとなっています。 実績をもとに予測する現況推移ケースでは、H.24年度実績0.8g/人・日で一定推移するものとします。

※資源ごみの収集量は拠点回収量を含む

表-17 家庭系収集燃えるごみ排出量の予測

年度	家庭系収集燃えるごみ排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	466.8					
21	455.3					
22	451.8					
23	454.1					
24	456.7					
25		450.5	467.5	450.6	450.7	449.9
26		448.4	482.4	448.5	448.9	447.3
27		446.3	502.0	446.5	447.1	444.6
28		444.1	526.6	444.4	445.4	441.9
29		442.0	556.0	442.4	443.7	439.0
30		439.9	590.2	440.3	442.1	436.0
31		437.7	629.3	438.3	440.6	433.0
32		435.6	673.3	436.3	439.2	429.8
33		433.5	722.0	434.2	437.7	426.6
34		431.3	775.7	432.2	436.4	423.2
35		429.2	834.2	430.2	435.0	419.8
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	503.9	1,672.8	505.9	632.3	0.0	
b=	-2.1	-108.8	1.0	-0.1	-0.0	
c=		2.4				
K=					513.4	
相関係数	0.584	0.478	0.586	0.603	0.568	
採用結果				○		

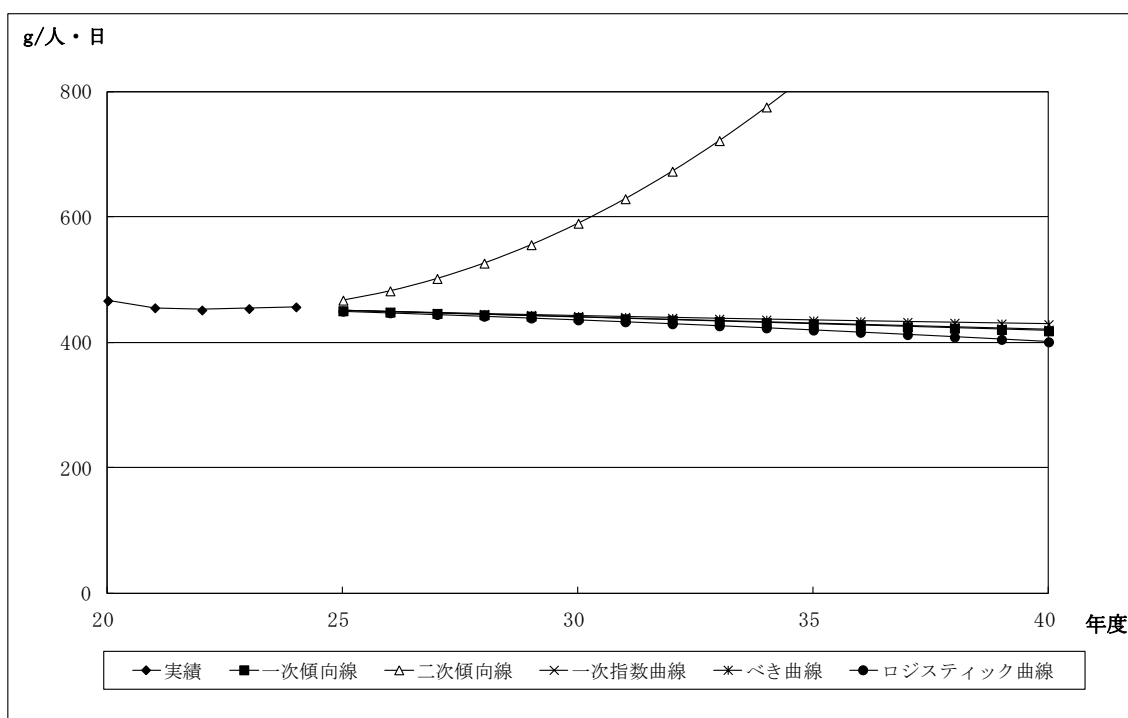


図-16 家庭系収集燃えるごみ排出量の予測

表-18 家庭系直接搬入燃えるごみ排出量の予測

年度	家庭系直接搬入燃えるごみ排出量 (g/人・日)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	5年平均
20	18.2						
21	15.5						
22	15.5						
23	15.2						
24	16.6						
25		15.2	19.2	15.2	15.2	14.8	16.2
26		14.8	22.9	14.9	15.0	14.2	16.2
27		14.5	27.7	14.7	14.7	13.6	16.2
28		14.2	33.6	14.4	14.5	12.9	16.2
29		13.8	40.7	14.1	14.2	12.2	16.2
30		13.5	49.0	13.8	14.0	11.5	16.2
31		13.1	58.4	13.5	13.8	10.8	16.2
32		12.8	68.9	13.3	13.6	10.0	16.2
33		12.5	80.6	13.0	13.4	9.3	16.2
34		12.1	93.4	12.8	13.2	8.5	16.2
35		11.8	107.4	12.5	13.1	7.8	16.2
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	23.7	299.7	25.0	66.4	0.0		
b=	-0.3	-25.5	1.0	-0.5	-0.1		
c=		0.6					
K=					20.0		
相関係数	0.433	0.322	0.443	0.460	0.405		
採用結果							○

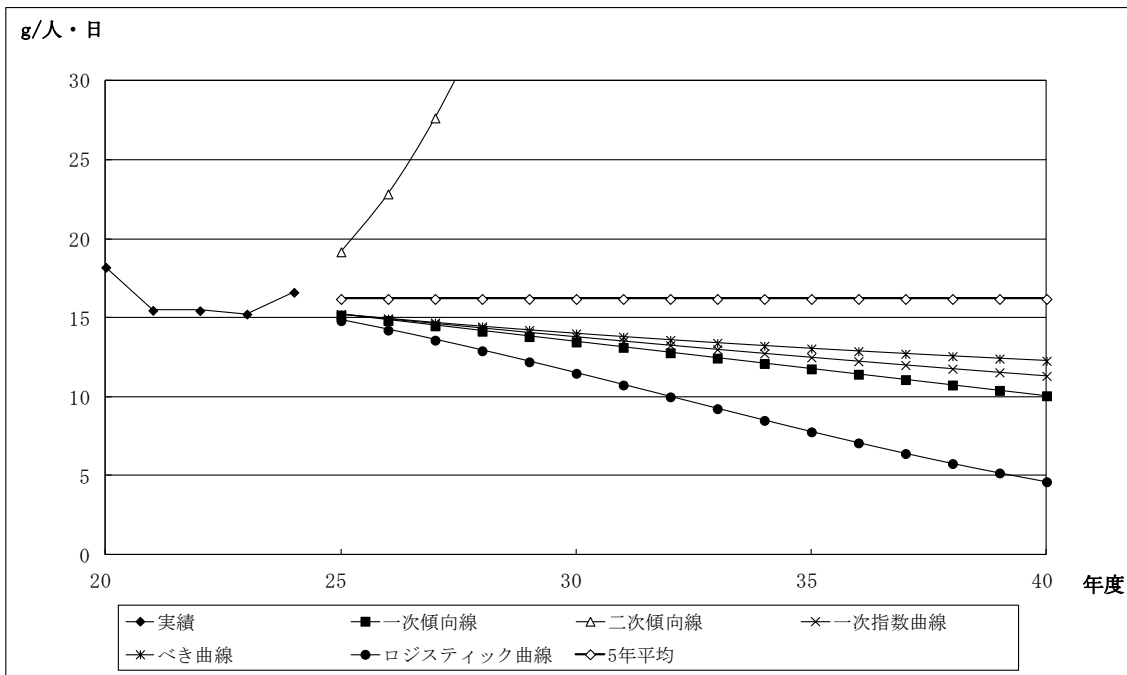


図-17 家庭系直接搬入燃えるごみ排出量の予測

表-19 家庭系収集燃えないごみ排出量の予測

年度	家庭系収集燃えないごみ排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	21.3					
21	20.6					
22	19.9					
23	20.0					
24	20.1					
25		19.5	20.7	19.5	19.6	19.3
26		19.2	21.5	19.2	19.3	18.9
27		18.9	22.8	19.0	19.1	18.4
28		18.6	24.3	18.7	18.8	17.9
29		18.3	26.2	18.4	18.6	17.4
30		18.0	28.4	18.1	18.4	16.8
31		17.7	30.9	17.9	18.2	16.2
32		17.4	33.8	17.6	18.0	15.6
33		17.1	37.0	17.4	17.9	14.9
34		16.8	40.6	17.1	17.7	14.2
35		16.5	44.5	16.9	17.5	13.5
推計式		$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=		27.0	107.9	28.1	55.9	0.0
b=		-0.3	-7.7	1.0	-0.3	-0.1
c=			0.2			
K=						23.4
相関係数		0.826	0.740	0.830	0.841	0.802
採用結果					○	

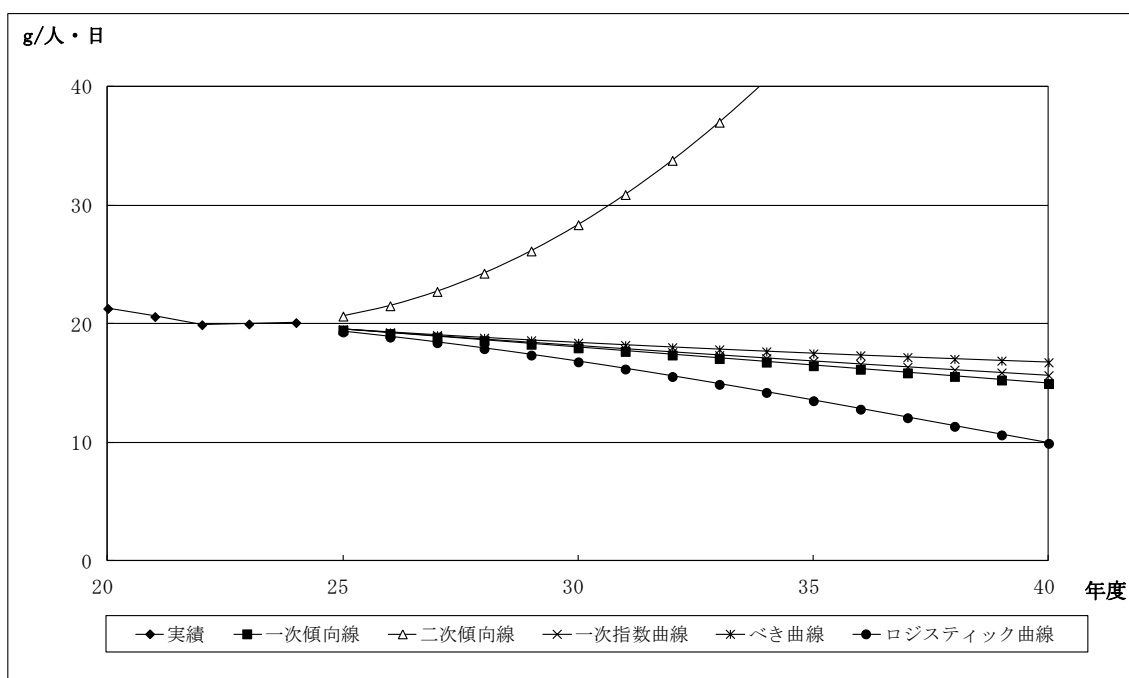


図-18 家庭系収集燃えないごみ排出量の予測

表-20 家庭系直接搬入燃えないごみ排出量の予測

年度	家庭系直接搬入燃えないごみ排出量 (g/人・日)						5年平均
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
20	3.2						
21	2.4						
22	2.4						
23	2.6						
24	3.0						
25		2.6	3.9	2.7	2.6	2.6	2.7
26		2.6	5.1	2.6	2.6	2.5	2.7
27		2.6	6.7	2.6	2.6	2.4	2.7
28		2.6	8.7	2.6	2.6	2.4	2.7
29		2.5	11.0	2.6	2.6	2.3	2.7
30		2.5	13.7	2.5	2.5	2.2	2.7
31		2.5	16.8	2.5	2.5	2.1	2.7
32		2.4	20.2	2.5	2.5	2.0	2.7
33		2.4	23.9	2.5	2.5	1.9	2.7
34		2.4	28.1	2.5	2.5	1.8	2.7
35		2.3	32.6	2.4	2.4	1.8	2.7
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	3.4	90.6	3.3	5.4	0.0		
b=	-0.0	-8.0	1.0	-0.2	-0.1		
c=		0.2					
K=					3.6		
相関係数	0.132	0.018	0.136	0.157	0.110		
採用結果							○

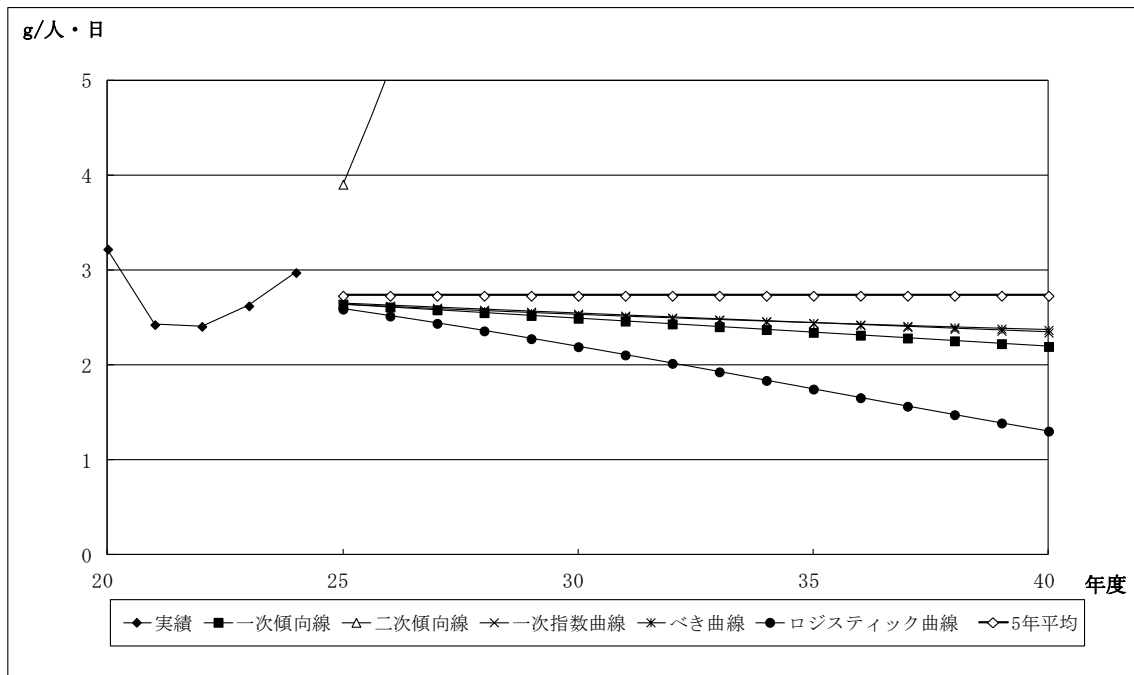


図-19 家庭系直接搬入燃えないごみ排出量の予測

表-21 家庭系収集（拠点回収含む）＋集団回収資源ごみ（紙・布類）排出量の予測

年度	家庭系収集（拠点回収含む）＋集団回収資源ごみ（紙・布類）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	160.3					
21	149.4					
22	143.4					
23	133.3					
24	127.7					
25		118.5	121.7	120.1	121.1	111.4
26		110.3	116.9	113.4	115.3	97.6
27		102.2	112.9	107.2	110.0	83.3
28		94.1	110.0	101.2	105.1	69.2
29		86.0	107.9	95.6	100.6	56.1
30		77.9	106.8	90.4	96.4	44.5
31		69.7	106.6	85.4	92.6	34.5
32		61.6	107.3	80.7	89.0	26.4
33		53.5	109.0	76.2	85.6	19.9
34		45.4	111.6	72.0	82.5	14.8
35		37.3	115.2	68.0	79.6	11.0
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	321.5	546.4	496.8	6,705.1	0.0	
b=	-8.1	-28.7	0.9	-1.2	-0.3	
c=		0.5				
K=					176.3	
相関係数	0.995	0.993	0.996	0.997	0.995	
採用結果		○				

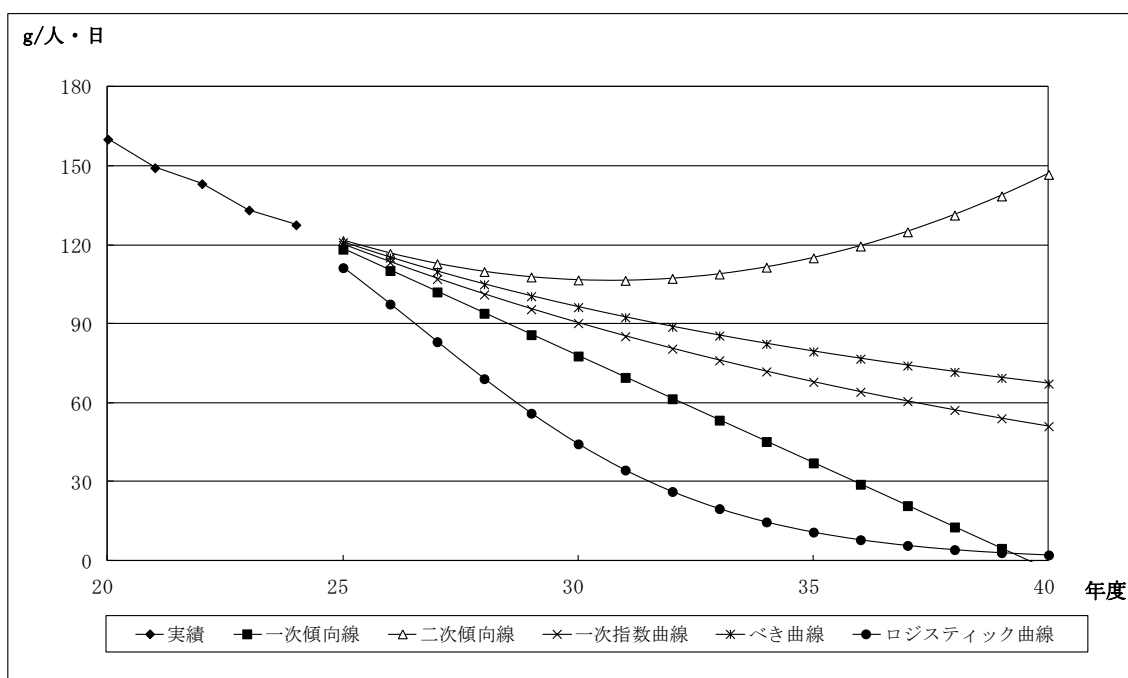


図-20 家庭系収集（拠点回収）＋集団回収資源ごみ（紙・布類）排出量の予測

表-22 家庭系収集（拠点回収含む）＋集団回収資源ごみ（紙製容器包装）排出量の予測

年度	家庭系収集（拠点回収含む）＋集団回収資源ごみ（紙製容器包装）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	9.4					
21	9.2					
22	8.6					
23	8.1					
24	7.6					
25		7.2	6.9	7.2	7.3	6.9
26		6.7	6.2	6.8	7.0	6.1
27		6.2	5.4	6.5	6.6	5.3
28		5.7	4.5	6.1	6.3	4.5
29		5.2	3.6	5.8	6.1	3.8
30		4.8	2.5	5.5	5.8	3.1
31		4.3	1.5	5.2	5.6	2.5
32		3.8	0.3	4.9	5.4	2.0
33		3.3	-0.9	4.6	5.2	1.5
34		2.8	-2.2	4.4	5.0	1.2
35		2.4	-3.6	4.1	4.8	0.9
推計式		$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=		19.1	1.9	29.5	383.0	0.0
b=		-0.5	1.1	0.9	-1.2	-0.3
c=			-0.0			
K=						10.7
相関係数		0.993	0.997	0.990	0.988	0.994
採用結果					○	

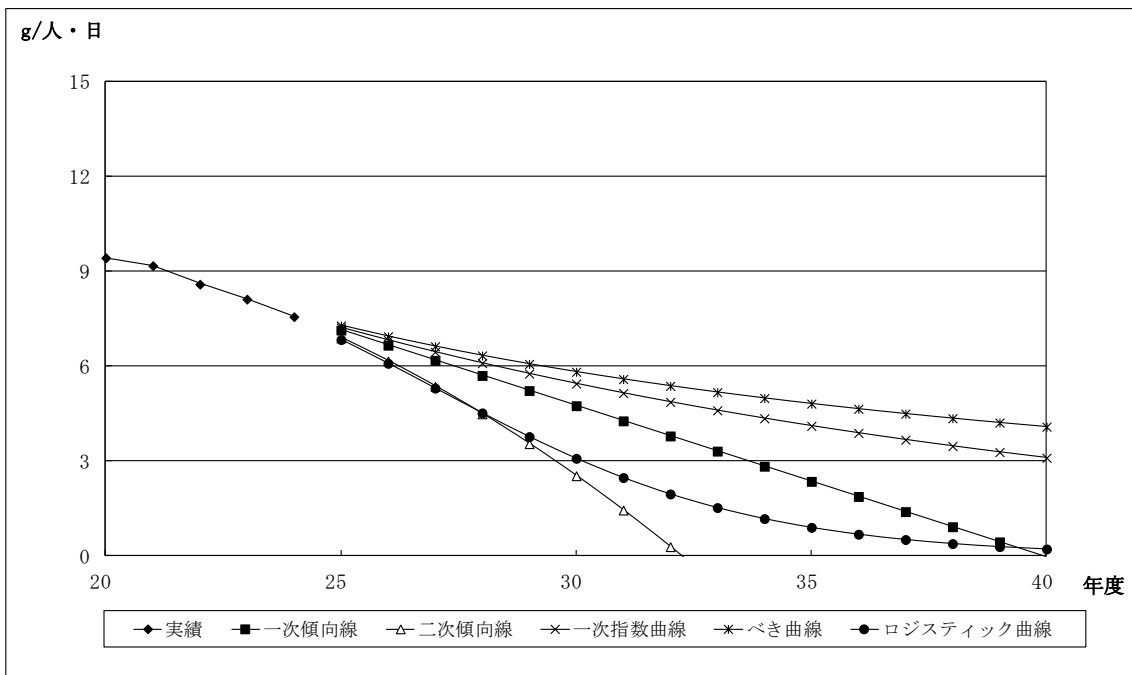


図-21 家庭系収集（拠点回収含む）＋集団回収資源ごみ（紙製容器包装）排出量の予測



表-23 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（金属ごみ）排出量の予測

年度	家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（金属ごみ）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	7.6					
21	7.4					
22	7.2					
23	7.1					
24	7.1					
25		6.9	7.1	6.9	6.9	6.8
26		6.7	7.1	6.8	6.8	6.6
27		6.6	7.2	6.6	6.7	6.4
28		6.5	7.4	6.5	6.6	6.2
29		6.3	7.6	6.4	6.5	5.9
30		6.2	7.9	6.3	6.4	5.7
31		6.1	8.2	6.2	6.3	5.4
32		5.9	8.6	6.1	6.3	5.1
33		5.8	9.0	6.0	6.2	4.8
34		5.7	9.5	5.8	6.1	4.5
35		5.5	10.0	5.7	6.0	4.2
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^x$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bx)})$	
a=	10.2	23.2	10.9	25.2	0.0	
b=	-0.1	-1.3	1.0	-0.4	-0.1	
c=		0.0				
K=					8.3	
相関係数	0.969	0.890	0.971	0.975	0.957	
採用結果				○		

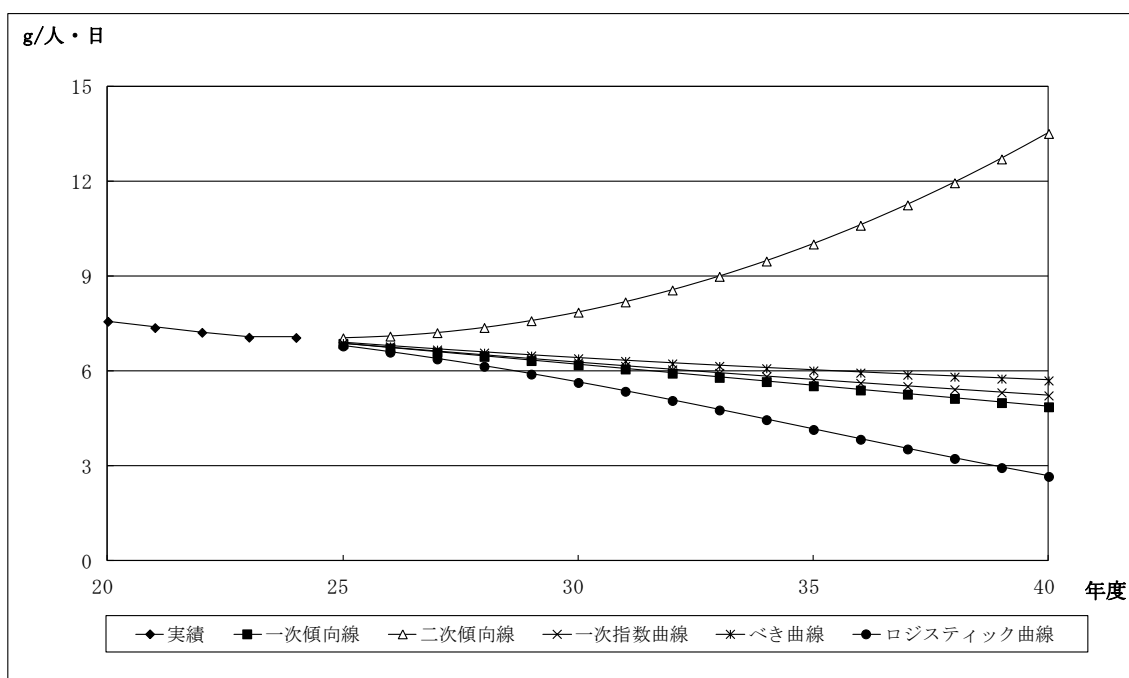


図-22 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（金属ごみ）排出量の予測

表-24 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（ビン類）排出量の予測

年度	家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（ビン類）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	20.9					
21	21.5					
22	20.1					
23	18.4					
24	17.5					
25		16.7	15.0	16.8	17.0	14.4
26		15.7	12.3	16.0	16.2	10.8
27		14.7	9.2	15.2	15.5	7.2
28		13.7	5.6	14.4	14.9	4.3
29		12.7	1.4	13.7	14.3	2.4
30		11.7	-3.1	13.0	13.8	1.3
31		10.7	-8.2	12.3	13.3	0.6
32		9.7	-13.7	11.7	12.8	0.3
33		8.7	-19.7	11.1	12.4	0.2
34		7.7	-26.2	10.6	12.0	0.1
35		6.7	-33.2	10.0	11.6	0.0
推計式		$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$
a=		41.7	-73.4	61.2	632.4	0.0
b=		-1.0	9.5	0.9	-1.1	-0.7
c=			-0.2			
K=						21.7
相関係数		0.932	0.950	0.923	0.918	0.903
採用結果					○	

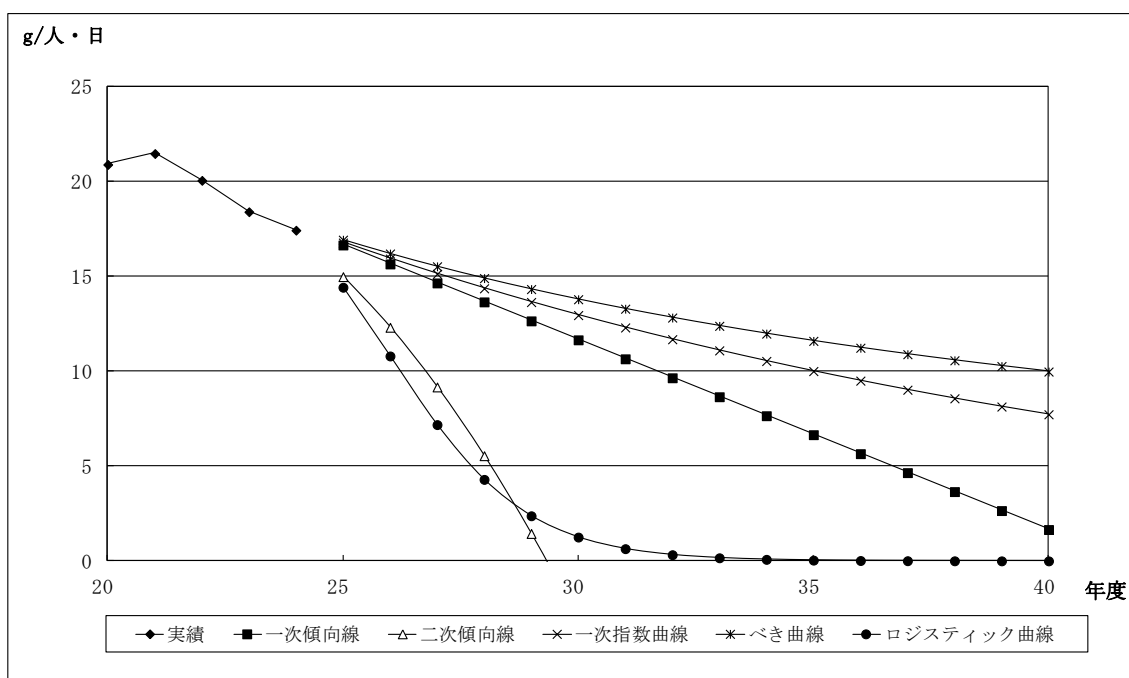


図-23 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（ビン類）排出量の予測

表-25 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（乾電池）排出量の予測

年度	家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（乾電池）排出量（g/人・日）						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	H24実績一定推移
20	1.0						
21	1.1						
22	1.0						
23	0.7						
24	0.7						
25		0.6	0.4	0.6	0.6	0.6	0.7
26		0.5	0.1	0.6	0.6	0.4	0.7
27		0.4	-0.2	0.5	0.5	0.3	0.7
28		0.3	-0.6	0.4	0.5	0.2	0.7
29		0.2	-1.0	0.4	0.4	0.1	0.7
30		0.1	-1.5	0.4	0.4	0.1	0.7
31		0.0	-2.1	0.3	0.4	0.1	0.7
32		-0.1	-2.7	0.3	0.3	0.0	0.7
33		-0.2	-3.4	0.2	0.3	0.0	0.7
34		-0.3	-4.1	0.2	0.3	0.0	0.7
35		-0.4	-4.8	0.2	0.3	0.0	0.7
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	3.1	-9.7	11.3	2,092.0	0.0		
b=	-0.1	1.1	0.9	-2.5	-0.5		
c=		-0.0					
K=					1.2		
相関係数		0.894	0.915	0.872	0.868	0.853	
採用結果							○

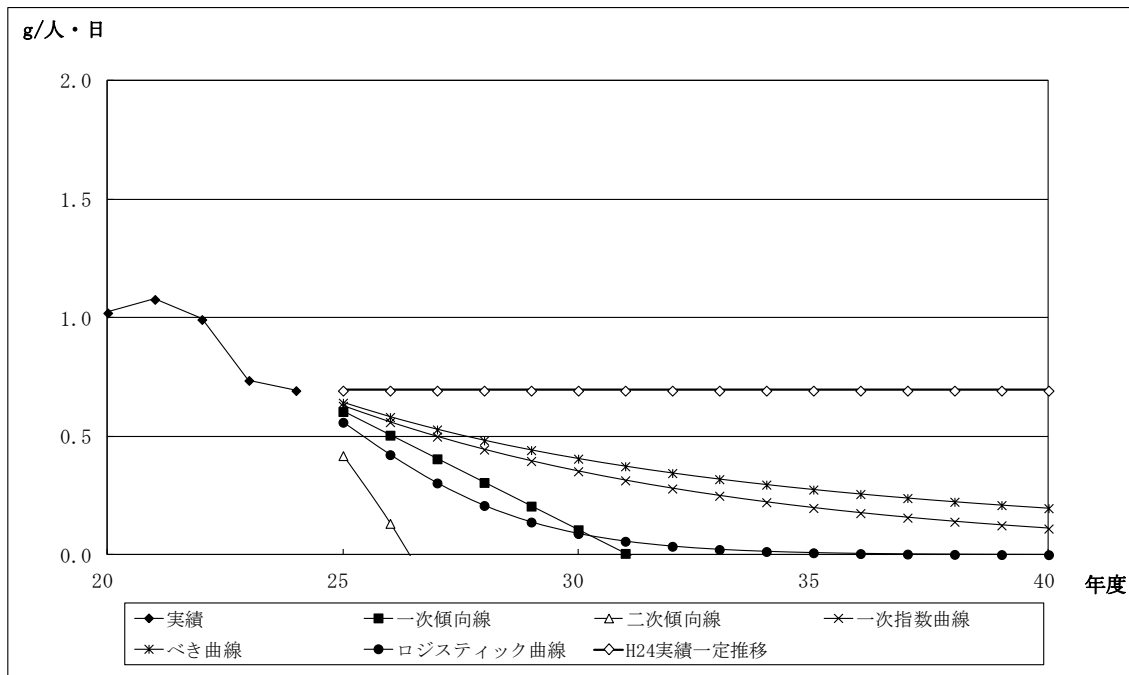


図-24 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（乾電池）排出量の予測

表-26 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（ペットボトル）排出量の予測

年度	家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（ペットボトル）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	6.0					
21	6.1					
22	6.1					
23	5.6					
24	5.4					
25		5.3	4.8	5.3	5.4	5.0
26		5.1	4.0	5.2	5.2	3.9
27		5.0	3.1	5.0	5.1	2.6
28		4.8	2.1	4.9	5.0	1.4
29		4.6	0.9	4.7	4.9	0.6
30		4.4	-0.5	4.6	4.7	0.3
31		4.3	-2.0	4.4	4.6	0.1
32		4.1	-3.7	4.3	4.5	0.0
33		3.9	-5.5	4.2	4.5	0.0
34		3.7	-7.5	4.0	4.4	0.0
35		3.6	-9.7	3.9	4.3	0.0
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	9.7	-28.5	11.5	45.2	0.0	
b=	-0.2	3.3	1.0	-0.7	-0.9	
c=		-0.1				
K=					6.1	
相関係数	0.864	0.904	0.855	0.846	0.839	
採用結果				○		

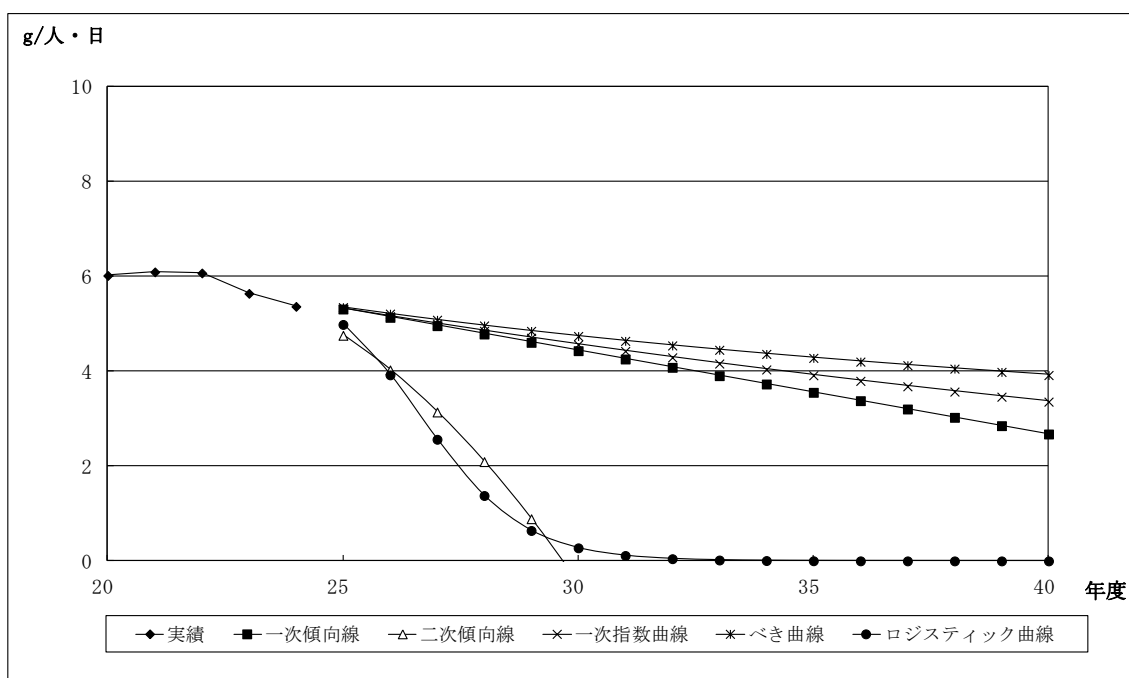


図-25 家庭系収集（拠点回収含む）資源ごみ（ペットボトル）排出量の予測

表-27 家庭系収集プラスチック製容器包装排出量の予測

年度	家庭系収集プラスチック製容器包装排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	31.0					
21	29.8					
22	29.4					
23	29.3					
24	28.7					
25		28.1	28.9	28.1	28.2	27.8
26		27.6	29.2	27.6	27.8	27.0
27		27.0	29.7	27.2	27.4	26.2
28		26.5	30.4	26.7	27.0	25.3
29		26.0	31.4	26.2	26.6	24.4
30		25.5	32.6	25.8	26.3	23.4
31		25.0	34.0	25.3	25.9	22.3
32		24.4	35.6	24.9	25.6	21.2
33		23.9	37.5	24.5	25.3	20.1
34		23.4	39.6	24.0	25.0	18.9
35		22.9	41.9	23.6	24.8	17.7
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	41.0	96.0	43.4	96.8	0.0	
b=	-0.5	-5.5	1.0	-0.4	-0.1	
c=		0.1				
K=					34.1	
相関係数		0.937	0.864	0.939	0.944	0.925
採用結果					○	

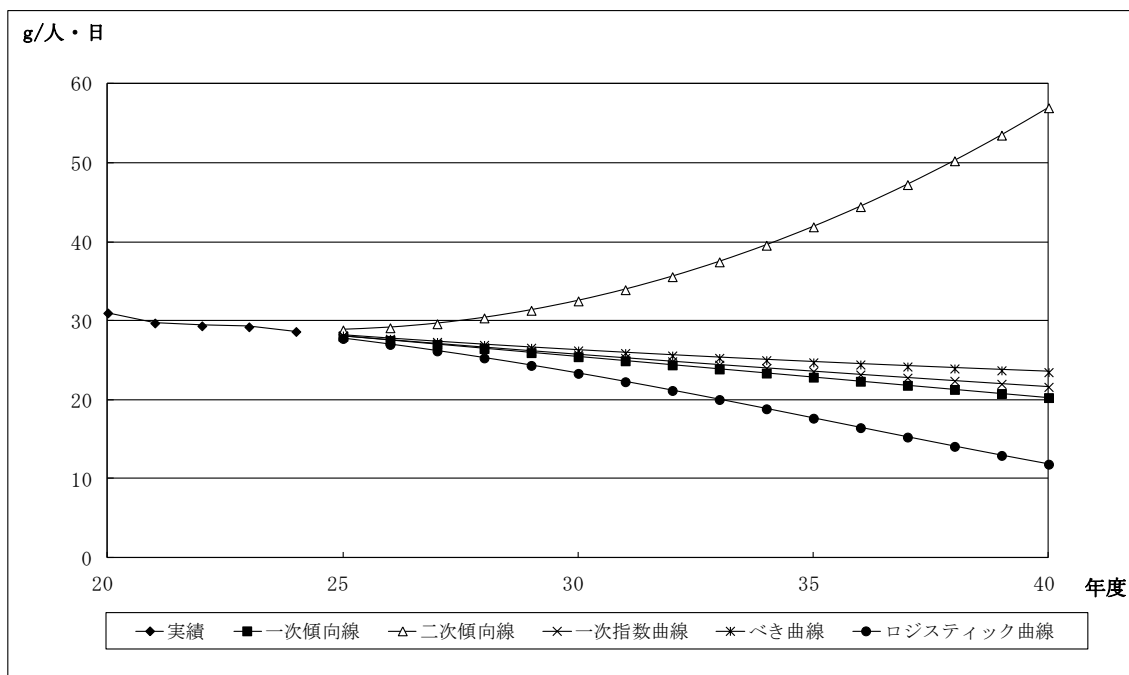


図-26 家庭系収集プラスチック製容器包装排出量の予測

表-28 家庭系収集粗大ごみ（可燃性粗大ごみ）排出量の予測

年度	家庭系収集粗大ごみ（可燃性粗大ごみ）排出量（g/人・日）						5年平均
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
20	2.7						
21	2.6						
22	2.5						
23	2.5						
24	2.6						
25		2.5	2.8	2.5	2.5	2.4	2.6
26		2.4	3.0	2.4	2.4	2.4	2.6
27		2.4	3.3	2.4	2.4	2.3	2.6
28		2.3	3.7	2.4	2.4	2.3	2.6
29		2.3	4.2	2.3	2.3	2.2	2.6
30		2.3	4.8	2.3	2.3	2.1	2.6
31		2.2	5.5	2.3	2.3	2.0	2.6
32		2.2	6.2	2.2	2.3	1.9	2.6
33		2.1	7.0	2.2	2.2	1.9	2.6
34		2.1	7.9	2.2	2.2	1.8	2.6
35		2.1	8.9	2.1	2.2	1.7	2.6
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	3.5	23.2	3.6	7.4	0.0		
b=	-0.0	-1.8	1.0	-0.3	-0.1		
c=		0.0					
K=					3.0		
相関係数	0.628	0.523	0.635	0.650	0.598		
採用結果							○

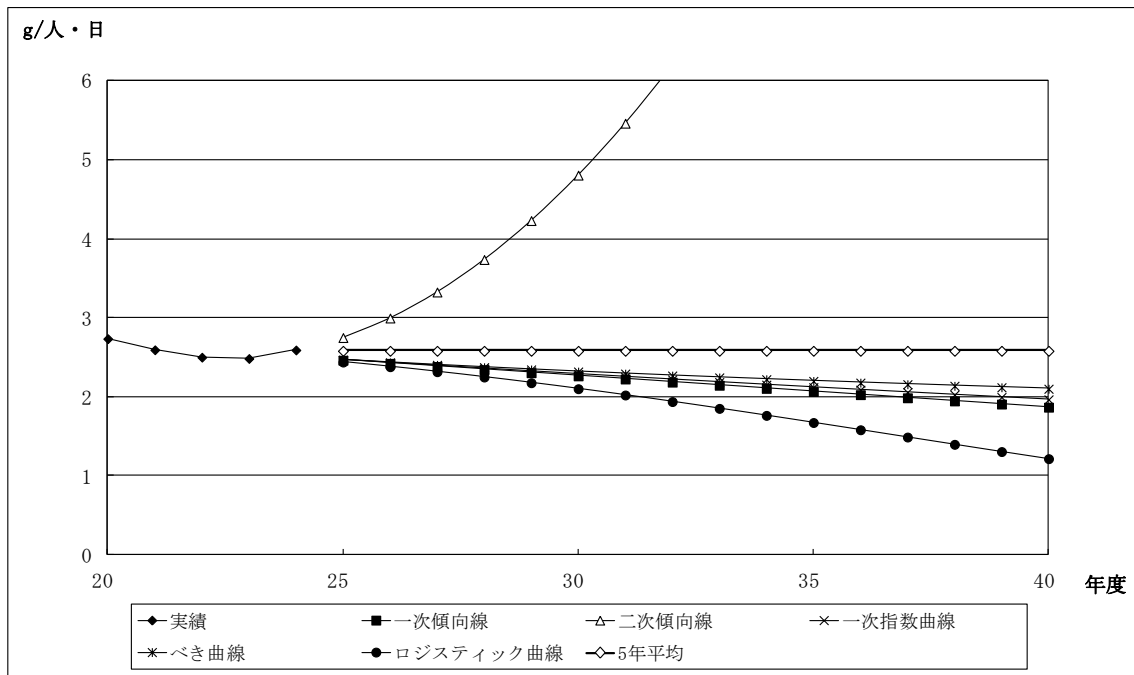


図-27 家庭系収集粗大ごみ（可燃性粗大ごみ）排出量の予測

表-29 家庭系収集粗大ごみ（不燃性粗大ごみ）排出量の予測

年度	家庭系収集粗大ごみ（不燃性粗大ごみ）排出量（g/人・日）						3年平均
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	
20	1.2						
21	0.9						
22	0.5						
23	0.5						
24	0.3						
25		0.0	0.3	0.2	0.2	0.1	0.4
26		-0.2	0.4	0.2	0.2	0.1	0.4
27		-0.4	0.5	0.1	0.1	0.0	0.4
28		-0.6	0.7	0.1	0.1	0.0	0.4
29		-0.8	1.0	0.1	0.1	0.0	0.4
30		-1.0	1.3	0.0	0.1	0.0	0.4
31		-1.2	1.7	0.0	0.0	0.0	0.4
32		-1.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.4
33		-1.7	2.8	0.0	0.0	0.0	0.4
34		-1.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.4
35		-2.1	4.2	0.0	0.0	0.0	0.4
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	5.4	23.4	867.1	3,245,659,973.0	0.0		
b=	-0.2	-1.9	0.7	-7.3	-0.8		
c=		0.0					
K=					1.3		
相関係数	0.947	0.861	0.968	0.967	0.950		
採用結果							○

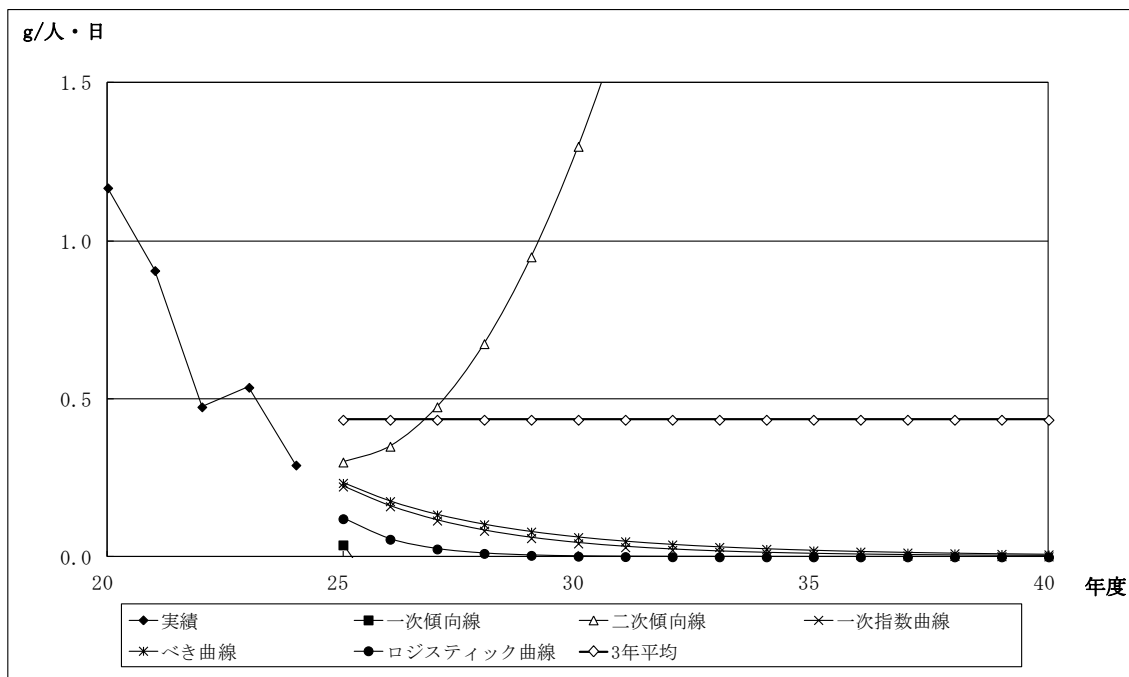


図-28 家庭系収集粗大ごみ（不燃性粗大ごみ）排出量の予測

表-30 家庭系収集粗大ごみ（粗大回収金属）排出量の予測

年度	家庭系収集粗大ごみ（粗大回収金属）排出量（g/人・日）						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	H24実績一定推移
20	0.7						
21	0.7						
22	0.7						
23	0.6						
24	0.5						
25		0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5
26		0.4	0.3	0.5	0.5	0.3	0.5
27		0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.5
28		0.3	0.1	0.4	0.4	0.1	0.5
29		0.3	-0.0	0.3	0.4	0.1	0.5
30		0.2	-0.2	0.3	0.4	0.0	0.5
31		0.2	-0.3	0.3	0.3	0.0	0.5
32		0.1	-0.5	0.3	0.3	0.0	0.5
33		0.1	-0.7	0.2	0.3	0.0	0.5
34		0.0	-0.9	0.2	0.3	0.0	0.5
35		-0.1	-1.1	0.2	0.3	0.0	0.5
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	1.8	-1.2	4.0	186.9	0.0		
b=	-0.1	0.2	0.9	-1.8	-0.6		
c=		-0.0					
K=					0.8		
相関係数	0.936	0.943	0.928	0.925	0.914		
採用結果							○

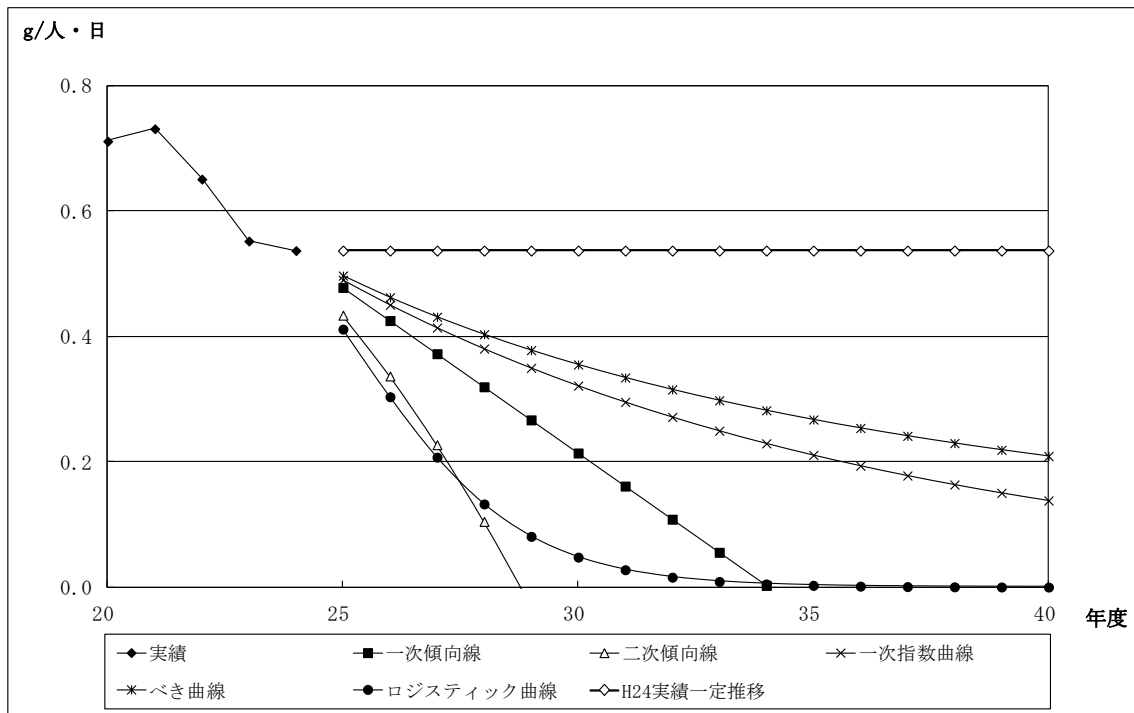


図-29 家庭系収集粗大ごみ（粗大回収金属）排出量の予測



表-31 家庭系収集生ごみ排出量の予測

年度	家庭系収集生ごみ（一部地域）排出量（g/人・日）						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	H24実績一定推移
20	13.1						
21	14.7						
22	12.2						
23	11.9						
24	11.6						
25		11.0	10.3	11.1	11.2	10.7	11.6
26		10.4	9.0	10.6	10.7	9.9	11.6
27		9.9	7.5	10.1	10.4	9.0	11.6
28		9.3	5.8	9.7	10.0	8.1	11.6
29		8.7	3.9	9.3	9.7	7.2	11.6
30		8.2	1.8	8.9	9.4	6.3	11.6
31		7.6	-0.5	8.5	9.1	5.4	11.6
32		7.0	-3.0	8.1	8.8	4.7	11.6
33		6.5	-5.7	7.8	8.5	3.9	11.6
34		5.9	-8.6	7.4	8.3	3.3	11.6
35		5.3	-11.8	7.1	8.1	2.7	11.6
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	25.1	-24.2	33.5	248.9	0.0		
b=	-0.6	3.9	1.0	-1.0	-0.2		
c=		-0.1					
K=					16.1		
相関係数		0.724	0.734	0.719	0.716	0.729	
採用結果							○

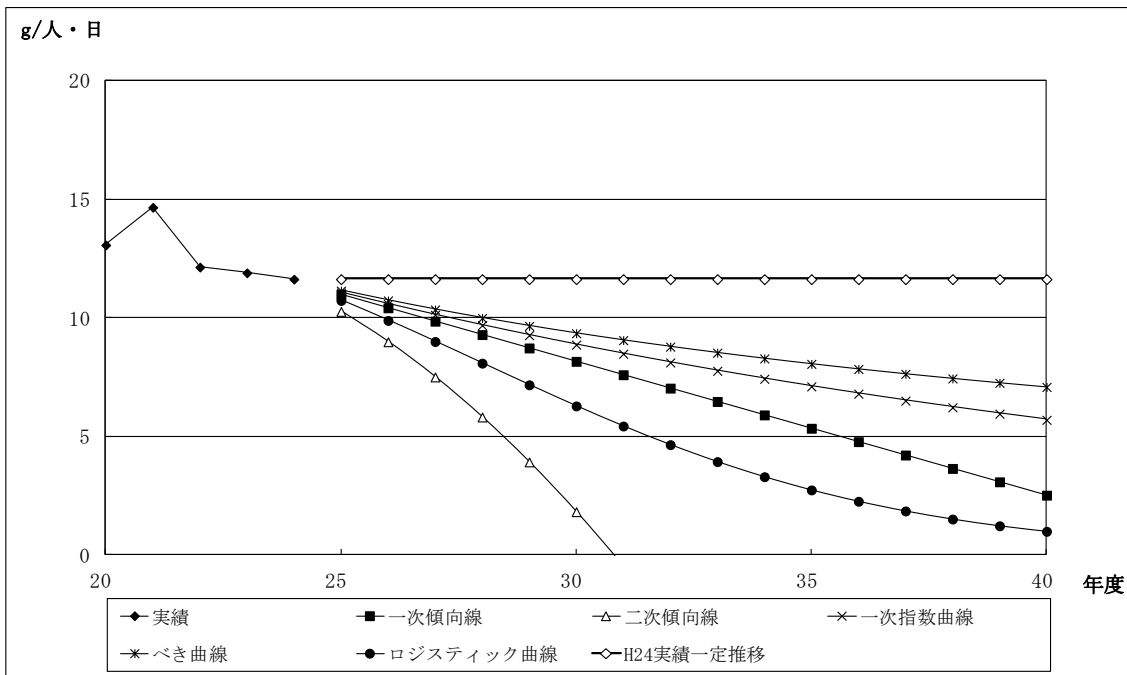


図-30 家庭系収集生ごみ排出量の予測

## 2) 事業系ごみ排出量の予測

表-32 に示す過去5年間の実績値を用いて、事業系ごみ排出量の予測根拠を表-33 のように、推計結果を表-34～37 及び図-31～34 のように定めます。

表-32 予測に用いる実績値（事業系ごみ排出量）

単位：t/年

分別区分		H. 20	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24
燃えるごみ	許可収集	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449
	直接搬入	618	514	570	547	557
燃えないごみ	許可収集	0	0	0	0	0
	直接搬入	2	1	0	0	0
公共施設	燃えるごみ	23	101	24	27	62
	燃えないごみ	3	3	3	2	1

表-33 事業系ごみ排出量の採用根拠

種類	採用式	採用根拠
燃えるごみ	許可収集	5年間平均値 【表-34参照】 過去5年間の排出量は増減しており、増加もしくは減少のみの傾向とはいえません。 このことから、今後の予測値は5年間平均値を採用します。
	直接搬入	3年間平均値 【表-35参照】 過去5年間の排出量は増減を繰り返しているものの、過去3年間では近い数値で推移しています。 このことから、今後の予測値は3年間平均値で一定推移するものとします。
燃えないごみ	許可収集	排出量0で推移 過去5年間で排出量は0tです。 今後も現状のまま、排出量0tで推移するものとします。
	直接搬入	排出量0で推移 過去3年間で排出量は0tです。 今後も現状のまま、排出量0tで推移するものとします。
公共施設	燃えるごみ	一次傾向線 【表-36参照】 過去5年間の排出量には大きくばらつきがみられます。 今後の予測値は5年間実績のほぼ中央値で推移する一次傾向線を採用します。
	燃えないごみ	H24実績 一定推移 【表-37参照】 過去5年間の排出量は減少傾向となっていますが、排出量が非常に少ないため、増加もしくは減少のみの傾向とはいえません。 このことから、今後の予測値は平成24年度実績値で一定推移するものとします。

表-34 事業系許可収集燃えるごみ排出量の予測

年度	事業系許可収集燃えるごみ排出量 (t/年)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	5年平均
20	2,732						
21	2,553						
22	2,376						
23	2,444						
24	2,449						
25		2,308	2,615	2,318	2,324	2,251	2,510.8
26		2,241	2,855	2,258	2,271	2,139	2,510.8
27		2,174	3,182	2,200	2,221	2,017	2,510.8
28		2,106	3,596	2,143	2,174	1,887	2,510.8
29		2,039	4,099	2,087	2,130	1,751	2,510.8
30		1,971	4,689	2,033	2,088	1,611	2,510.8
31		1,904	5,366	1,981	2,048	1,468	2,510.8
32		1,836	6,132	1,930	2,010	1,326	2,510.8
33		1,769	6,985	1,880	1,974	1,188	2,510.8
34		1,702	7,925	1,831	1,940	1,054	2,510.8
35		1,634	8,953	1,784	1,907	928	2,510.8
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	3,994.4	25,119.8	4,463.8	15,366.1	0.0		
b=	-67.4	-1,995.9	1.0	-0.6	-0.2		
c=		43.8					
K=					3,005.2		
相関係数	0.768	0.678	0.777	0.788	0.744		
採用結果							○

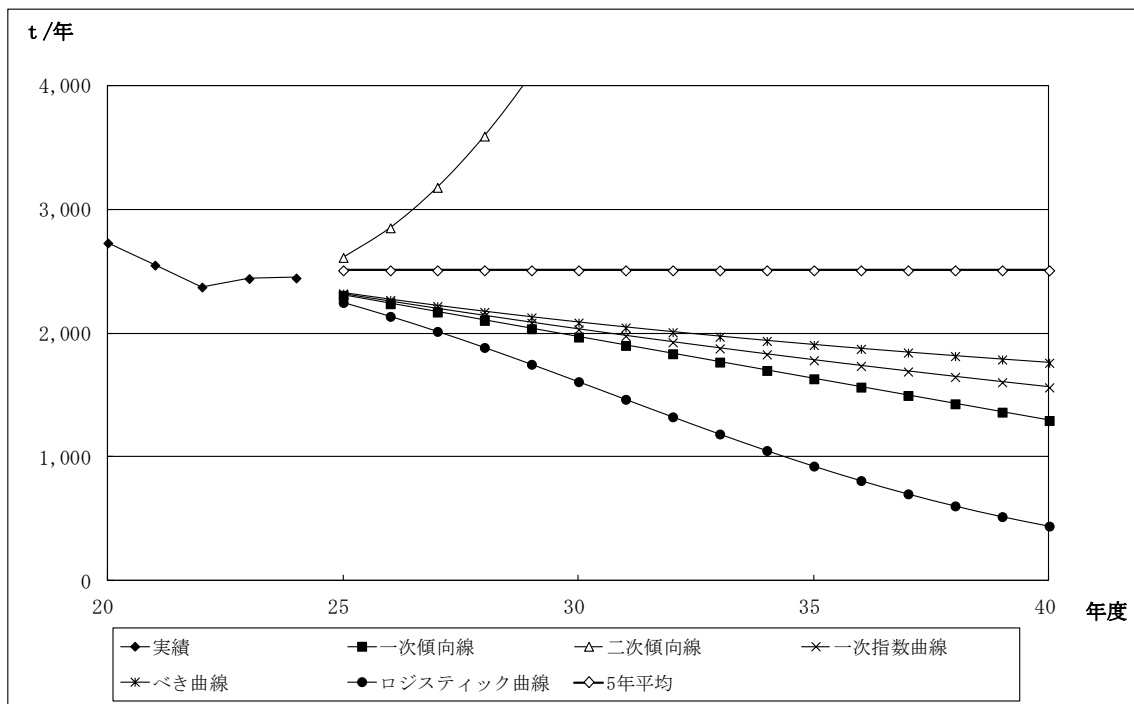


図-31 事業系許可収集燃えるごみ排出量の予測

表-35 事業系直接搬入燃えるごみ排出量の予測

年度	事業系直接搬入燃えるごみ排出量 (t/年)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	3年平均
20	618						
21	514						
22	570						
23	547						
24	557						
25		535	609	537	537	525	558
26		526	673	529	530	509	558
27		518	759	522	524	492	558
28		509	866	514	517	474	558
29		500	994	507	511	455	558
30		491	1,143	500	506	436	558
31		482	1,313	493	500	415	558
32		474	1,504	486	495	394	558
33		465	1,716	479	490	373	558
34		456	1,949	472	486	351	558
35		447	2,204	465	481	329	558
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	753.9	5,822.5	767.8	1,540.4	0.0		
b=	-8.8	-471.4	1.0	-0.3	-0.1		
c=		10.5					
K=					679.3		
相関係数	0.367	0.298	0.372	0.383	0.349		
採用結果							○

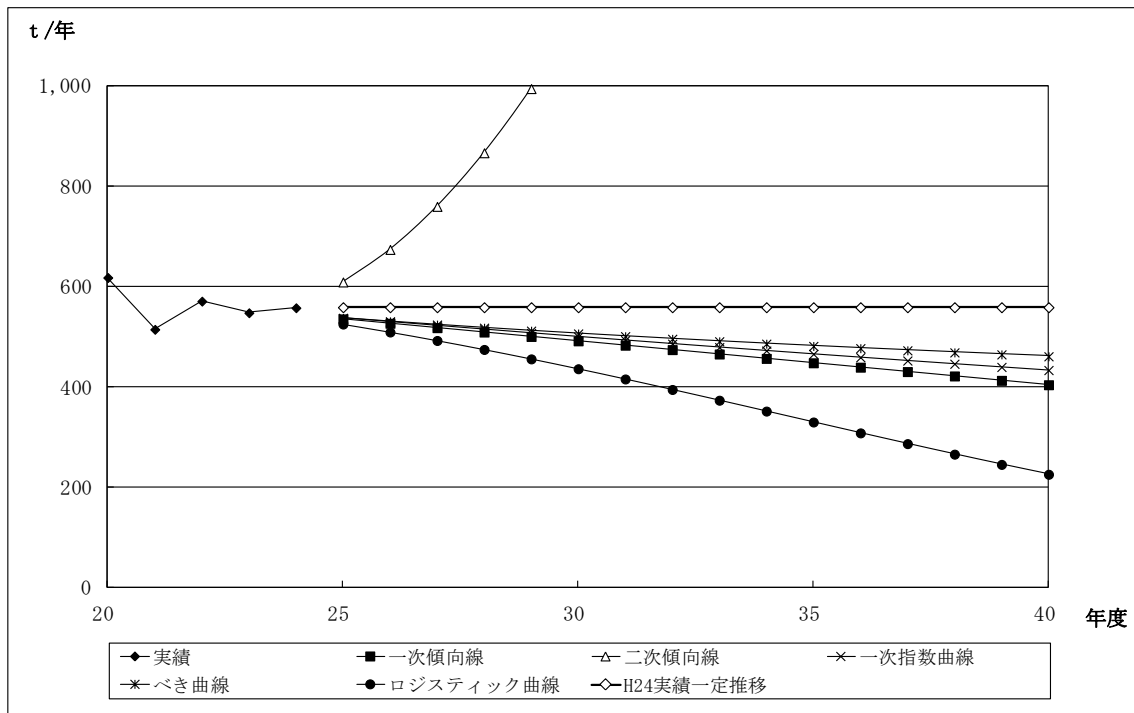


図-32 事業系直接搬入燃えるごみ排出量の予測

表-36 公共施設燃えるごみ排出量の予測

年度	公共施設燃えるごみ排出量 (t/年)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
20	23					
21	101					
22	24					
23	27					
24	62					
25		48	45	48	47	46
26		49	43	51	50	45
27		49	39	54	53	44
28		49	35	58	55	44
29		50	29	62	58	43
30		50	23	66	61	42
31		50	16	71	64	41
32		51	8	75	67	40
33		51	-0	80	70	40
34		51	-10	86	73	39
35		52	-20	92	76	38
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$	
a=	39.4	-168.6	9.3	0.5	0.7	
b=	0.4	19.3	1.1	1.4	-0.0	
c=		-0.4				
K=					110.7	
相関係数	0.017	0.013	0.016	0.016	0.017	
採用結果	○					

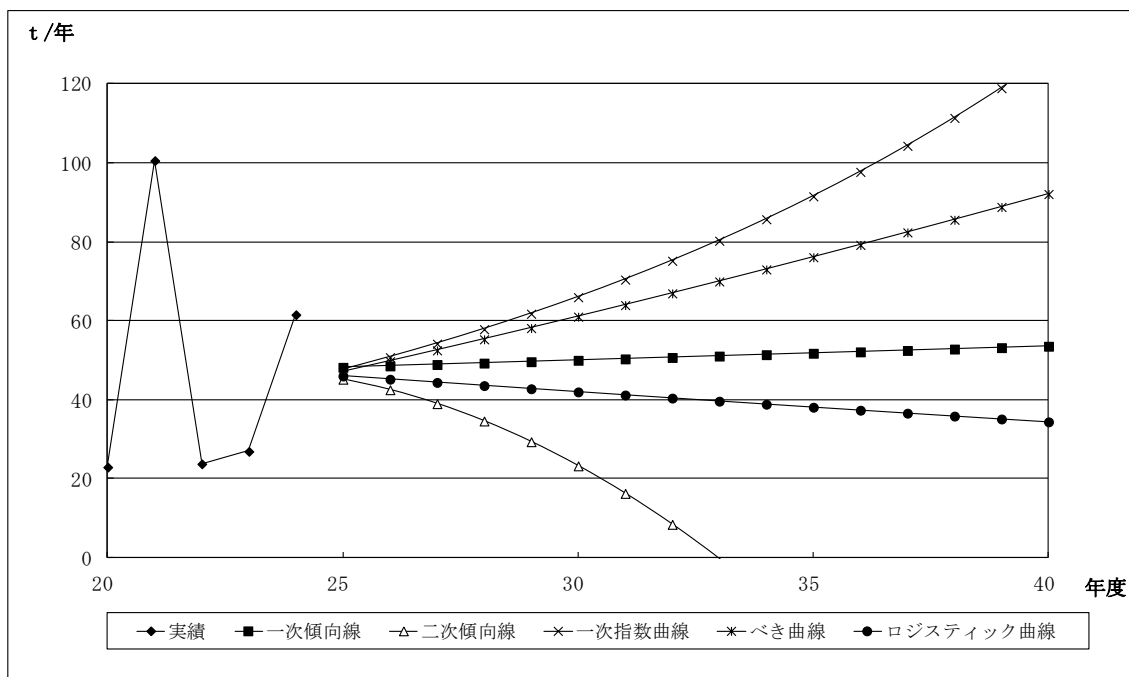


図-33 公共施設燃えるごみ排出量の予測

表-37 公共施設燃えないごみ排出量の予測

年度	公共施設燃えないごみ排出量 (t/年)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	H24実績一定推移
20	3						
21	3						
22	3						
23	2						
24	1						
25		1	0	1	1	1	1.4
26		1	-1	1	1	1	1.4
27		0	-3	1	1	0	1.4
28		-0	-5	1	1	0	1.4
29		-1	-7	1	1	0	1.4
30		-1	-10	0	1	0	1.4
31		-2	-13	0	1	0	1.4
32		-2	-16	0	0	0	1.4
33		-3	-19	0	0	0	1.4
34		-3	-23	0	0	0	1.4
35		-4	-27	0	0	0	1.4
推計式	$Y=aX+b$	$Y=aX^2+bX+c$	$Y=ab^X$	$Y=aX^b$	$Y=K/(1+e^{-(a-bX)})$		
a=	13.0	-55.5	233.6	2,508,083.0	0.0		
b=	-0.5	5.8	0.8	-4.5	-0.7		
c=		-0.1					
K=					3.6		
相関係数	0.930	0.956	0.883	0.884	0.799		
採用結果							○

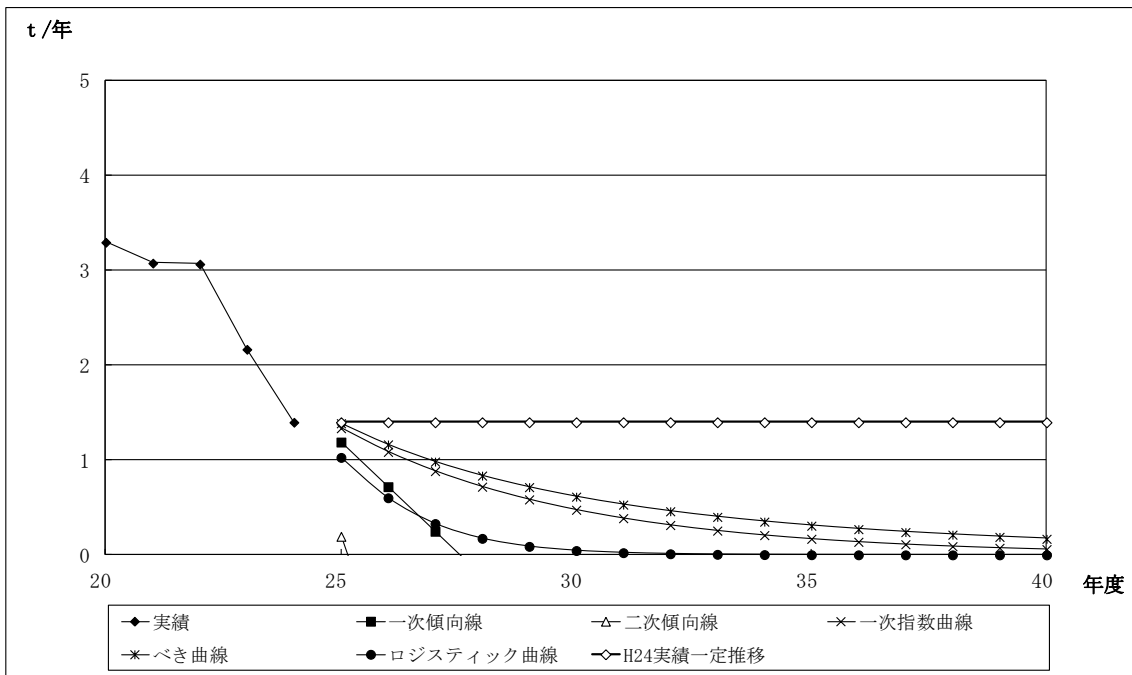


図-34 公共施設燃えないごみ排出量の予測

表-38 ごみ排出量の将来予測（現況推移ケース）

		実績←→推計																	
区 分	単 位	計算式等	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30	H.31	H.32	H.33	H.34	H.35	
人 口	(1)行政区域内人口	(人)	住民基本台帳人口(10月1日現在)	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(2)計画処理区域内人口	(人)	"	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(3)計画収集人口	(人)	"	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(4)計画収集人口(焼却対象)	(人)	"	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(5)自家処理人口	(人)	(3)-(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排 出 量	(6)総排出量	(t/年)	(7)+(8)	22,587	21,702	21,086	20,792	20,722	20,389	20,145	19,930	19,746	19,590	19,463	19,363	19,290	19,245	19,226	19,233
		(g/人・日)	(6)/((4)×365)×10 <sup>6</sup>	897.8	863.4	839.5	830.8	829.8	817.3	808.8	801.5	795.2	790.1	786.1	783.1	781.2	780.3	780.5	781.8
	(7)家庭系ごみ合計	(t/年)	下記数値×(4)×365×10 <sup>6</sup>	19,208	18,530	18,113	17,771	17,652	17,270	17,025	16,811	16,626	16,470	16,342	16,242	16,169	16,123	16,104	16,110
		(g/人・日)		763.5	737.2	721.2	710.1	706.9	692.3	683.6	676.0	669.6	664.3	660.0	656.9	654.8	653.8	653.8	654.8
	(7a)収集ごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	18,669	18,080	17,664	17,324	17,163	16,797	16,554	16,340	16,156	16,000	15,873	15,773	15,701	15,656	15,637	15,644
	(7a-1)燃えるごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	11,743	11,444	11,348	11,364	11,406	11,244	11,179	11,118	11,059	11,002	10,947	10,895	10,844	10,795	10,748	10,703
	(7a-1-1)直営・委託	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	11,731	11,436	11,336	11,360	11,393	11,231	11,167	11,105	11,046	10,989	10,935	10,882	10,832	10,783	10,736	10,690
	(7a-1-2)許可業者	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	12	8	11	4	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12
	(7a-2)燃えないごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	536	519	501	501	503	488	481	474	468	462	456	451	445	440	436	431
	(7a-2-1)直営・委託	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	533	516	498	500	500	485	478	472	466	460	454	449	443	438	434	429
	(7a-2-2)許可業者	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	3	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	(7a-3)資源ごみ(集団回収含む)	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	5,164	4,893	4,680	4,339	4,143	3,965	3,805	3,671	3,563	3,481	3,424	3,392	3,385	3,402	3,443	3,509
	(7a-3-1)紙・布類	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	4,032	3,756	3,600	3,337	3,189	3,037	2,911	2,809	2,730	2,675	2,644	2,636	2,651	2,689	2,750	2,833
	(7a-3-1-1)市回収分	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	3,291	3,036	2,907	2,671	2,542	2,421	2,320	2,239	2,176	2,133	2,107	2,101	2,113	2,143	2,192	2,258
	(7a-3-1-2)集団回収分	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	741	719	693	666	647	616	591	570	554	543	536	535	538	546	558	575
	(7a-3-2)紙製容器包装	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	238	231	216	204	189	182	173	165	158	151	144	138	133	128	123	119
	(7a-3-2-1)市回収分	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	224	216	199	184	171	164	156	149	142	136	130	125	120	115	111	107
	(7a-3-2-2)集団回収分	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	13	15	17	19	19	18	17	16	16	15	14	14	13	13	12	12
	(7a-3-3)金属類	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	191	186	182	177	177	172	169	166	164	161	159	157	154	152	150	148
	(7a-3-4)ビン類	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	526	540	504	461	436	423	404	387	371	356	342	329	317	306	296	286
	(7a-3-5)乾電池	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	26	27	25	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
	(7a-3-6)ペットボトル	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	152	153	153	141	134	134	130	127	123	120	118	115	112	110	108	105
	(7a-4)プラスチック製容器包装	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	781	748	738	733	716	703	691	680	670	660	651	642	633	625	617	609
	(7a-5)粗大ごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	116	106	91	90	85	89	89	88	88	88	88	88	88	88	88	87
	(7a-5-1)可燃性粗大ごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	69	65	63	62	65	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64
	(7a-5-2)不燃性粗大ごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	29	23	12	13	7	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	(7a-5-3)粗大回収金属	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	18	18	16	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	(7a-6)生ごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	329	369	305	298	291	290	290	290	289	289	288	288	288	287	287	286
	(7a-7)使用済小型家電	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	-	-	-	-	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	(7b)直接搬入ごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	539	450	449	447	490	473	472	471	470	470	469	468	468	467	467	466
(7b-1)燃えるごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	458	389	388	382	415	404	404	403	402	402	401	401	400	400	399	399	
(7b-2)燃えないごみ	(t/年)	原単位×(4)×365÷10 <sup>6</sup>	81	61	61	66	74	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	
(8)事業系ごみ合計	(t/年)	(8a)+(8b)	3,378	3,172	2,973	3,021	3,070	3,119	3,119	3,119	3,120	3,120	3,121	3,121	3,121	3,122	3,122	3,122	
	(t/日)	(8)/365	9.3	8.7	8.1	8.3	8.4	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	
(8a)収集ごみ	(t/年)	Σ(8a-1)~(8a-2)	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	
(8a-1)燃えるごみ	(t/年)	5年平均	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	
(8a-2)燃えないごみ	(t/年)	排出量0で推移	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(8b)直接搬入ごみ	(t/年)	Σ(8b-1)~(8b-3)	646	619	598	577	621	608	608	609	609	609	610	610	610	611	611	612	
(8b-1)燃えるごみ	(t/年)	3年平均	618	514	570	547	557	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	
(8b-2)燃えないごみ	(t/年)	排出量0で推移	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(8b-3)公共施設	(t/年)	Σ(8b-3-1)~(8b-3-2)	26	104	27	29	63	50	50	50	51	51	51	52	52	53	53	53	
(8b-3-1)燃えるごみ	(t/年)	一次傾向線	23	101	24	27	62	48	49	49	49	50	50	50	51	51	51	52	
(8b-3-2)燃えないごみ	(t/年)	H24実績値一定推移	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

注1) 空白はデータがない箇所、-は収集なし  
 2) 清掃事業概要に記載されていない値は環境課資料及び組合資料の値より  
 3) 人口は各年10月1日値  
 4) 平成15~17年度の事業系ごみ直接搬入量合計には許可業者自社処理分が含まれる

表-39 ごみ処理量の将来予測（現況推移ケース）

			実績→推計																	
区分	単位	計算式等	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30	H.31	H.32	H.33	H.34	H.35		
処 理 内 訳	(9)焼却処理(ごみ処理施設)	(t/年)	(9a)+(9b)	15,833	15,212	14,892	14,966	15,091	14,963	14,896	14,833	14,772	14,713	14,657	14,603	14,551	14,501	14,452	14,405	
	(9a)燃えるごみ	(t/年)	(9a-1)+(9a-2)	15,642	15,067	14,769	14,827	14,954	14,830	14,765	14,703	14,644	14,587	14,532	14,479	14,428	14,379	14,332	14,286	
	(9a-1)家庭系燃えるごみ	(t/年)	(9a-1-1)+(9a-1-2)	12,270	11,899	11,799	11,808	11,886	11,713	11,647	11,585	11,525	11,468	11,413	11,360	11,308	11,259	11,211	11,165	
	(9a-1-1)家庭系収集燃えるごみ	(t/年)	(7a-1)+(7a-5-1)	11,811	11,510	11,410	11,426	11,471	11,308	11,244	11,182	11,123	11,066	11,011	10,959	10,908	10,859	10,812	10,766	
	(9a-1-2)家庭系直接搬入燃えるごみ	(t/年)	(7b-1)	458	389	388	382	415	404	404	403	402	402	401	401	400	400	399	399	
	(9a-2)事業系燃えるごみ	(t/年)	(9a-2-1)+(9a-2-2)	3,373	3,168	2,970	3,019	3,068	3,117	3,118	3,118	3,118	3,119	3,119	3,119	3,119	3,120	3,120	3,121	3,121
	(9a-2-1)事業系収集燃えるごみ	(t/年)	(8a-1)	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511
	(9a-2-2)事業系直接搬入燃えるごみ	(t/年)	(8b-1)+(8b-3-1)	641	615	594	574	619	607	607	607	608	608	608	609	609	609	610	610	
	(9b)粗大ごみ処理施設からの破碎可燃ごみ	(t/年)	(10)×23.38%	191	145	123	139	137	133	131	130	128	127	125	124	123	122	120	119	
	(10)焼却以外の中間処理(粗大ごみ処理施設)	(t/年)	(10a)	653	606	577	582	586	568	561	554	548	542	536	530	525	520	515	510	
	(10a)破碎ごみ	(t/年)	(10a-1)+(10a-2)	653	606	577	582	586	568	561	554	548	542	536	530	525	520	515	510	
	(10a-1)家庭系破碎ごみ	(t/年)	(10a-1-1)+(10a-1-2)	647	603	573	580	584	567	560	553	547	540	535	529	524	519	514	509	
	(10a-1-1)家庭系収集破碎ごみ	(t/年)	(7a-2)+(7a-5-2)	566	541	513	514	510	499	492	485	479	473	467	461	456	451	446	442	
	(10a-1-2)家庭系直接搬入破碎ごみ	(t/年)	(7b-2)	81	61	61	66	74	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	
(10a-2)事業系破碎ごみ	(t/年)	(10a-2-1)+(10a-2-2)	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
(10a-2-1)事業系収集破碎ごみ	(t/年)	(8a-2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(10a-2-2)事業系直接搬入破碎ごみ	(t/年)	(8b-2)+(8b-3-2)	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
(11)最終処分	(t/年)	(11a)+(11b)+(11c)	2,317	2,217	2,131	2,152	2,158	2,134	2,123	2,113	2,102	2,093	2,083	2,074	2,066	2,057	2,049	2,042		
(11a)焼却灰(ごみ処理施設)	(t/年)	(9)×9.52%	1,536	1,425	1,374	1,418	1,437	1,424	1,418	1,412	1,406	1,401	1,395	1,390	1,385	1,380	1,376	1,371		
(11b)飛灰固化物(ごみ処理施設)	(t/年)	(9)×3.37%	588	588	540	525	509	504	502	500	498	496	494	492	490	489	487	485		
(11c)不燃性残渣(粗大ごみ処理施設)	(t/年)	(10)×36.18%	193	205	216	209	212	206	203	201	198	196	194	192	190	188	186	185		
(11d)直接埋立ごみ	(t/年)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
資 源 化 内 訳	(12)資源化量	(t/年)	Σ(12a)~(12o)	6,559	6,284	5,978	5,617	5,419	5,220	5,045	4,897	4,776	4,681	4,611	4,568	4,549	4,556	4,587	4,643	
	(12a)紙・布類	(t/年)	(7a-3-1)	4,032	3,756	3,600	3,337	3,189	3,037	2,911	2,809	2,730	2,675	2,644	2,636	2,651	2,689	2,750	2,833	
	(12b)紙製容器包装	(t/年)	(7a-3-2)	238	231	216	204	189	182	173	165	158	151	144	138	133	128	123	119	
	(12c)金属類	(t/年)	(7a-3-3)	191	186	182	177	177	172	169	166	164	161	159	157	154	152	150	148	
	(12d)ビン類	(t/年)	(7a-3-4)	526	540	504	461	436	423	404	387	371	356	342	329	317	306	296	286	
	(12e)乾電池	(t/年)	(7a-3-5)	26	27	25	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
	(12f)ペットボトル	(t/年)	(7a-3-6)	152	153	153	141	134	134	130	127	123	120	118	115	112	110	108	105	
	(12g)プラスチック容器包装類	(t/年)	(7a-4)	781	748	738	733	716	703	691	680	670	660	651	642	633	625	617	609	
	(12h)堆肥(生ごみ)	(t/年)	(7a-6)	329	369	305	298	291	290	290	290	289	289	288	288	288	287	287	286	
	(12i)使用済小型家電	(t/年)	(7a-7)	—	—	—	—	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
	(12j)粗大回収金属	(t/年)	(7a-5-3)	18	18	16	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
	(12k)粗大ごみ処理施設回収鉄	(t/年)	(10)×34.30%	232	222	203	198	201	195	192	190	188	186	184	182	180	178	177	175	
	(12l)粗大ごみ処理施設回収アルミ	(t/年)	(10)×1.71%	12	12	11	9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	(12m)粗大ごみ処理施設回収その他(バッテリー等)	(t/年)	(10)×0.34%	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
(12n)粗大ごみ処理施設回収その他(廃家電)	(t/年)	(10)×3.58%	21	21	21	24	21	20	20	20	20	19	19	19	19	19	18	18		
(12o)粗大ごみ処理施設回収その他(陶器類)	(t/年)	(10)×0.51%	—	—	—	—	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
(13)資源化率	(%)	(12)/(6)×100	29.0	29.0	28.4	27.0	26.2	25.6	25.0	24.6	24.2	23.9	23.7	23.6	23.6	23.7	23.9	24.1		

注1) 清掃事業概要に記載されていない値は環境課資料及び組合資料の値より

: 東部知多衛生組合資料



## 4 目標達成ケースの予測

表-40 に示す削減目標等に基づき、現況推移ケースからの削減量を表-41 のとおり算出しました。  
また、削減・資源化量を加味したごみ排出量の将来予測（目標達成ケース）は表-42～43 に示すとおりです。

表-40 現況推移ケースからの削減目標等

施策			削減対象	資源化対象	目標年度 (平成35年度) 削減・資源化目標	削減・資源化根拠
家庭系 ごみ	発生抑制	生ごみ堆肥化容器・処理機の使用	燃えるごみ (収集)	—	5%削減	過去5年間の燃えるごみの組成調査結果より、生ごみは全体の約25%を占めています。堆肥化容器・処理機の普及、エコネットの推進により燃えるごみ中の生ごみを20%削減します。
		エコ・クッキングの推進				
		過剰包装商品の購入自粛	プラスチック製容器包装	—	5%削減	目標年度（平成40年度）に過剰包装商品の購入自粛を市全体の50%に周知徹底し、1世帯あたり10%の削減を目指します。
	再使用	リサイクルショップ・ネットオークション・不用品紹介制度の利用	燃えないごみ (収集)	—	5%削減	電化製品や家具などの不燃ごみ・粗大ごみとして排出されるもので、使用可能なものは再利用するように周知徹底し、不燃ごみ・粗大ごみからそれぞれ5%削減を目指します。
			粗大ごみ	—	5%削減	
	再生利用	資源ごみの分別徹底 集団回収への参加	燃えるごみ (収集)	プラスチック製容器包装	1% 資源化移行	過去5年間の燃えるごみの組成調査結果より、プラスチック製容器包装は全体の約5%を占めています。資源化可能なものは分別徹底を行い、燃えるごみ中のプラスチック製容器包装を20%資源化します。
				紙製容器包装	1% 資源化移行	過去5年間の燃えるごみの組成調査結果より、紙製容器包装は全体の約5%を占めています。資源化可能なものは分別徹底を行い、燃えるごみ中の紙製容器包装を20%資源化します。
				紙・布類	1% 資源化移行	過去5年間の燃えるごみの組成調査結果より、紙・布類は全体の約10%を占めています。資源化可能なものは分別徹底を行い、燃えるごみ中の紙・布類を10%資源化します。
		生ごみの分別収集	燃えるごみ (収集)	生ごみ	1% 資源化移行	過去5年間の燃えるごみの組成調査結果より、生ごみは全体の約25%を占めています（この内、生ごみ収集対象世帯は8,000世帯で市全体の世帯数の3割程度です）。分別せずに燃えるごみとして排出している生ごみ収集世帯の中から10～15%の生ごみを分別収集するように周知徹底します。
		使用済小型家電のリサイクル	燃えないごみ (収集)	使用済小型家電	10% 資源化移行	過去5年間の燃えないごみの組成調査結果より、不燃（家電）は全体の約20%を占めています。この内、平成24年4月から資源化している小型家電を周知徹底により、燃えないごみ中の小型家電を50%資源化します。
事業系 ごみ	発生抑制	ごみ減量計画書の作成	燃えるごみ (許可収集)	—	5%削減	燃えるごみから5%削減を目指します。
中間処理	再生利用	灰溶融施設の整備	焼却処理	スラグ・メタル	焼却処理量の 9.52%を資源化	焼却灰排出量（飛灰固化物除く）の全量をスラグ・メタルとして資源化します。

※現況推移ケースからの削減量

表-41 削減目標・資源化移行目標・スラグ・メタル回収量の予測値

●削減目標

分別項目		実績値	推計値											備考		
			H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	H. 32	H. 33	H. 34		H. 35	
家庭系	(7a-1)燃えるごみ(収集)	11,406	11,244	11,179	11,118	11,059	11,002	10,947	10,895	10,844	10,795	10,748	10,703	目標年度(平成35年度)に9%削減		
	削減目標	削減量(%)	—	0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%		5.0%	
		資源化移行量	—	0%	0.4%	0.8%	1.2%	1.6%	2.0%	2.4%	2.8%	3.2%	3.6%		4.0%	
	削減後		11,406	11,244	11,079	10,918	10,760	10,606	10,455	10,307	10,161	10,018	9,878	9,740		
	(7a-2)燃えないごみ(収集)	実績値		503	488	481	474	468	462	456	451	445	440	436	431	目標年度(平成35年度)に15%削減
		削減目標	削減量(%)	—	0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%	5.0%	
			資源化移行量	—	0%	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	
	削減後		503	488	474	460	447	434	422	410	399	388	377	366		
	(7a-3-2)紙製容器包装	実績値		189	182	173	165	158	151	144	138	133	128	123	119	目標年度(平成35年度)に5%削減
		削減目標	削減量(%)	—	0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%	5.0%	
			削減後	189	182	172	163	155	148	141	134	128	123	118	113	
	(7a-4)プラスチック製容器包装	実績値		716	703	691	680	670	660	651	642	633	625	617	609	目標年度(平成35年度)に5%削減
		削減目標	削減量(%)	—	0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%	5.0%	
			削減後	716	703	688	674	660	647	634	622	611	600	589	579	
	(7a-5)粗大ごみ	実績値		85	89	89	88	88	88	88	88	88	88	88	87	目標年度(平成35年度)に5%削減
削減目標		削減量(%)	—	0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%	5.0%		
		削減後	85	89	88	88	87	86	86	85	85	84	84	83		
事業系	(8a-1)燃えるごみ		2,449	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	2,511	目標年度(平成35年度)に5%削減	
	削減目標	削減量(%)	—	0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%	5.0%		
		削減後	2,449	2,511	2,498	2,486	2,473	2,461	2,448	2,435	2,423	2,410	2,398	2,385		

●資源化移行目標

分別項目		実績値	推計値											備考		
			H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	H. 32	H. 33	H. 34		H. 35	
家庭系	(7a-3-1)紙・布類	実績値		3,189	3,037	2,911	2,809	2,730	2,675	2,644	2,636	2,651	2,689	2,750	2,833	目標年度(平成35年度)燃えるごみから1%資源化移行
		削減目標	削減量(t)	—	0	11	22	33	44	55	65	76	86	97	107	
			資源化移行後	3,189	3,037	2,922	2,831	2,764	2,719	2,699	2,701	2,726	2,775	2,846	2,940	
	(7a-3-2)紙製容器包装	実績値		189	182	172	163	155	148	141	134	128	123	118	113	目標年度(平成35年度)燃えるごみから1%資源化移行
		削減目標	削減量(t)	—	0	11	22	33	44	55	65	76	86	97	107	
			資源化移行後	189	182	183	186	188	192	195	200	204	209	214	220	
	(7a-4)プラスチック製容器包装	実績値		716	703	691	680	670	660	651	642	633	625	617	609	目標年度(平成35年度)燃えるごみから1%資源化移行
		削減目標	削減量(t)	—	0	11	22	33	44	55	65	76	86	97	107	
			資源化移行後	716	703	702	703	703	704	705	707	709	711	714	716	
	(7a-6)生ごみ	実績値		291	290	290	290	289	289	288	288	288	287	287	286	目標年度(平成35年度)燃えるごみから1%資源化移行
		削減目標	削減量(t)	—	0	11	22	33	44	55	65	76	86	97	107	
			資源化移行後	291	290	301	312	322	333	343	353	363	374	384	393	
	(7a-7)使用済小型家電	実績値		19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	目標年度(平成35年度)燃えないごみから10%資源化移行
		削減目標	削減量(t)	—	0	5	9	14	18	23	27	31	35	39	43	
			資源化移行後	19	19	24	28	33	37	42	46	50	54	58	62	

●溶融施設の稼働によるスラグ・メタルの回収目標

分別項目		実績値	推計値											備考
			H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	H. 32	H. 33	H. 34	
中間処	(9)焼却処理(ごみ処理施設)	15,091	14,965	14,783	14,606	14,432	14,261	14,094	13,930	13,769	13,610	13,454	13,300	新施設の稼働開始を平成31年度と仮定し、各年度(焼却処理量)×9.52%資源化
	(12p)溶融スラグ・メタル(新)	—	—	—	—	—	—	—	1,326	1,311	1,296	1,281	1,266	


表-42 ごみ排出量の将来予測（目標達成ケース）

区分	単位	計算式等	実績→推計																
			H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30	H.31	H.32	H.33	H.34	H.35	
人口	(1)行政区域内人口	(人)	住民基本台帳人口(10月1日現在)	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(2)計画処理区域内人口	(人)	"	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(3)計画収集人口	(人)	"	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(4)計画収集人口(焼却対象)	(人)	"	68,924	68,861	68,811	68,567	68,419	68,348	68,237	68,131	68,028	67,929	67,834	67,742	67,653	67,567	67,484	67,403
	(5)自家処理人口	(人)	(3)-(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排出量	(6)総排出量	(t/年)	(7)+(8)	22,587	21,702	21,086	20,792	20,722	20,389	20,072	19,787	19,532	19,306	19,109	18,940	18,800	18,686	18,600	18,540
		(g/人・日)	(6)/((4)×365)×10 <sup>6</sup>	897.8	863.4	839.5	830.8	829.8	817.3	805.9	795.7	786.6	778.6	771.8	766.0	761.3	757.7	755.1	753.6
	(7)家庭系ごみ合計	(t/年)	(7a)×(7b)	19,208	18,530	18,113	17,771	17,652	17,270	16,966	16,692	16,449	16,236	16,051	15,895	15,766	15,665	15,591	15,543
		(g/人・日)	(7)/((4)×365)×10 <sup>6</sup>	763.5	737.2	721.2	710.1	706.9	692.3	681.2	671.3	662.5	654.8	648.3	642.8	638.5	635.2	633.0	631.8
	(7a)収集ごみ	(t/年)	Σ(7a-1)~(7a-7)	18,669	18,080	17,664	17,324	17,163	16,797	16,494	16,221	15,979	15,766	15,582	15,426	15,298	15,198	15,124	15,077
	(7a-1)燃えるごみ	(t/年)	削減目標値	11,743	11,444	11,348	11,364	11,406	11,244	11,079	10,918	10,760	10,606	10,455	10,307	10,161	10,018	9,878	9,740
	(7a-1-1)直営・委託	(t/年)	(7a-1)×99.89%	11,731	11,436	11,336	11,360	11,393	11,231	11,066	10,905	10,748	10,594	10,443	10,295	10,149	10,007	9,866	9,728
	(7a-1-2)許可業者	(t/年)	(7a-1)×0.11%	12	8	11	4	13	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	11
	(7a-2)燃えないごみ	(t/年)	削減目標値	536	519	501	501	503	488	474	460	447	434	422	410	399	388	377	366
	(7a-2-1)直営・委託	(t/年)	(7a-2)×99.52%	533	516	498	500	500	485	471	458	445	432	420	408	397	386	375	365
	(7a-2-2)許可業者	(t/年)	(7a-2)×0.48%	3	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	(7a-3)資源ごみ(集団回収含む)	(t/年)	Σ(7a-3-1)~(7a-3-6)	5,164	4,893	4,680	4,339	4,143	3,965	3,826	3,714	3,627	3,566	3,530	3,518	3,532	3,569	3,631	3,717
	(7a-3-1)紙・布類	(t/年)	資源化移行目標値	4,032	3,756	3,600	3,337	3,189	3,037	2,922	2,831	2,764	2,719	2,699	2,701	2,726	2,775	2,846	2,940
	(7a-3-1-1)市回収分	(t/年)	(7a-3-1)×79.71%	3,291	3,036	2,907	2,671	2,542	2,421	2,329	2,257	2,203	2,168	2,151	2,153	2,173	2,212	2,269	2,344
	(7a-3-1-2)集団回収分	(t/年)	(7a-3-1)×20.29%	741	719	693	666	647	616	593	574	561	552	548	548	553	563	578	597
	(7a-3-2)紙製容器包装	(t/年)	削減・資源化移行目標値	238	231	216	204	189	182	183	186	188	192	195	200	204	209	214	220
	(7a-3-2-1)市回収分	(t/年)	(7a-3-2)×90.14%	224	216	199	184	171	164	165	167	170	173	176	180	184	189	193	198
	(7a-3-2-2)集団回収分	(t/年)	(7a-3-2)×9.86%	13	15	17	19	19	18	18	18	19	19	19	20	20	21	21	22
	(7a-3-3)金属類	(t/年)	現況推移	191	186	182	177	177	172	169	166	164	161	159	157	154	152	150	148
	(7a-3-4)ビン類	(t/年)	現況推移	526	540	504	461	436	423	404	387	371	356	342	329	317	306	296	286
	(7a-3-5)乾電池	(t/年)	現況推移	26	27	25	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
	(7a-3-6)ペットボトル	(t/年)	現況推移	152	153	153	141	134	134	130	127	123	120	118	115	112	110	108	105
	(7a-4)プラスチック製容器包装	(t/年)	削減・資源化移行目標値	781	748	738	733	716	703	702	703	703	704	705	707	709	711	714	716
	(7a-5)粗大ごみ	(t/年)	削減目標値	116	106	91	90	85	89	88	88	87	86	86	85	85	84	84	83
	(7a-5-1)可燃性粗大ごみ	(t/年)	(7a-5)×75.82%	69	65	63	62	65	67	67	66	66	66	65	65	64	64	63	63
	(7a-5-2)不燃性粗大ごみ	(t/年)	(7a-5)×8.49%	29	23	12	13	7	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	(7a-5-3)粗大回収金属	(t/年)	(7a-5)×15.69%	18	18	16	14	13	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13
	(7a-6)生ごみ	(t/年)	資源化移行目標値	329	369	305	298	291	290	301	312	322	333	343	353	363	374	384	393
	(7a-7)使用済小型家電	(t/年)	資源化移行目標値	-	-	-	-	19	19	24	28	33	37	42	46	50	54	58	62
	(7b)直接搬入ごみ	(t/年)	現況推移	539	450	449	447	490	473	472	471	470	470	469	468	468	467	467	466
(7b-1)燃えるごみ	(t/年)	現況推移	458	389	388	382	415	404	404	403	402	402	401	401	400	400	399	399	
(7b-2)燃えないごみ	(t/年)	現況推移	81	61	61	66	74	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	
(8)事業系ごみ合計	(t/年)	(8a)+(8b)	3,378	3,172	2,973	3,021	3,070	3,119	3,107	3,094	3,082	3,070	3,058	3,046	3,033	3,021	3,009	2,997	
	(t/日)	(8)/365	9.3	8.7	8.1	8.3	8.4	8.5	8.5	8.5	8.4	8.4	8.4	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2	
(8a)収集ごみ	(t/年)	Σ(8a-1)~(8a-2)	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449	2,511	2,498	2,486	2,473	2,461	2,448	2,435	2,423	2,410	2,398	2,385	
(8a-1)燃えるごみ	(t/年)	削減目標値	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449	2,511	2,498	2,486	2,473	2,461	2,448	2,435	2,423	2,410	2,398	2,385	
(8a-2)燃えないごみ	(t/年)	現況推移	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(8b)直接搬入ごみ	(t/年)	Σ(8b-1)~(8b-3)	646	619	598	577	621	608	608	609	609	609	610	610	610	611	611	612	
(8b-1)燃えるごみ	(t/年)	現況推移	618	514	570	547	557	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	
(8b-2)燃えないごみ	(t/年)	現況推移	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(8b-3)公共施設	(t/年)	Σ(8b-3-1)~(8b-3-2)	26	104	27	29	63	50	50	50	51	51	51	52	52	53	53	53	
(8b-3-1)燃えるごみ	(t/年)	現況推移	23	101	24	27	62	48	49	49	49	50	50	50	51	51	51	52	
(8b-3-2)燃えないごみ	(t/年)	現況推移	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

注1) 空白はデータがない箇所、-は収集なし  
2) 清掃事業概要に記載されていない値は環境課資料及び組合資料の値より  
3) 人口は各年10月1日値  
4) 平成15~17年度の事業系ごみ直接搬入量合計には許可業者自社処理分が含まれる

表-43 ごみ処理量の将来予測（目標達成ケース）

			実績→推計																
区分	単位	計算式等	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30	H.31	H.32	H.33	H.34	H.35	
処 理 内 訳	(9)焼却処理(ごみ処理施設)	(t/年)	(9a)+(9b)	15,833	15,212	14,892	14,966	15,091	14,965	14,783	14,606	14,432	14,261	14,094	13,930	13,769	13,610	13,454	13,300
	(9a)燃えるごみ	(t/年)	(9a-1)+(9a-2)	15,642	15,067	14,769	14,827	14,954	14,833	14,654	14,480	14,309	14,142	13,977	13,816	13,658	13,502	13,348	13,197
	(9a-1)家庭系燃えるごみ	(t/年)	(9a-1-1)+(9a-1-2)	12,270	11,899	11,799	11,808	11,886	11,715	11,549	11,387	11,228	11,073	10,921	10,772	10,626	10,482	10,340	10,201
	(9a-1-1)家庭系収集燃えるごみ	(t/年)	(7a-1)+(7a-5-1)	11,811	11,510	11,410	11,426	11,471	11,311	11,146	10,984	10,826	10,671	10,520	10,371	10,225	10,082	9,941	9,803
	(9a-1-2)家庭系直接搬入燃えるごみ	(t/年)	(7b-1)	458	389	388	382	415	404	404	403	402	402	401	401	400	400	399	399
	(9a-2)事業系燃えるごみ	(t/年)	(9a-2-1)+(9a-2-2)	3,373	3,168	2,970	3,019	3,068	3,117	3,105	3,093	3,081	3,069	3,056	3,044	3,032	3,020	3,008	2,995
	(9a-2-1)事業系収集燃えるごみ	(t/年)	(8a-1)	2,732	2,553	2,376	2,444	2,449	2,511	2,498	2,486	2,473	2,461	2,448	2,435	2,423	2,410	2,398	2,385
	(9a-2-2)事業系直接搬入燃えるごみ	(t/年)	(8b-1)+(8b-3-1)	641	615	594	574	619	607	607	607	608	608	608	609	609	609	610	610
	(9b)粗大ごみ処理施設からの破砕可燃ごみ	(t/年)	(10)×23.38%	191	145	123	139	137	132	129	126	122	119	117	114	111	108	106	103
	(10)焼却以外の中間処理(粗大ごみ処理施設)	(t/年)	(10a)	653	606	577	582	586	565	551	537	524	511	498	486	475	464	453	442
	(10a)破砕ごみ	(t/年)	(10a-1)+(10a-2)	653	606	577	582	586	565	551	537	524	511	498	486	475	464	453	442
	(10a-1)家庭系破砕ごみ	(t/年)	(10a-1-1)+(10a-1-2)	647	603	573	580	584	564	549	535	522	509	497	485	473	462	451	441
	(10a-1-1)家庭系収集破砕ごみ	(t/年)	(7a-2)+(7a-5-2)	566	541	513	514	510	495	481	467	454	441	429	417	406	395	384	373
	(10a-1-2)家庭系直接搬入破砕ごみ	(t/年)	(7b-2)	81	61	61	66	74	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67
	(10a-2)事業系破砕ごみ	(t/年)	(10a-2-1)+(10a-2-2)	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	(10a-2-1)事業系収集破砕ごみ	(t/年)	(8a-2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10a-2-2)事業系直接搬入破砕ごみ	(t/年)	(8b-2)+(8b-3-2)	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
(11)最終処分	(t/年)	(11a)+(11b)+(11c)	2,317	2,217	2,131	2,152	2,158	2,133	2,105	2,077	2,050	2,023	1,997	645	636	626	617	608	
(11a)焼却灰(ごみ処理施設)	(t/年)	(9)×9.52%	1,536	1,425	1,374	1,418	1,437	1,425	1,407	1,390	1,374	1,358	1,342	-	-	-	-	-	
(11b)飛灰固化物(ごみ処理施設)	(t/年)	(9)×3.37%	588	588	540	525	509	504	498	492	486	481	475	469	464	459	453	448	
(11c)不燃性残渣(粗大ごみ処理施設)	(t/年)	(10)×36.18%	193	205	216	209	212	204	199	194	189	185	180	176	172	168	164	160	
(11d)直接埋立ごみ	(t/年)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 源 化 内 訳	(12)資源化量	(t/年)	Σ(12a)~(12o)	6,559	6,284	5,978	5,617	5,419	5,220	5,090	4,987	4,911	4,860	4,835	6,161	6,170	6,204	6,263	6,346
	(12a)紙・布類	(t/年)	(7a-3-1)	4,032	3,756	3,600	3,337	3,189	3,037	2,922	2,831	2,764	2,719	2,699	2,701	2,726	2,775	2,846	2,940
	(12b)紙製容器包装	(t/年)	(7a-3-2)	238	231	216	204	189	182	183	186	188	192	195	200	204	209	214	220
	(12c)金属類	(t/年)	(7a-3-3)	191	186	182	177	177	172	169	166	164	161	159	157	154	152	150	148
	(12d)ビン類	(t/年)	(7a-3-4)	526	540	504	461	436	423	404	387	371	356	342	329	317	306	296	286
	(12e)乾電池	(t/年)	(7a-3-5)	26	27	25	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
	(12f)ペットボトル	(t/年)	(7a-3-6)	152	153	153	141	134	134	130	127	123	120	118	115	112	110	108	105
	(12g)プラスチック容器包装類	(t/年)	(7a-4)	781	748	738	733	716	703	702	703	703	704	705	707	709	711	714	716
	(12h)堆肥(生ごみ)	(t/年)	(7a-6)	329	369	305	298	291	290	301	312	322	333	343	353	363	374	384	393
	(12i)使用済小型家電	(t/年)	(7a-7)	-	-	-	-	19	19	24	28	33	37	42	46	50	54	58	62
	(12j)粗大回収金属	(t/年)	(7a-5-3)	18	18	16	14	13	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13
	(12k)粗大ごみ処理施設回収鉄	(t/年)	(10)×34.30%	232	222	203	198	201	194	189	184	180	175	171	167	163	159	155	152
	(12l)粗大ごみ処理施設回収アルミ	(t/年)	(10)×1.71%	12	12	11	9	10	10	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8
	(12m)粗大ごみ処理施設回収その他(バッテリー等)	(t/年)	(10)×0.34%	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	(12n)粗大ごみ処理施設回収その他(廃家電)	(t/年)	(10)×3.58%	21	21	21	24	21	20	20	19	19	18	18	17	17	17	16	16
	(12o)粗大ごみ処理施設回収その他(陶器類)	(t/年)	(10)×0.51%	-	-	-	-	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
(12p)溶融スラグ・メタル	(t/年)	溶融施設稼働	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,326	1,311	1,296	1,281	1,266	
(13)資源化率	(%)	(12)/(6)×100	29.0	29.0	28.4	27.0	26.2	25.6	25.4	25.2	25.1	25.2	25.3	32.5	32.8	33.2	33.7	34.2	

注1) 清掃事業概要に記載されていない値は環境課資料及び組合資料の値より  
 : 東部知多衛生組合資料

## アンケート調査結果

### 1. 調査概要

#### 1) 調査目的

本市の廃棄物処理体制を見直し、計画的なごみ処理の推進を図るため、市民のごみ処理等に係る現状認識や今後の意向を把握し、「ごみ処理基本計画」の改定に向けた施策等の検討に資することを目的とします。

#### 2) 調査方法

調査は、市内在住の男女に対して、以下のように実施しました。

期間	平成25年8月上旬～平成25年9月10日
対象者	豊明市在住の男女
調査方法	郵送による配布・回収
サンプル抽出法	住民基本台帳の中から無作為抽出

#### (3) 配布・回収状況

配布・回収状況を以下に示します。

配布数	(件)	1,500
回収数	(件)	656
回収率	(%)	43.7
無効回答数	(件)	0
有効回答数	(件)	656
有効回答率	(%)	100

※調査票に記入のないものを無効回答としました。

## (4) 調査内容

調査は以下の内容について実施しました。

分類	No.	設問	備考
1. あなたご自身のことについてお聞きします	問1	性別	SA
	問2	年齢	SA
	問3	住まい	SA
	問4	家族形態	SA
	問5	住居形態	SA
2. ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナーについてお聞きします	問6	環境問題・エネルギー問題への関心	SA
	問7	ごみ減量・リサイクル問題への関心	SA
	問8	どのような内容に関心があるか	MA 問7→関心がある方のみ
	問9	ごみ出しのマナーについて	SA
	問10	マナーが悪いと思う理由	MA 問9→マナーが悪いと答えた方のみ
3. ごみの分別についてお聞きします	問11	分別区分の認知度	SA
	問12	きちんと分別していますか	SA
	問13	分別していない理由	MA 問12→分別していない方のみ
	問14	市の収集に対する満足度	SA
	問15	満足していない理由	MA 問14→満足していない方のみ
	問16	収集箇所数の満足度	SA
	問17	収集箇所の増設について	SA 問16→少ないと答えた方のみ
4. ごみを減らすための取り組みについて	問18	資源物の処分方法について	MA
	問19	ごみ減量やリサイクルへの取り組み	SA (現状、今後)
	問20	生ごみ処理方法	SA 対象：生ごみ分別収集地区内の方
	問21		SA 対象：生ごみ分別収集地区外の方
	問22	生ごみ分別への協力	SA (現状、今後)
	問23	市の実施している施策について	SA (現状、今後)
	問24	市の行う3Rに対する満足度	SA
	問25	ごみに関する情報の取得方法	MA
	問26	市の啓発や情報提供の評価	SA
	問27	有効と思う情報発信方法	MA
	問28	小売店・製造業者の取り組み	MA
	問29	力を入れるべき施策	MA

## (5) 調査結果の見方

本文中の各設問の図中に示されている「n=□□」の数値は、当該設問の有効回答数です。

単数回答 (SA) の場合は「n=回答者数」となりますが、複数回答 (MA) の場合は「n=回答数の合計」となります。

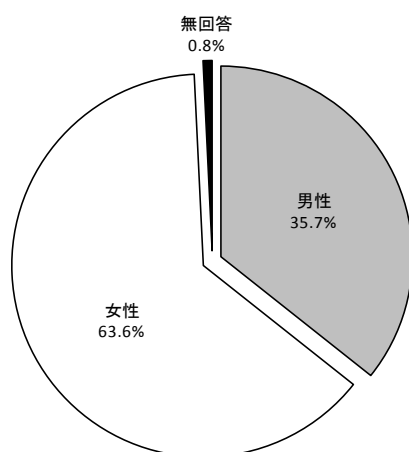
## 2. 調査結果

## 1. あなたご自身のことについてお聞きします

## 問1 性別

回答者の性別は女性が63.6%と多く、男性は35.7%にとどまっています。

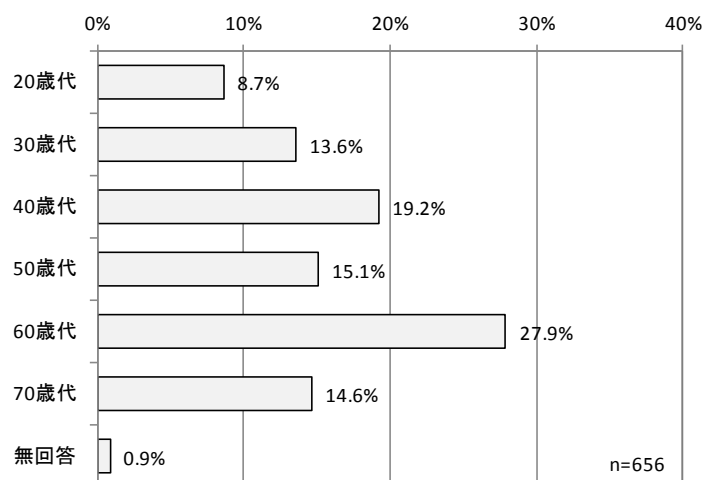
家庭におけるごみ処理について、多くの世帯で女性が行っているために関心が高くなっているものと想定されます。



n=656

## 問2 年齢

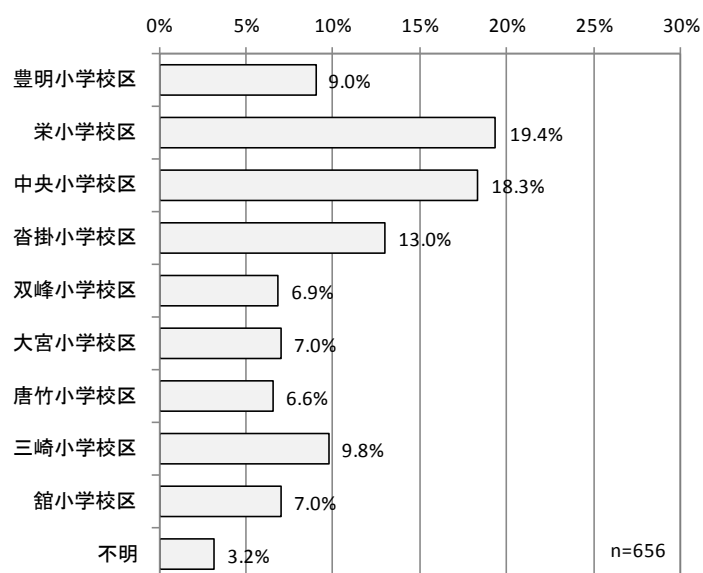
回答者の年齢は、比較的時間に余裕のあると思われる60歳代が多くなっており27.9%、続いて40歳代が19.2%、50歳代が15.1%となっています。



n=656

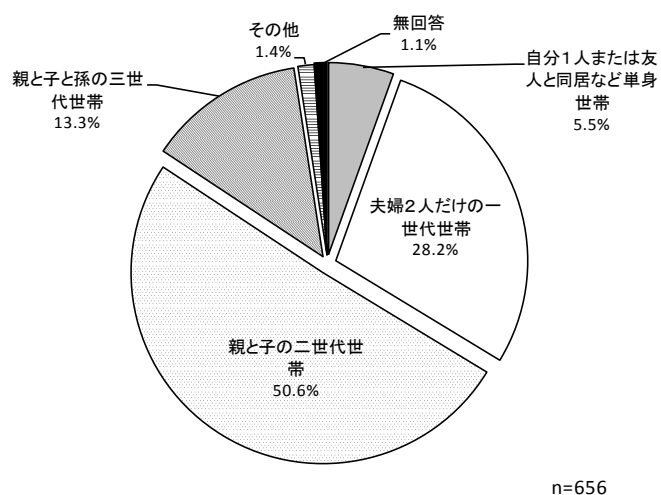
### 問3 住まい

回答者の住まいは、栄小学校区が19.4%と最も多く、続いて中央小学校区が18.3%、沓掛小学校区が13.0%となっています。



### 問4 家族形態

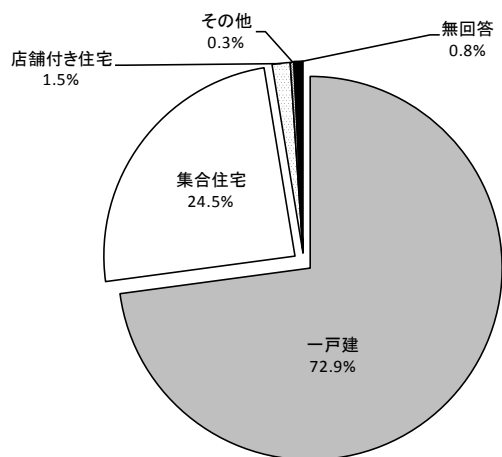
回答者の家族形態は、親と子の二世代世帯が50.6%と最も多く、続いて夫婦2人だけの一世代世帯が28.2%、親と子と孫の三世代世帯が13.3%となっています。





## 問5 住居形態

回答者の住居形態は、一戸建が72.9%と最も多く、続いて集合住宅が24.5%、店舗付き住宅が1.5%となっています。

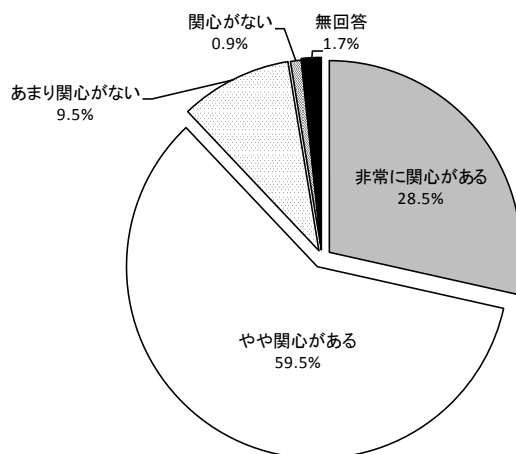


n=656

## 2. ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナーについてお聞きします

問6 あなたは、地球環境問題やエネルギー問題に関心がありますか。(〇は1つ)

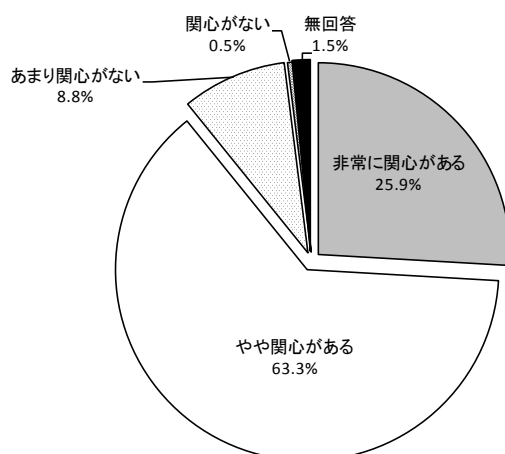
「やや関心がある」が最も多く59.5%、それに続いて「非常に関心がある」が28.5%となっており、合計すると88.0%の方が環境問題等に関心をもっています。



n=656

問7 あなたは、ごみの減量やリサイクルなどのごみ問題に関心がありますか。(〇は1つ)

「やや関心がある」が最も多く63.3%、それに続いて「非常に関心がある」が25.9%となっており、合計すると89.2%の方が関心をもっています。

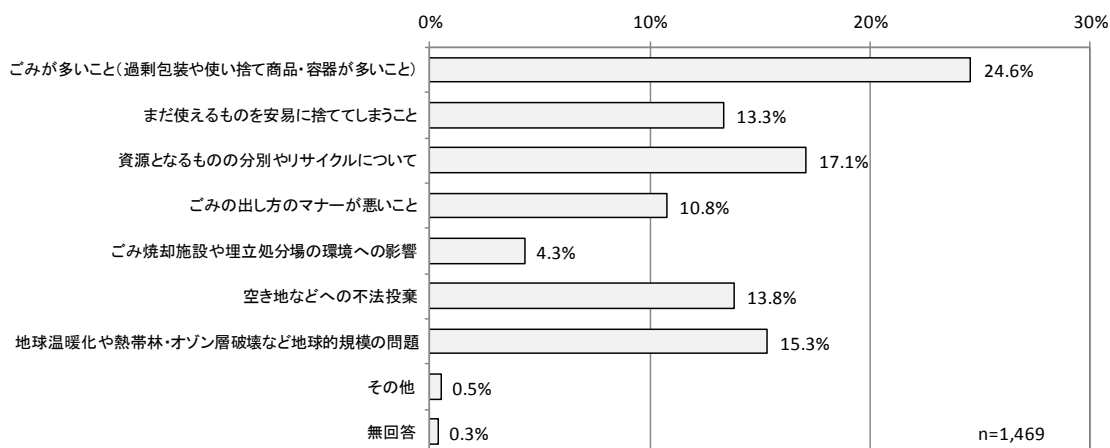


n=656

問8 どのような内容に関心がありますか。(〇は3つまで)

【問7で「1. 非常に関心がある」、「2. やや関心がある」を選んだ方585名のみ】

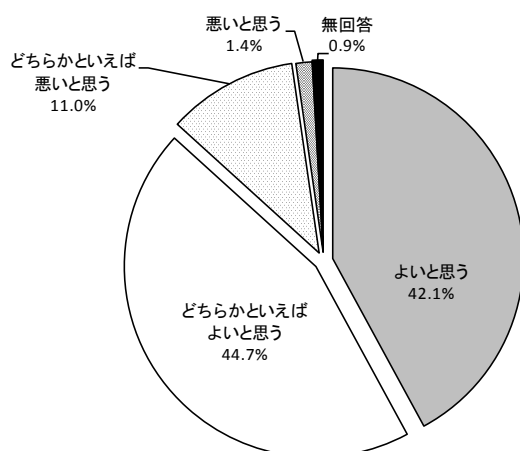
ごみ問題に関心のある方の具体的な関心事は、「ごみが多いこと」が24.6%と最も多く、それに続いて「資源となるものの分別やリサイクルについて」が17.1%、「地球温暖化や熱帯林・オゾン層破壊など地球的規模の問題」が15.3%となっています。



問9 あなたが利用するごみ置き場の、ごみの出し方のマナーについてどう思いますか。

(〇は1つ)

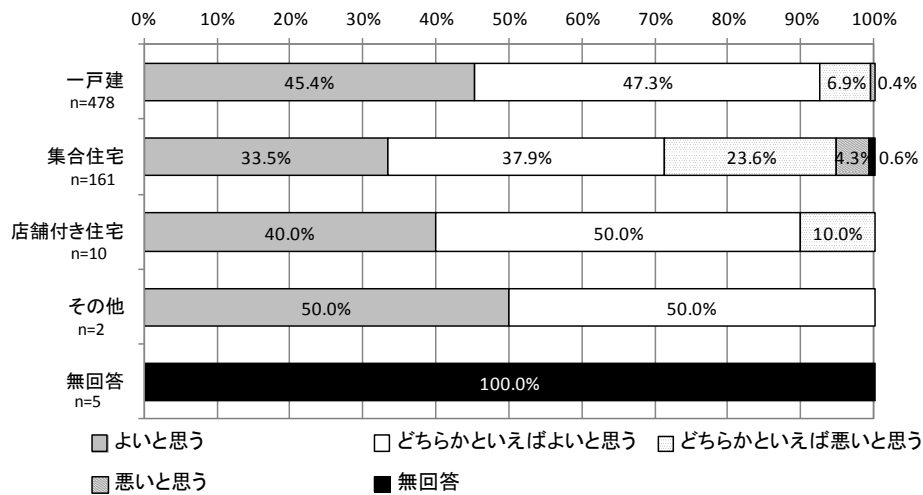
ごみ出しマナーについて、「どちらかといえばよいと思う」が44.7%と最も多く、それに続いて「よいと思う」が42.1%となっており、合計すると86.8%の方が「マナーがよい」と答えています。



n=656

## 【住居形態別】

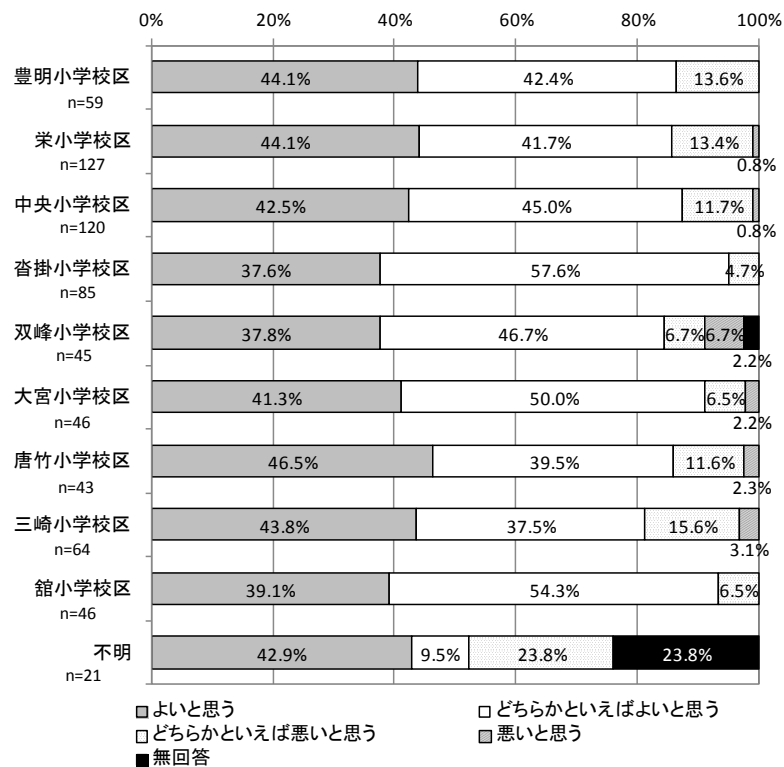
ごみ出しマナーについて住居形態毎に分けて整理すると集合住宅においてマナーが悪いと感じている方が多くなっています。



## 【地区別】

ごみ出しマナーについて地区毎に分けて整理すると以下のとおりです。

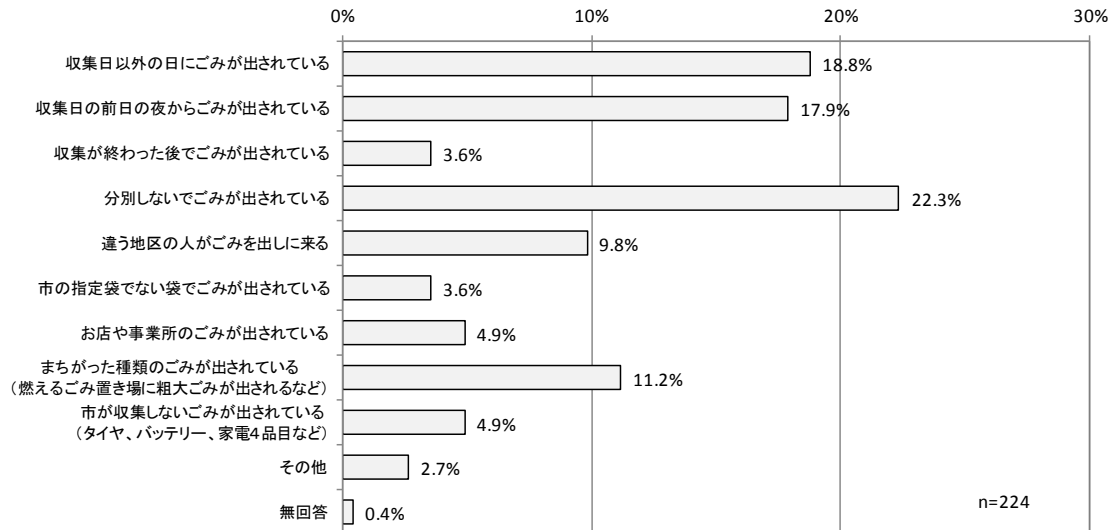
どの地区も同じような比率となっていますが、「双峰小学校区」、「唐竹小学校区」、「三崎小学校区」で若干マナーが悪いと感じている方が多くなっています。



問10 ごみの出し方のマナーが悪いと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【問9で「3. どちらかといえば悪いと思う」、「4. 悪いと思う」を選んだ方81名のみ】

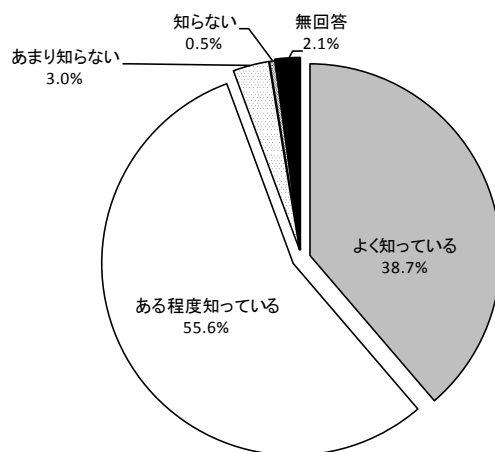
ごみ出しマナーが悪いと思う理由は、「分別しないでごみが出されている」が22.3%と最も多く、それに続いて「収集日以外の日にごみが出されている」18.8%、「収集の前日の夜からごみが出されている」17.9%となっています。



### 3. ごみの分別についてお聞きします

問11 市が収集するごみの出し方（分別区分）について知っていますか。（○は1つ）

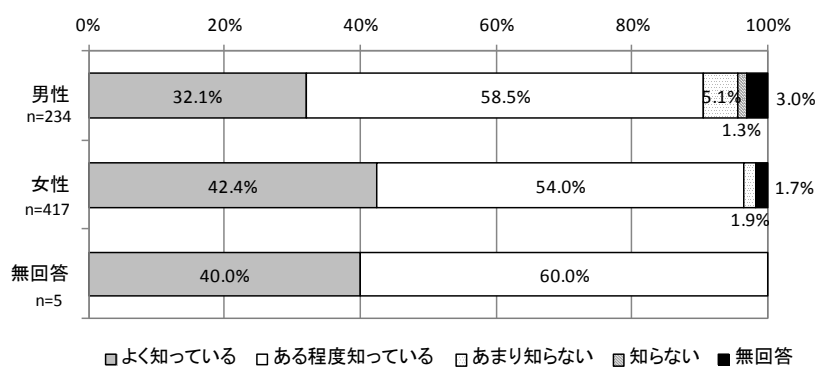
ごみの出し方について、「ある程度知っている」が55.6%と最も多く、それに続いて「よく知っている」が38.7%となっており、合計すると94.3%の方が「知っている」と答えています。



n=656

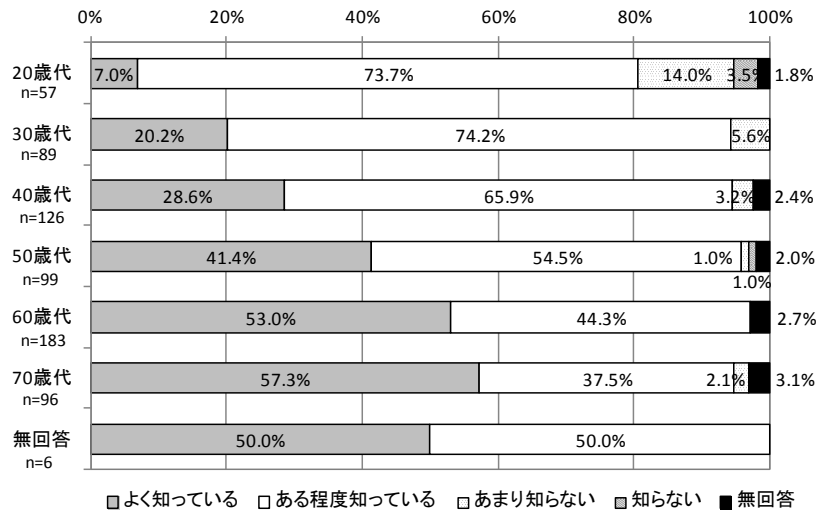
#### 【男女別】

男女別でごみの出し方について比較すると、男性よりも女性の方が知っていると答えた方が多くなっています。



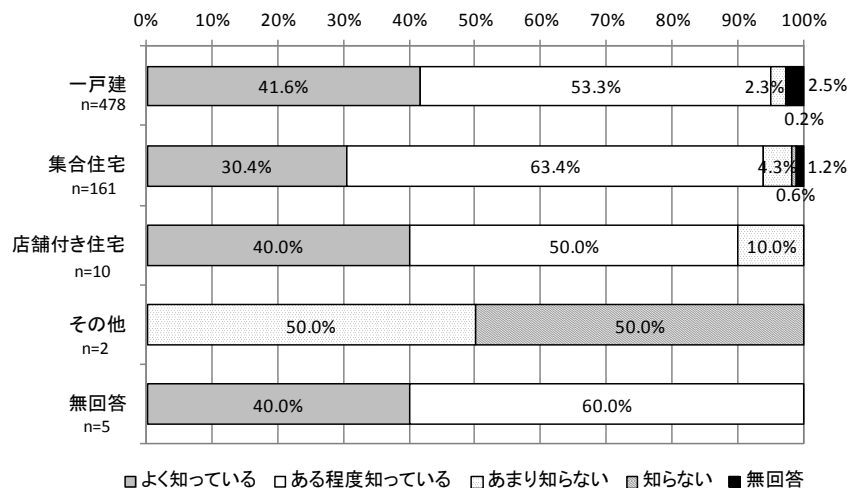
## 【年齢別】

年齢別でごみの出し方について比較すると、年齢が高いほど知っていると答える方が多くなっています。



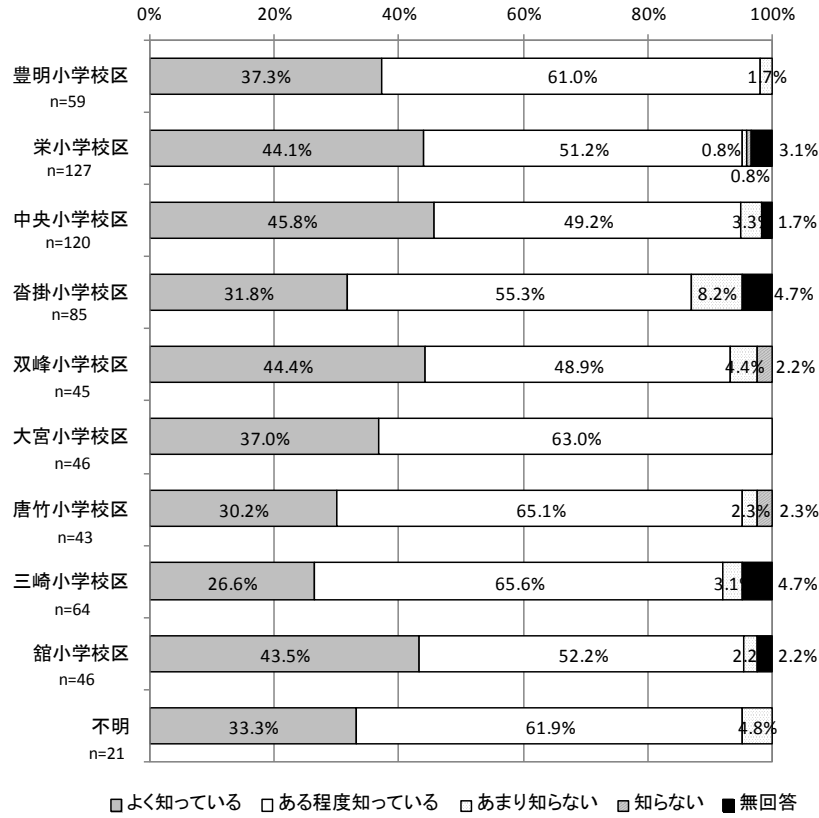
## 【住居形態別】

住居形態別でごみの出し方について比較すると、一戸建てよりも集合住宅の方が知らないと答える方が多くなっています。



## 【地区別】

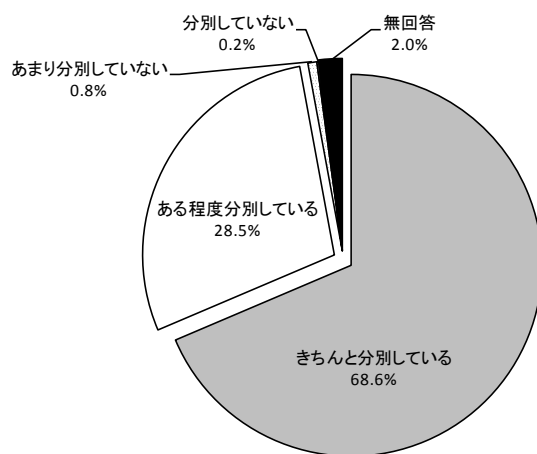
地区別でごみの出し方について比較すると以下のとおりです。





問12 市が収集するごみ（燃えるごみ・燃えないごみ・プラスチック製容器包装・資源ごみ（びん・カン・ペットボトル・紙類・布類など））について、きちんと分別していますか。  
（○は1つ）

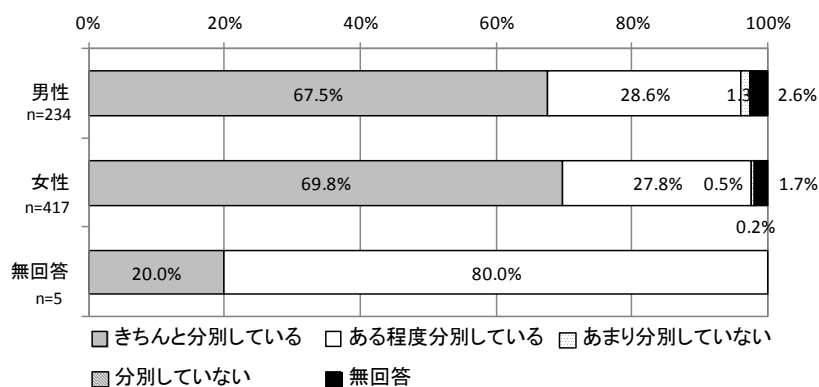
分別の実施状況について、「きちんと分別している」が68.6%と最も多く、それに続いて「ある程度分別している」が28.5%となっており、合計すると97.1%の方が「分別している」と答えています。



n=656

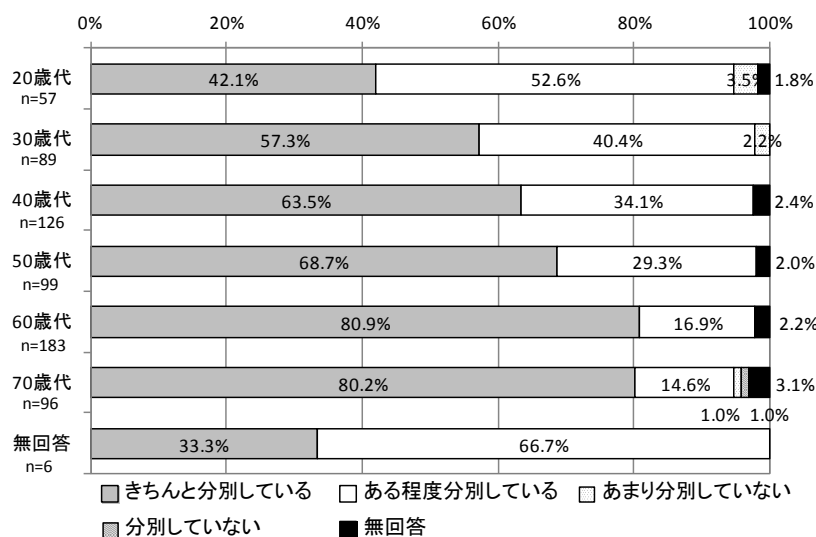
### 【男女別】

男女別で「分別をしているか」について比較すると、男性よりも女性の方が分別していると答えた方が多くなっています。



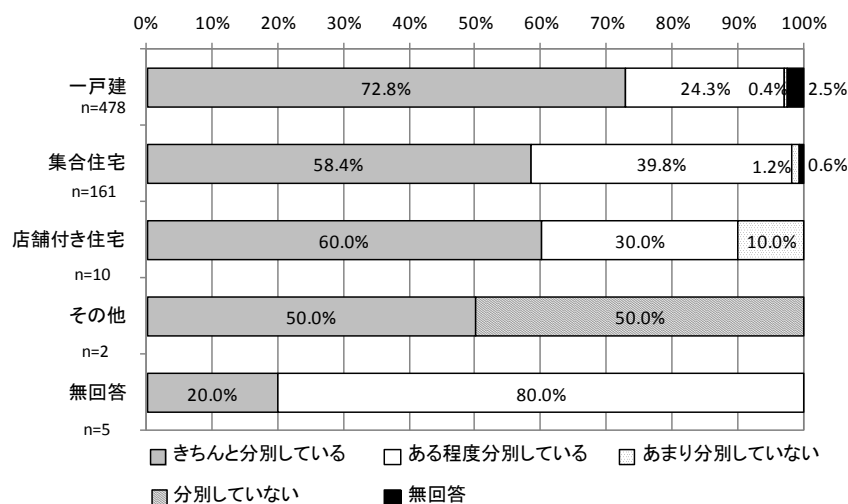
## 【年齢別】

年齢別で「分別をしているか」について比較すると、20歳代ではあまり分別していないと答えた方が多くなっている一方、年齢が高くなるにつれて、きちんと分別していると答える方が増加しており、60歳代で最も多くきちんと分別できていると答えています。



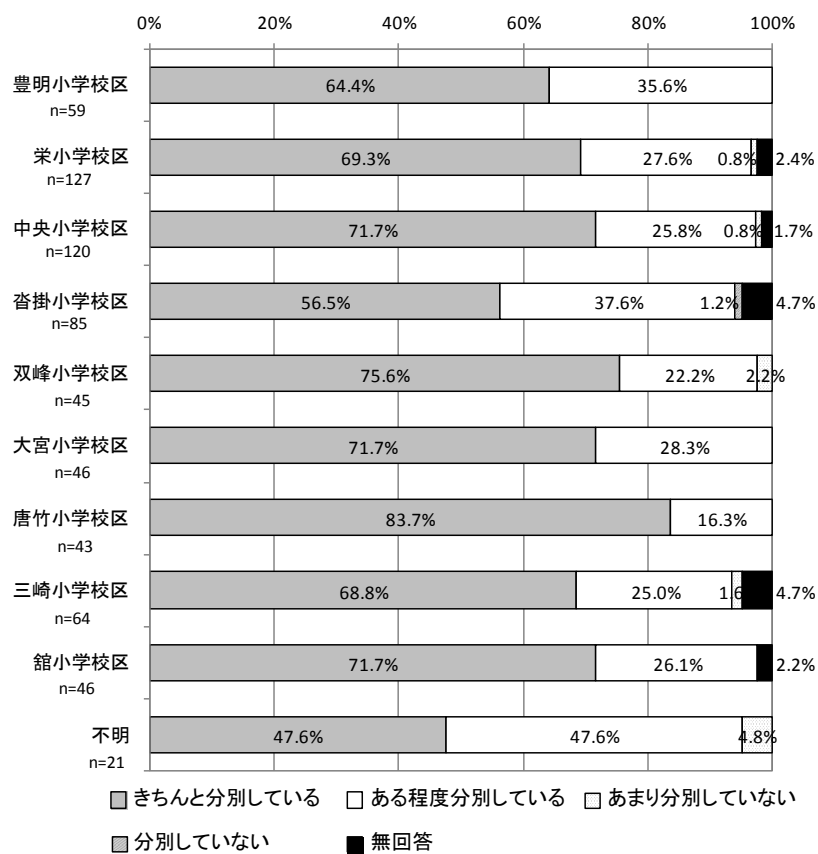
## 【住居形態別】

住居形態別で「分別をしているか」について比較すると、一戸建で「きちんと分別ができている」と答えた方が最も多く、それに比べると集合住宅や店舗付住居は少なくなっています。



## 【地区別】

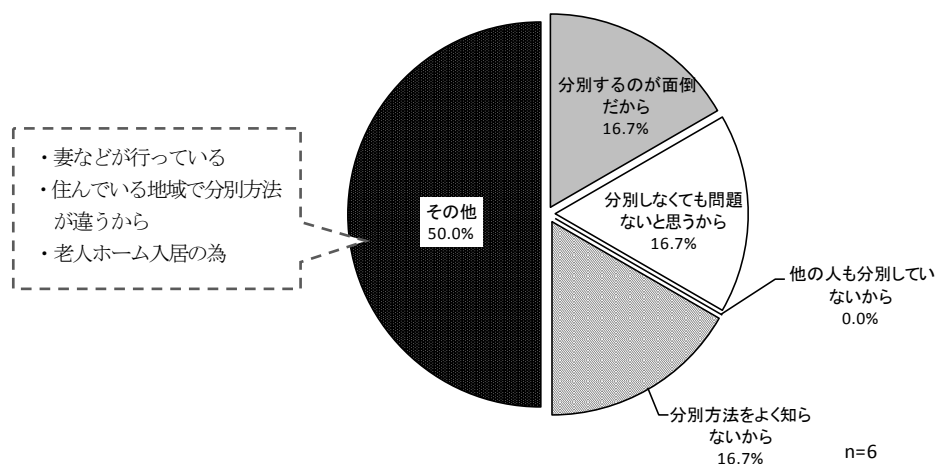
地区別で「分別をしているか」について比較すると以下のとおりです。



問13 分別していない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【問12で「3. あまり分別していない」、「4. 分別していない」を選んだ方6名のみ】

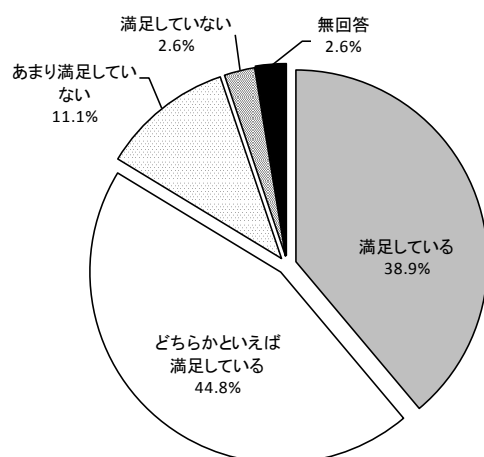
分別していない理由は「その他」の意見が多く、具体的には「妻に任せている」、「老人ホームに任せている」といった内容です。



問14 全体として市の定めるごみの出し方や収集方法について、どの程度満足していますか。

(収集回数 燃えるごみ：週2回、プラスチック製容器包装：週1回、資源ごみ：月1～2回、燃えないごみ：月2回、粗大ごみ戸別収集：週1回) (○は1つ)

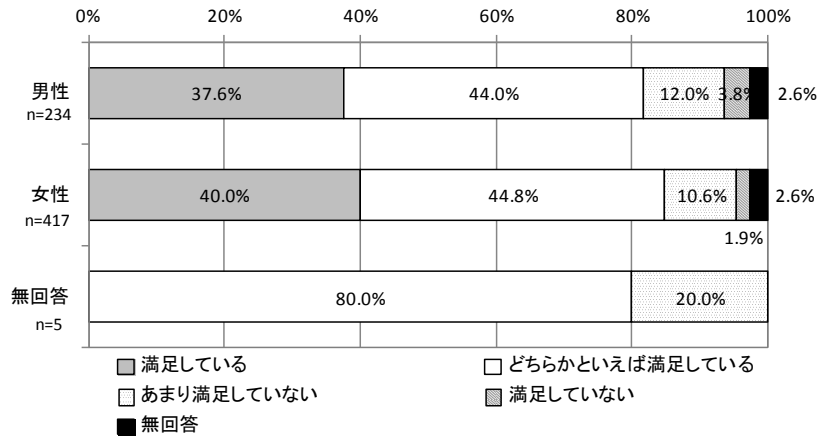
市のごみの出し方や収集方法について、「どちらかといえば満足している」が44.8%と最も多く、それに続いて「満足している」が38.9%となっており、合計すると83.7%の方が「満足している」と答えています。



n=656

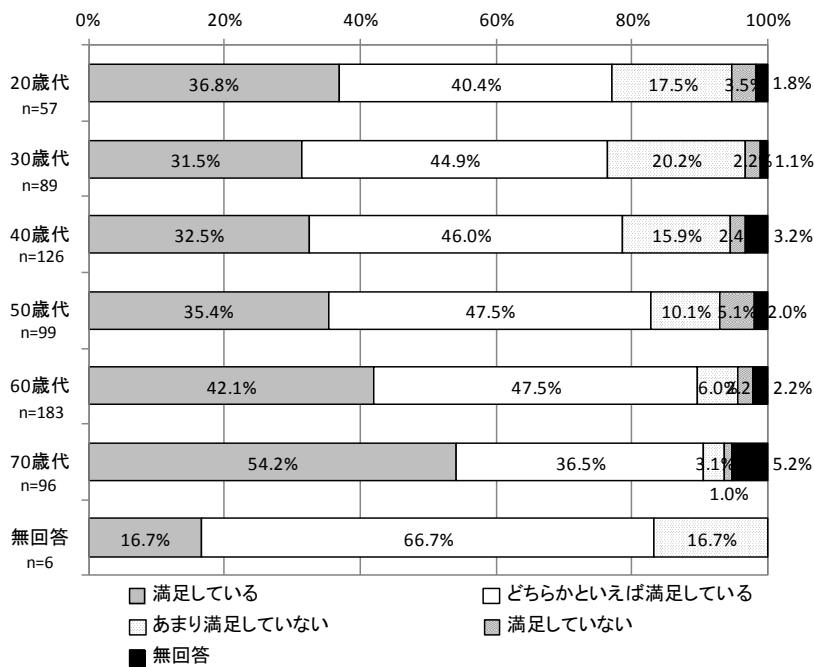
## 【男女別】

男女別で市のごみの出し方や収集方法の満足度について比較すると、男性よりも女性の方が満足していると答えた方が多くなっています。



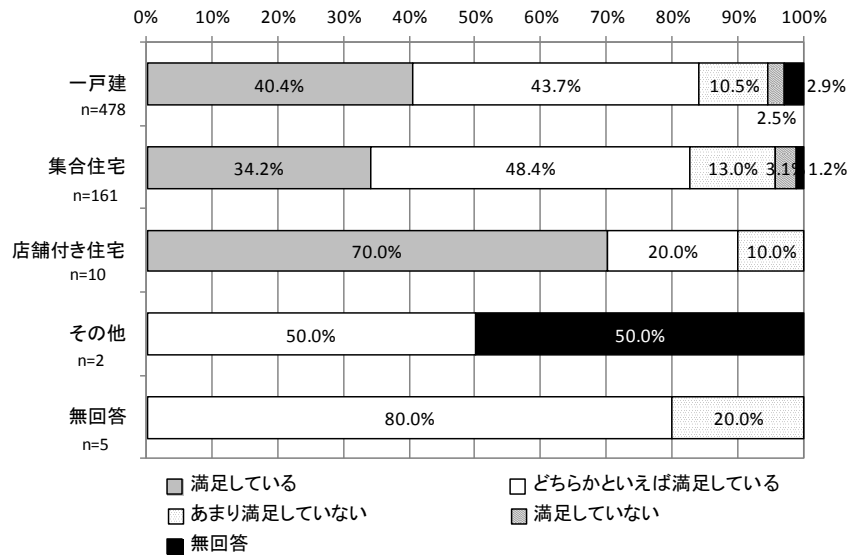
## 【年齢別】

年齢別で市のごみの出し方や収集方法の満足度について比較すると、20～40歳代の若い世代で「あまり満足していない」と答える方が多く、一方で高年齢になるにつれて満足していると答える方が多くなっています。



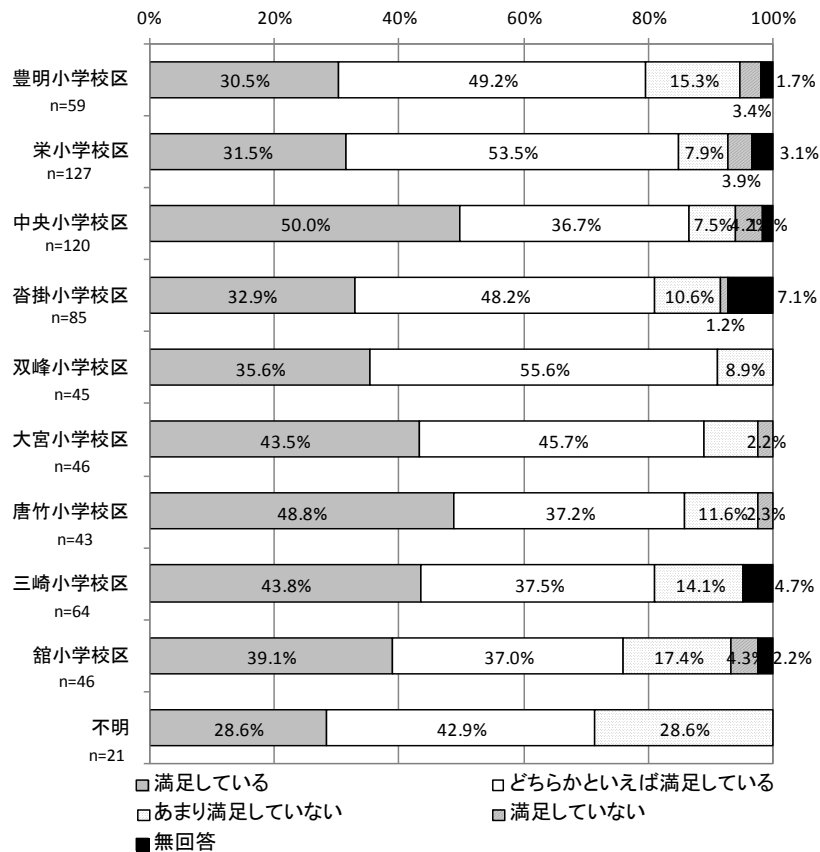
## 【住居形態別】

住居形態別で市のごみの出し方や収集方法の満足度について比較すると、一戸建と比較して、集合住宅の満足度が低くなっています。



## 【地区別】

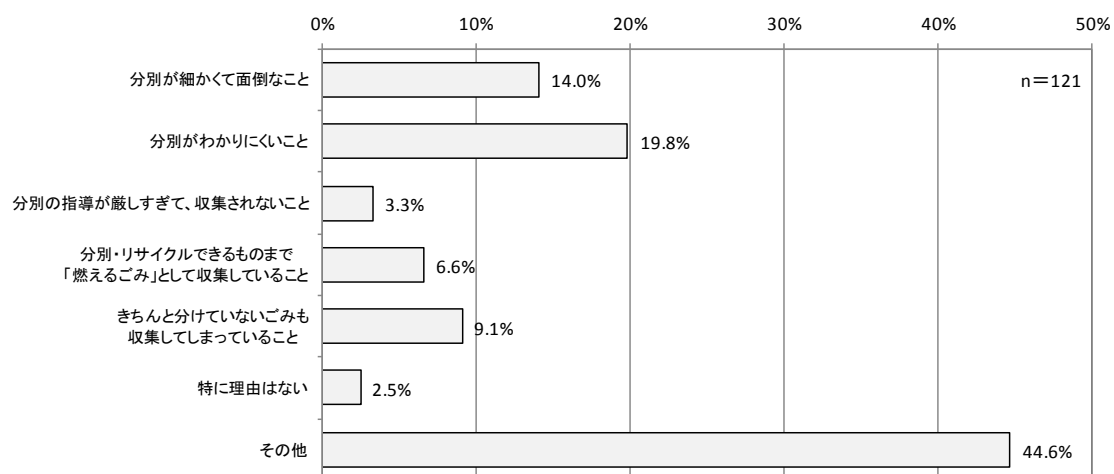
地区別で市のごみの出し方や収集方法の満足度について比較すると以下のとおりです。



問15 満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【問14で「3. あまり満足していない」、「4. 満足していない」を選んだ方90名のみ】

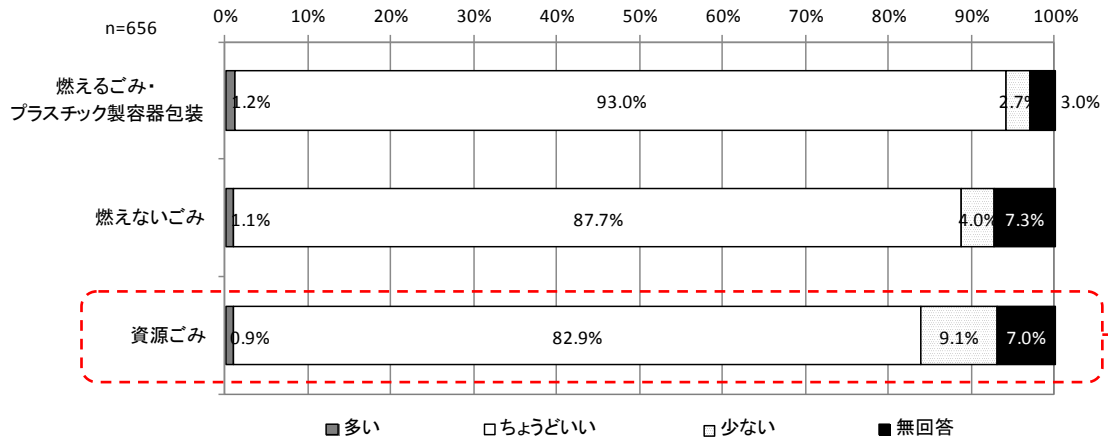
市のごみの出し方や収集方法に満足していない理由として、「その他」が44.6%と最も多く、具体的には「収集回収を増やしてほしい(特にプラスチック製容器包装、資源ごみ)」という意見が多くを占めていました。



「その他」意見	件数
収集回数を増やして欲しい(特にプラスチック製容器包装、資源ごみ)	29
分別した資源ごみ(プラスチック製容器包装)が、実際に資源として使用されているか不明である	5
燃えるごみなどの収集時間が遅い	4
区ごとに分別が異なる	2
収集場所が遠い(少ない)	2
ステーションに収集日の表示がない、収集場所が分からない	2
粗大ごみの収集方法が面倒、収集料金が安い	4
生ごみの分別が面倒で臭い	1
分別の一部に合理性がない、分別効果がみえない	2
ごみ袋有料化はお金と資源の無駄	1
昔の様に、決まった場所に資源ゴミの場所を!	1

問16 市内のごみ収集場所の設置箇所数について満足していますか。  
 収集項目毎にあてはまると思うものを選んで下さい。(○は1つ)

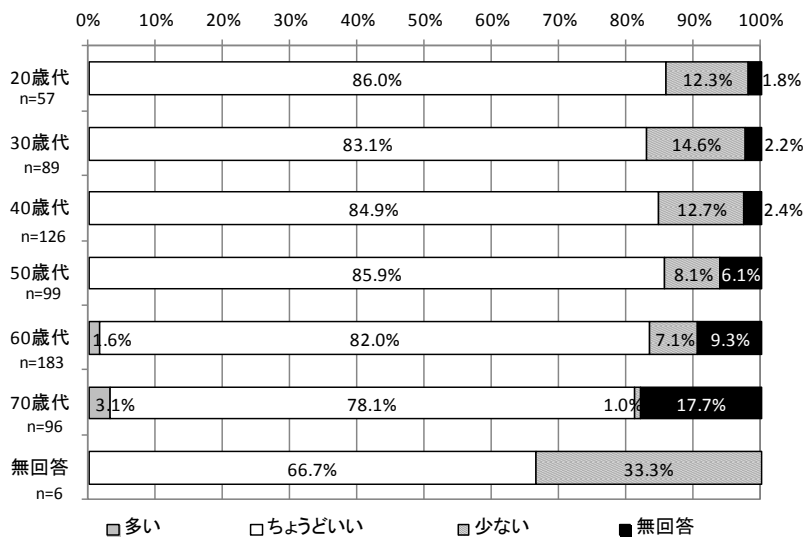
収集場所の設置箇所数について、「燃やすごみ・プラスチック製容器包装」は93.0%、「燃えないごみ」は87.7%、資源ごみは82.9%の方が「ちょうどいい」と答えています。



**【年齢別】**

資源ごみの収集場所の設置箇所について満足しているかを年齢別でみると以下のとおりです。

20～40歳代の若い世代で「少ない」と感じている方が多くなっています。



年齢別

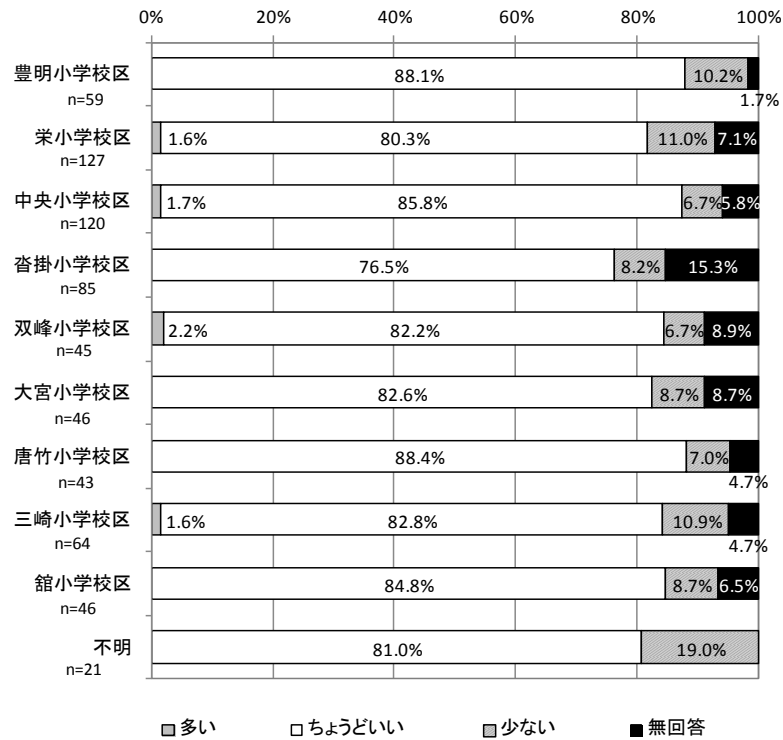
地区別  
(次ページ)

**【地区別】**



資源ごみの収集場所の設置箇所について満足しているかを地区別でみると以下のとおりです。

どの地区も同じような比率となっていますが、「豊明小学校区」、「栄小学校区」、「三崎小学校区」で若干少ないと感じている方が多くなっています。

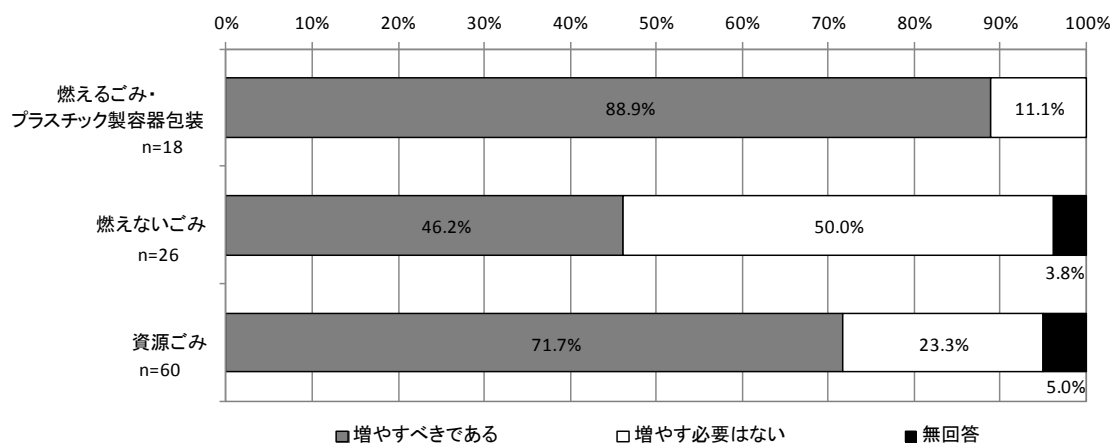


問17 収集場所を増やすためには、設置場所の周辺住民の方のご協力とごみ処理費用の増加が必要となりますが、それでも収集場所を増やすべきと思いますか。

問16で「3. 少ない」を選んだ収集項目のみについて、あてはまると思うものを選んで下さい。(〇は1つ)

【問16で「3. 少ない」を1つ以上選んだ方のみ】

ごみの収集場所が少ないと感じている方のうち、収集場所を増やしてほしいと思っている方の割合は、「燃えるごみ・プラスチック製容器包装」で88.9%、「燃えないごみ」で46.2%、「資源ごみ」で71.7%となっています。



4. ごみを減らすための取り組みについてお聞きします

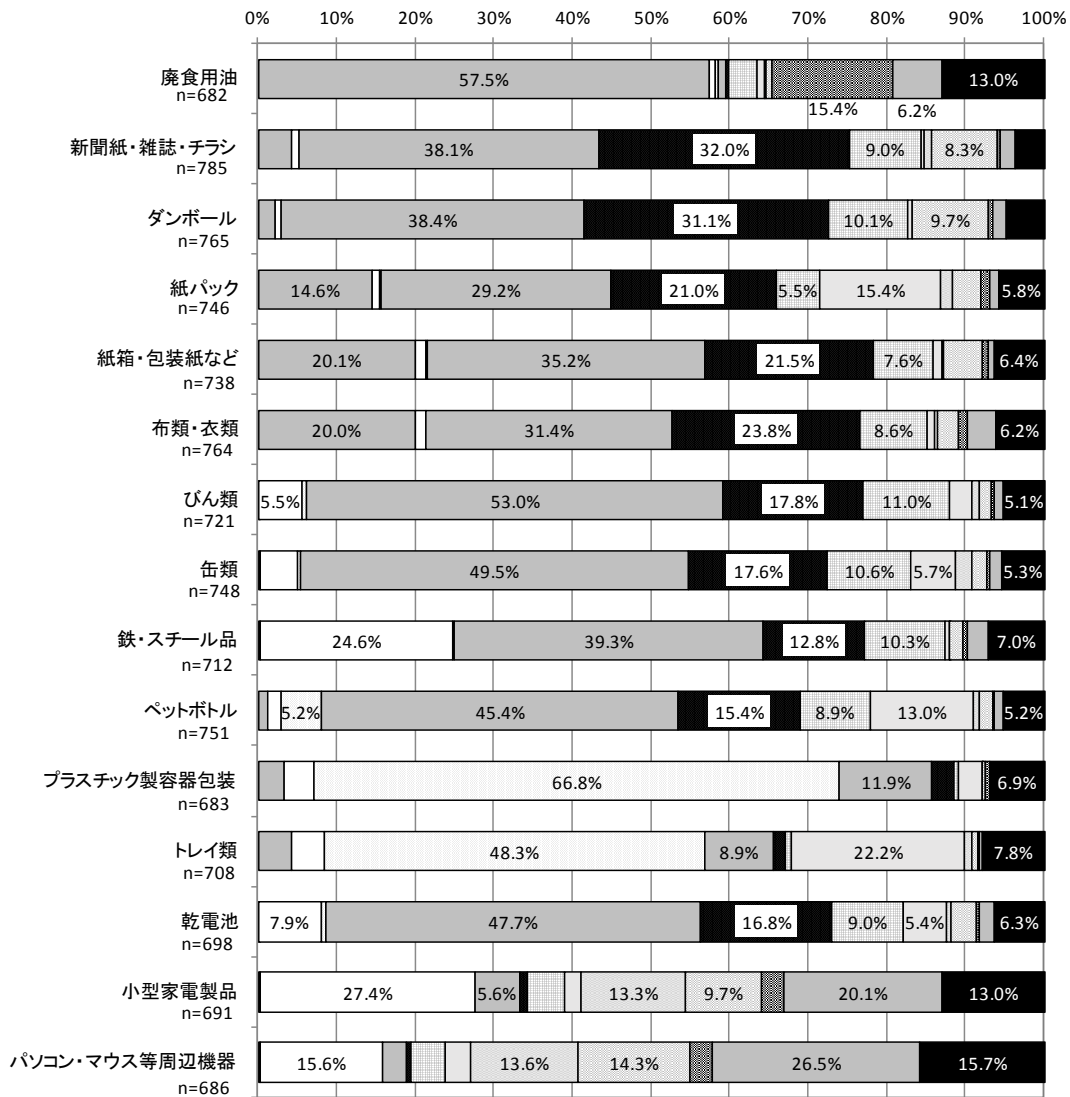
問 18 次の資源物として再生利用できるものについて、どのように処分していますか。

(○はそれぞれ2つまで※)

※処分方法が1通りの場合は1つだけ○を、2通り以上ある場合は量の多い方から2つだけ○をつけてください。

廃食用油について資源として出している方は少なく、半分以上が燃えるごみとして排出されているほか、紙類や布類も2割程が燃えるごみとして排出されています。

また、小型家電製品やパソコンも不燃ごみとして出されている割合が高くなっています。

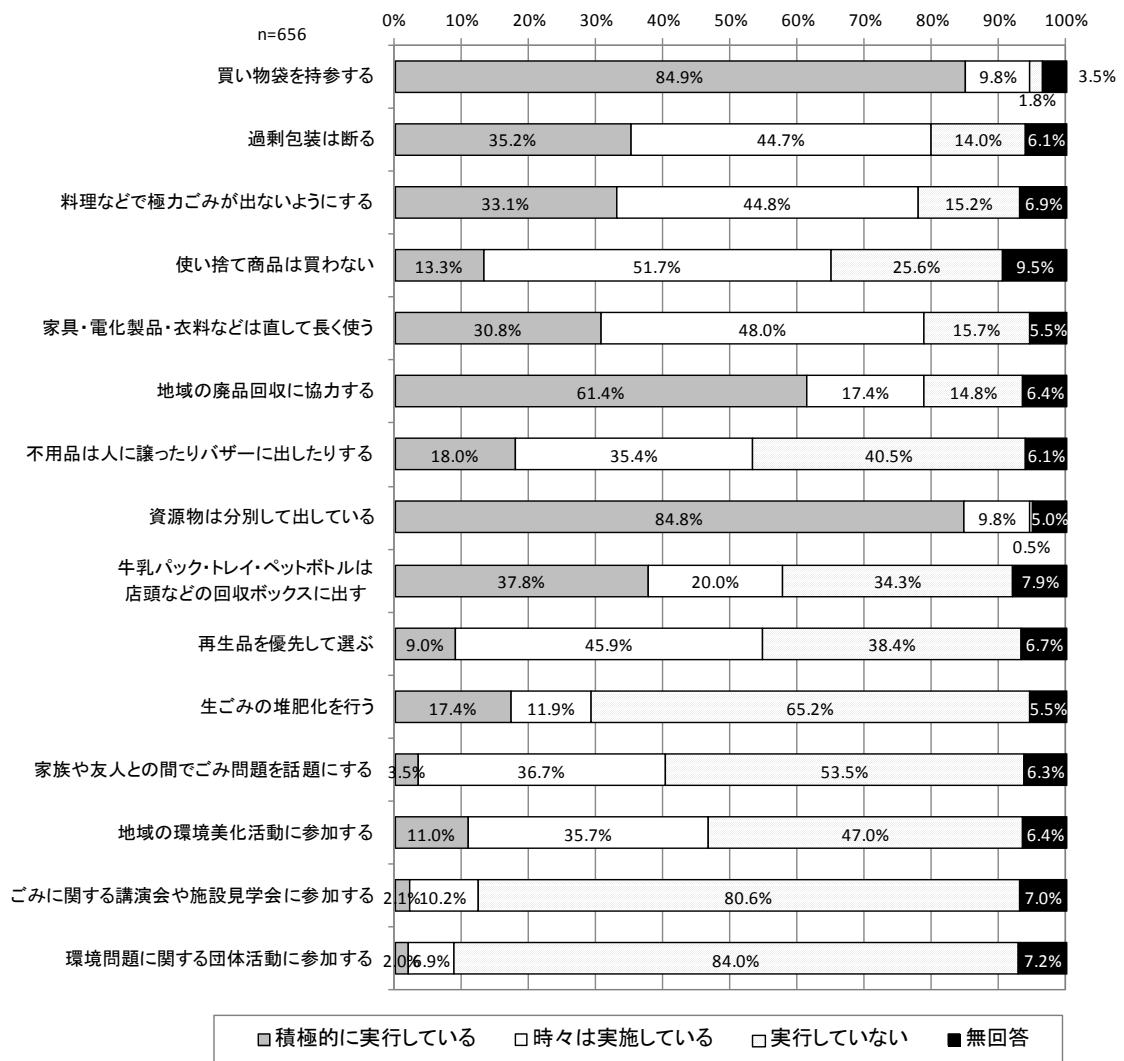


- 市の燃えるごみ収集
- 市の燃えないごみ収集
- 市のプラスチック製容器包装収集
- 市の資源ごみ分別収集 (ステーション)
- 地域の廃品回収 (PTA、子ども会など)
- 直接搬入(清掃事務所・市役所第2・4日曜日・資源化業者)
- 資源ごみ回収協力店(スーパー等)の店頭回収
- 販売店の回収(酒屋・新聞販売店等)
- 民間リサイクル事業者等の回収ボックス
- 自家処理
- その他
- 無回答

問19 次のごみの減量やリサイクルへの取り組みについて、どの程度実行していますか。  
 また、今後はどのようにしていきたいとお考えですか。(〇はそれぞれ1つずつ※)  
 ※【現状】と【今後】のそれぞれに〇をつけてください。

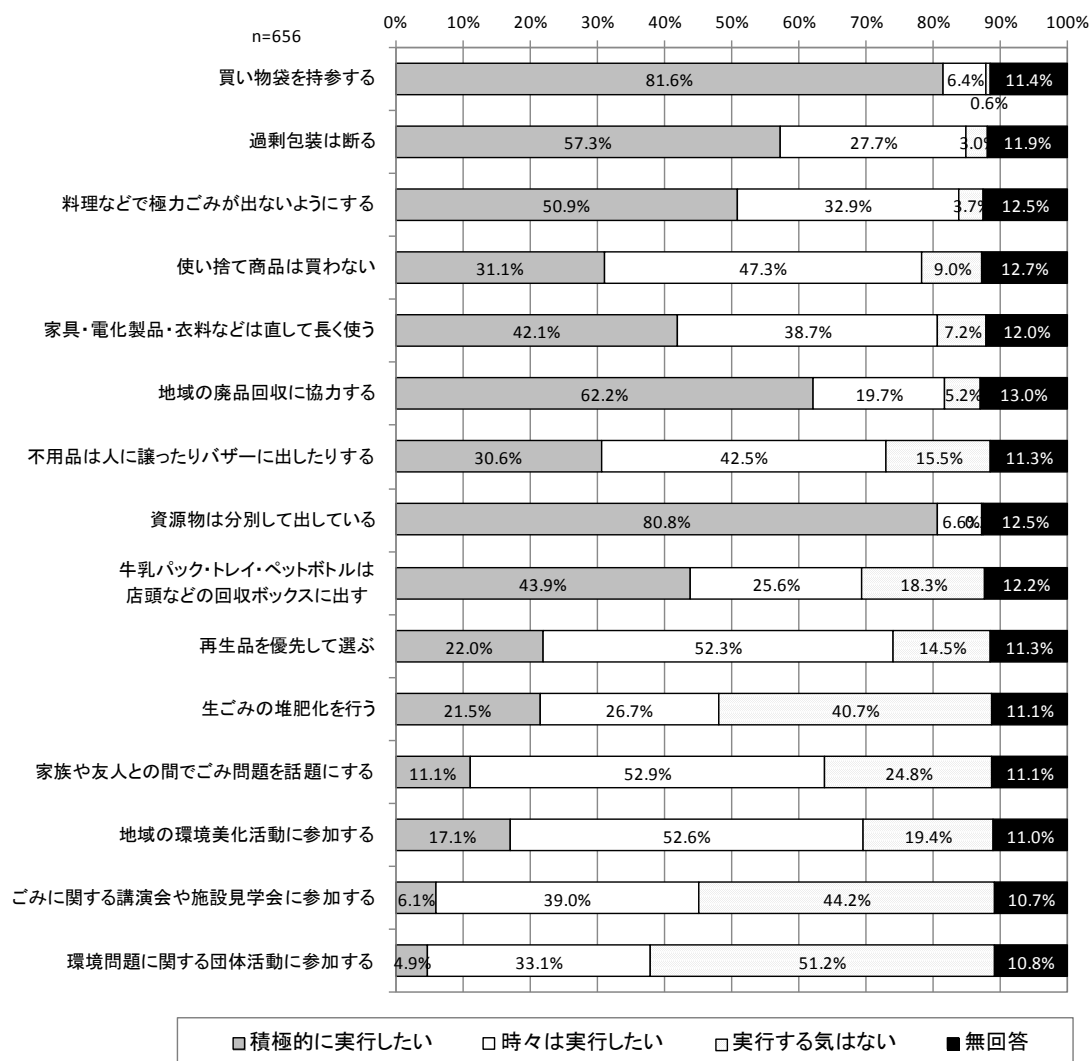
【現状】

現状で積極的に実施している取組としては、「買い物袋を持参する」が84.9%と最も多く、  
 それに続いて「資源物は分別して出している」が84.8%、「地域の廃品回収に協力する」が61.4%  
 となっています。



## 【今後】

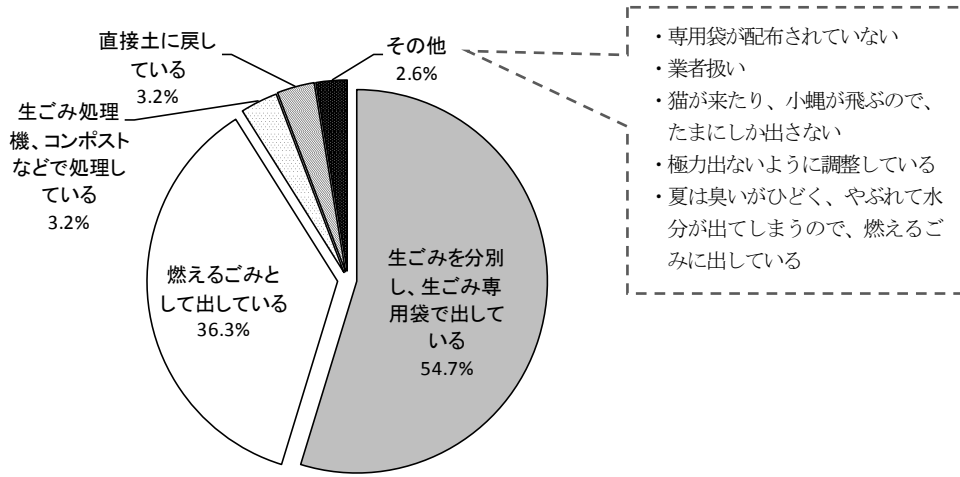
現状で積極的に実施している取組としては、「買い物袋を持参する」が81.6%と最も多く、それに続いて「資源物は分別して出している」が80.8%、「地域の廃品回収に協力する」が62.2%となっています。



問20 生ごみをどのように処分していますか。(○は1つ)

【生ごみ分別収集地区(三崎区、ゆたか台区、坂部区、前後区、西川区、吉池区、中島区、豊明団地の一部)の方のみ】

生ごみ分別収集区域内では、「生ごみを分別し、生ごみ専用袋で出している」方が 54.7%と最も多くなっていますが、「燃えるごみとして出している」方も 36.3%を占めています。

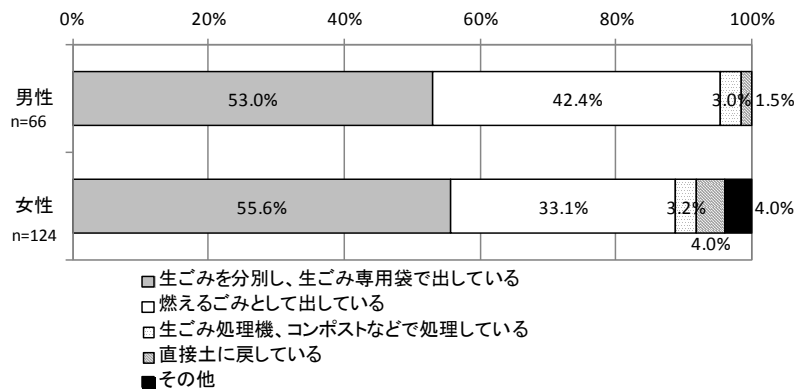


n=190

- ・専用袋が配布されていない
- ・業者扱い
- ・猫が来たり、小蠅が飛ぶので、たまにしか出さない
- ・極力出ないように調整している
- ・夏は臭いがひどく、やぶれて水分が出てしまうので、燃えるごみに出している

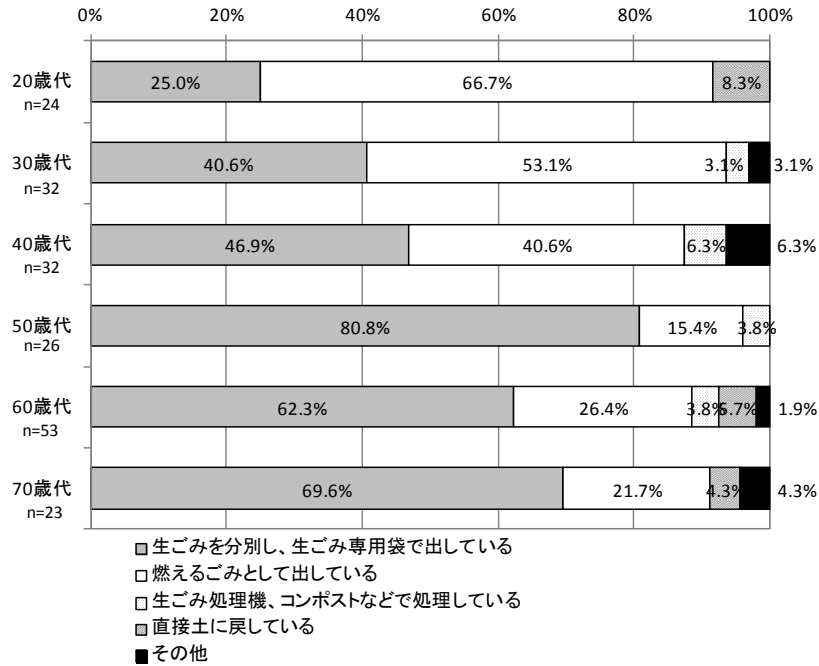
【男女別】

生ごみの処分方法について男女別でみると、ほぼ同程度の割合ですが、若干女性の方が生ごみを分別して排出する割合が高くなっています。



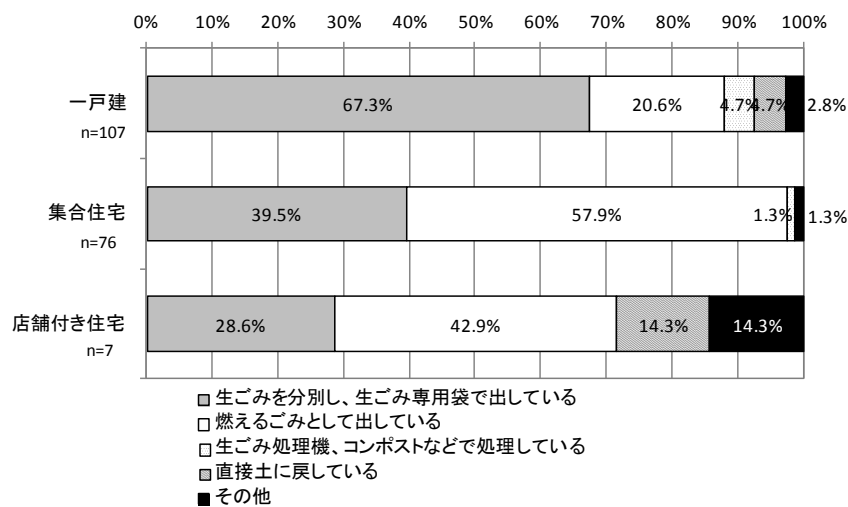
## 【年齢別】

生ごみの処分方法について年齢別で見ると、50～70歳代の方が生ごみ専用袋に分別して出している割合が高くなっている一方、年齢が低くなるにつれて、生ごみとして分別せずに排出している傾向にあります。



## 【住居形態別】

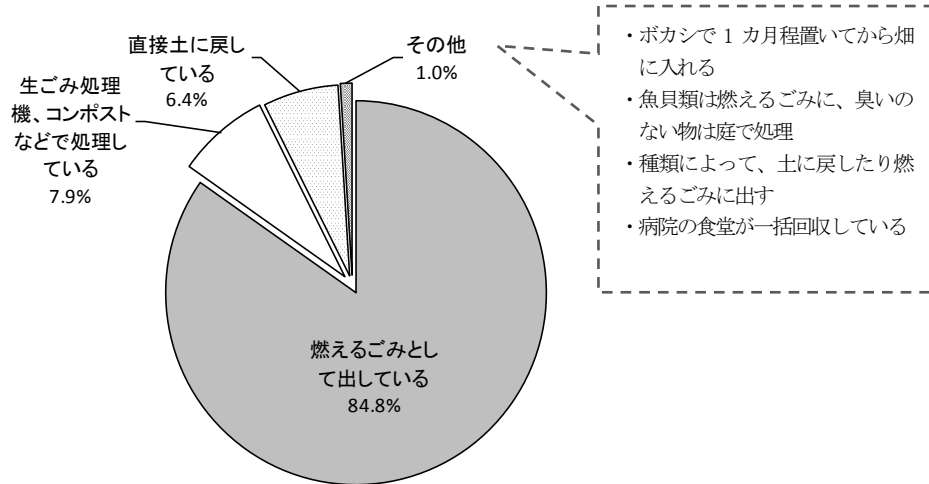
生ごみの処分方法について住居形態別で見ると、一戸建に比べて、集合住宅や店舗付き住宅で生ごみを分別せずに排出している傾向にあります。



問21 生ごみをどのように処分していますか。(○は1つ)

【生ごみ分別収集地区外の方のみ】

生ごみ分別収集区域外では、「燃えるごみとして出している」方が 84.8%とほとんどを占めており、若干数ではありますが「生ごみ処理機、コンポストなどで処理している」が7.9%、「直接土に戻している」が6.4%となっています。



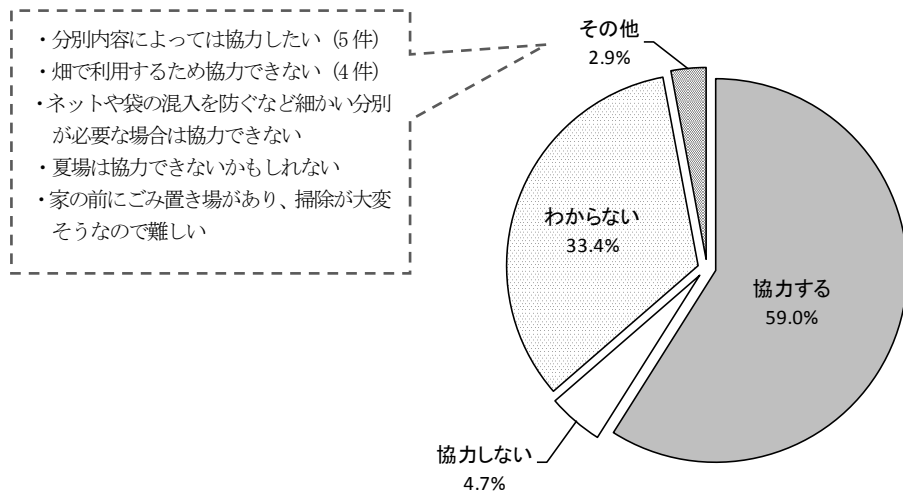
n=407

問22 本市では一部地域において、生ごみを分別収集しています。

あなたのお住まいの地区が生ごみ分別地区に指定された場合、協力していただけますか。(○は1つ)

【生ごみ分別収集地区外の方のみ】

生ごみの分別に「協力する」と答えた方が 59.0%と多くを占めていますが、「わからない」も 33.4%を占めています。

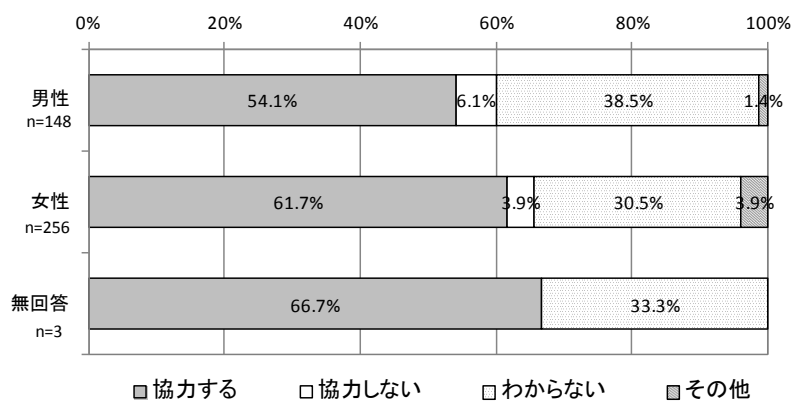


n=407



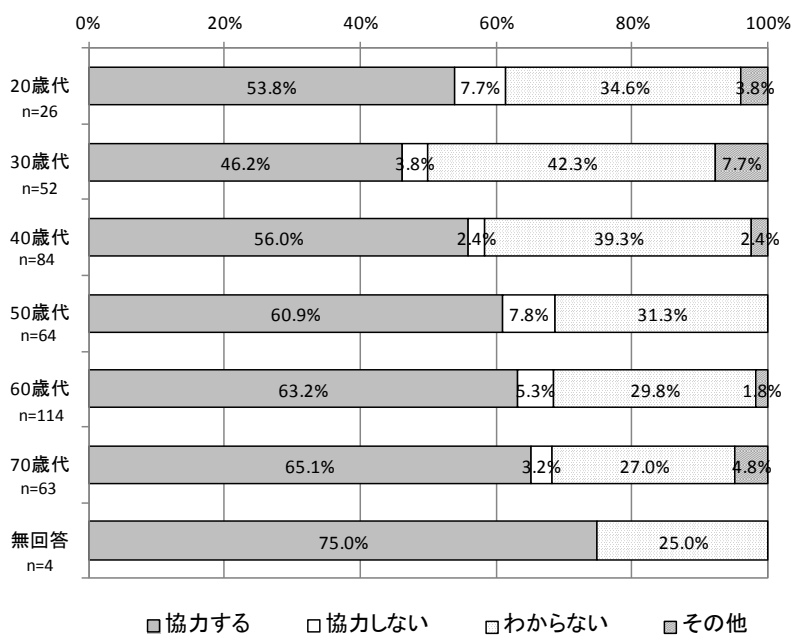
## 【男女別】

生ごみ分別地区に指定された場合に協力できるかについて男女別でみると、男性よりも女性の方が多く協力すると答えています。



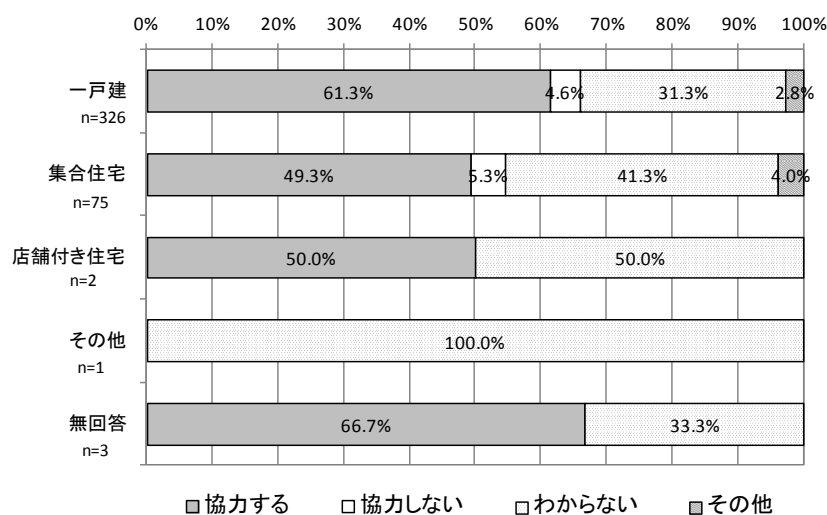
## 【年齢別】

生ごみ分別地区に指定された場合に協力できるかについて年齢別でみると、50～70歳代で協力すると答える方が多くなっている一方、30歳代では協力しないと答えた方が多くなっています。



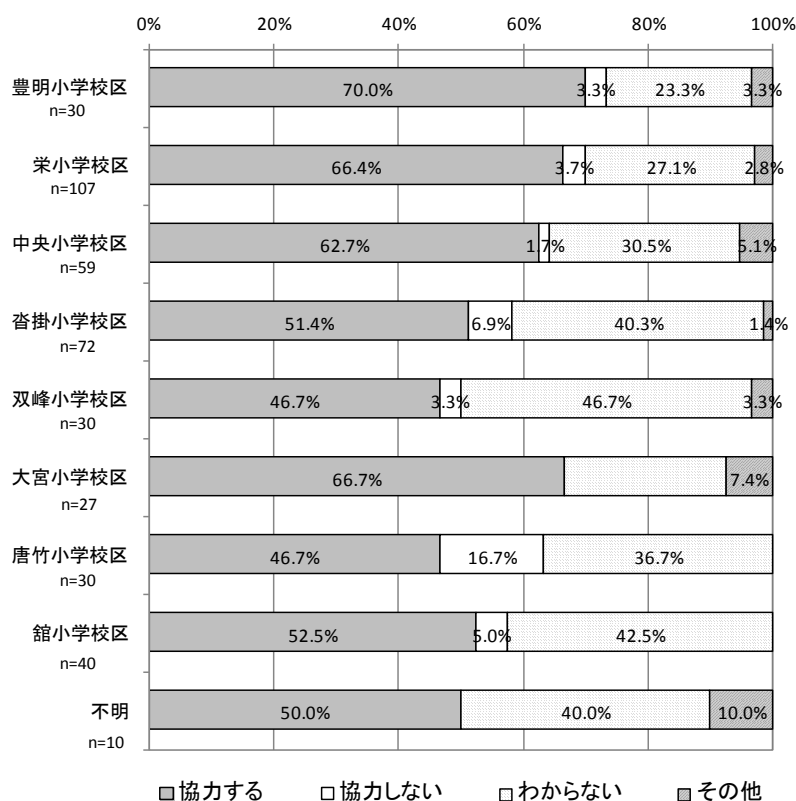
## 【住居形態別】

生ごみ分別地区に指定された場合に協力できるかについて住居形態別でみると、一戸建てに比べて集合住宅や店舗付き住宅が協力しないと答える割合が高くなっています。



## 【地区別】

生ごみ分別地区に指定された場合に協力できるかについて地区別でみると以下のとおりです。



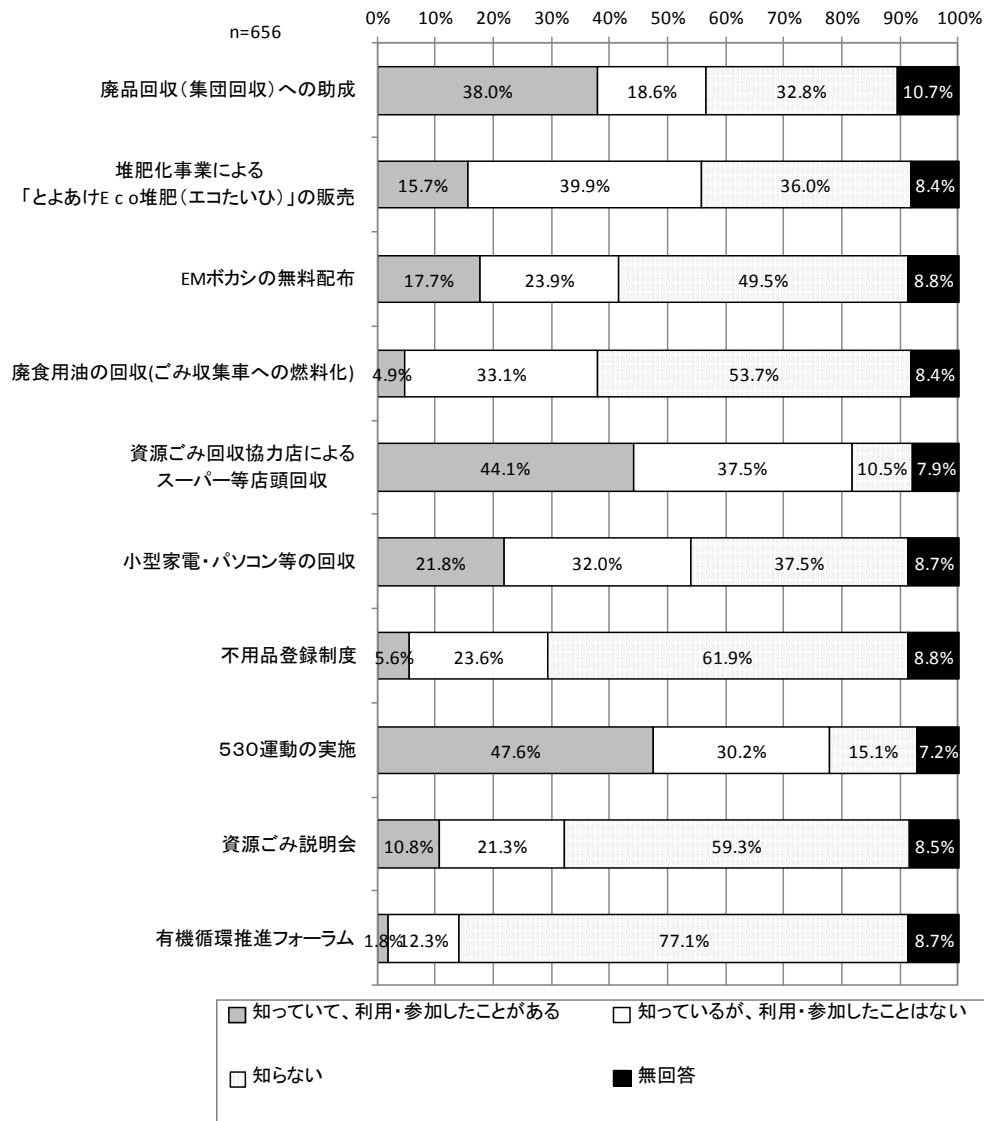
問23 現在、市が実施している次のごみの減量・リサイクル推進施策について知っていますか。  
また、今後制度を利用したり、行事などに参加しようと思いませんか。  
(○はそれぞれ1つずつ※)

※【現状】と【今後】のそれぞれに○をつけてください。

### 【現状】

現状で利用参加したことがある取組は「530運動の実施」が47.6%と最も多く、それに続いて「資源ごみ回収協力店によるスーパー等店頭回収」が44.1%、「廃品回収（集団回収）への助成」38.0%となっています。

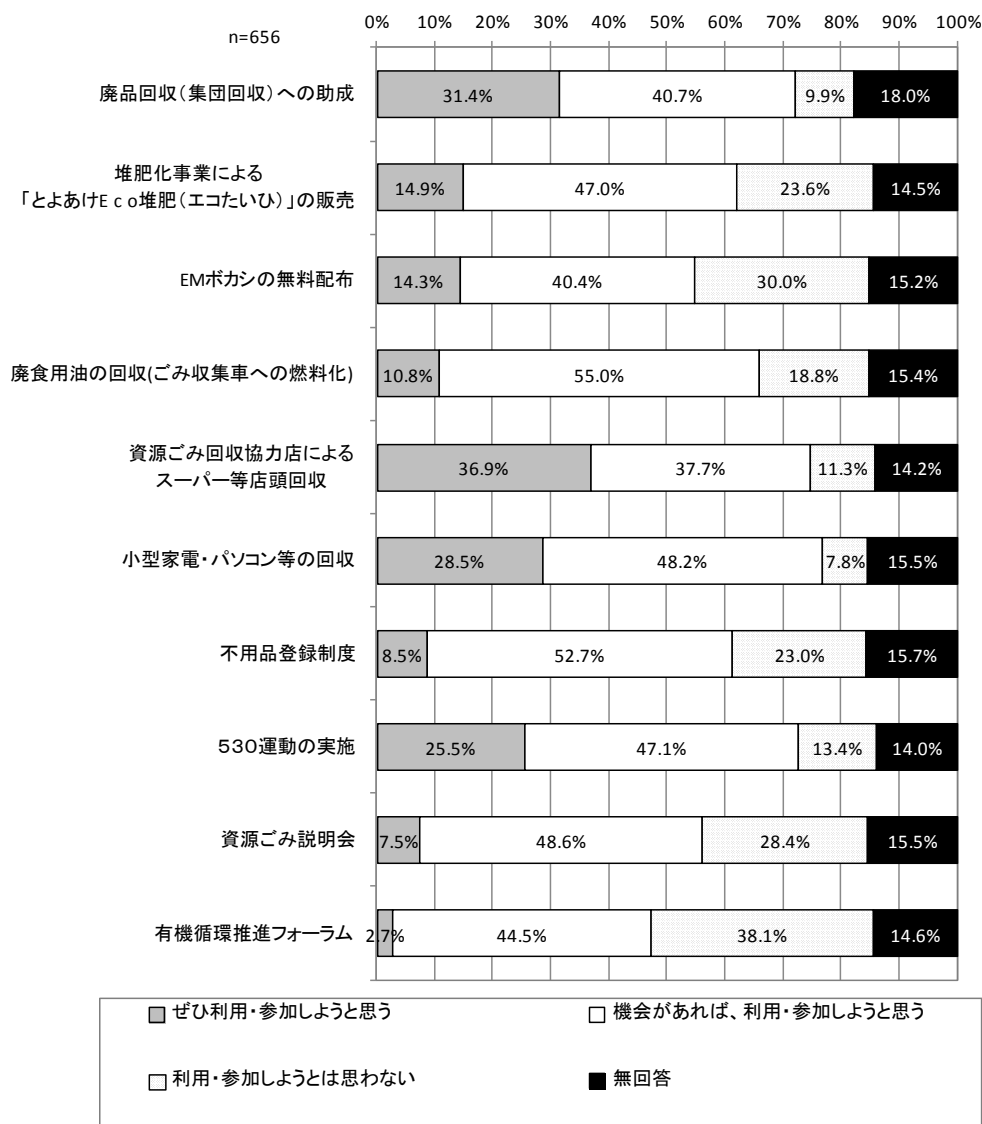
また、認知されていない取組は、「有機循環推進フォーラム」が77.1%と最も多く、それに続いて「不用品登録制度」が61.9%、「資源ごみ説明会」が59.3%、「廃食用油の回収」が53.7%となっています。



## 【今後】

今後、ぜひ利用参加しようと思う取組は「530運動の実施」が47.6%と最も多く、それに続いて「資源ごみ回収協力店によるスーパー等店頭回収」が44.1%、「廃品回収（集団回収）への助成」38.0%となっています。

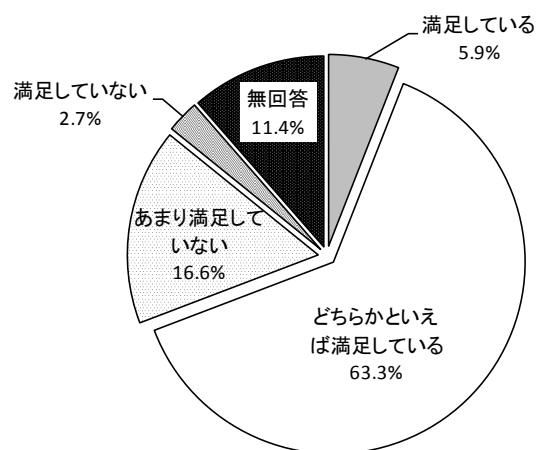
また、【現状】で認知度が低かった「不用品登録制度」、「廃食用油の回収」については半分以上の方が「機会があれば利用・参加しようと思う」と答えています。



問24 市の行う3R（ごみを減らす・ものを再使用する・ものを再利用する）への取り組みについて、どの程度満足していますか。（○は1つ）

市の行う3Rについて、「どちらかといえば満足している」が63.3%と最も多く、「満足している」の5.9%と合わせて69.2%の方が満足しています。

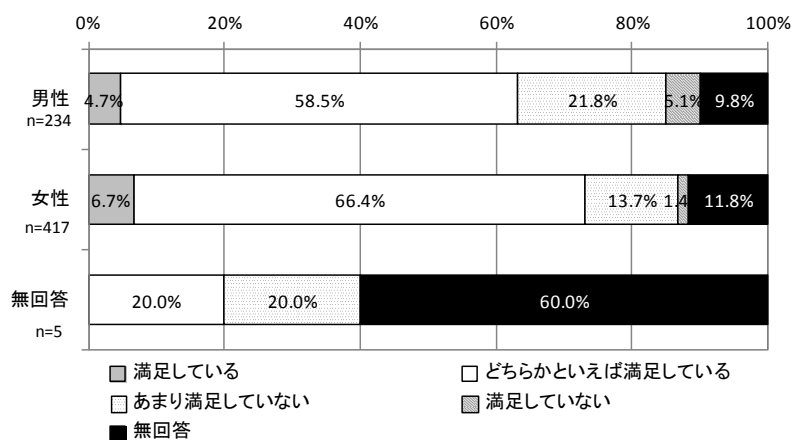
一方で、「あまり満足していない」も16.6%となっています。



n=656

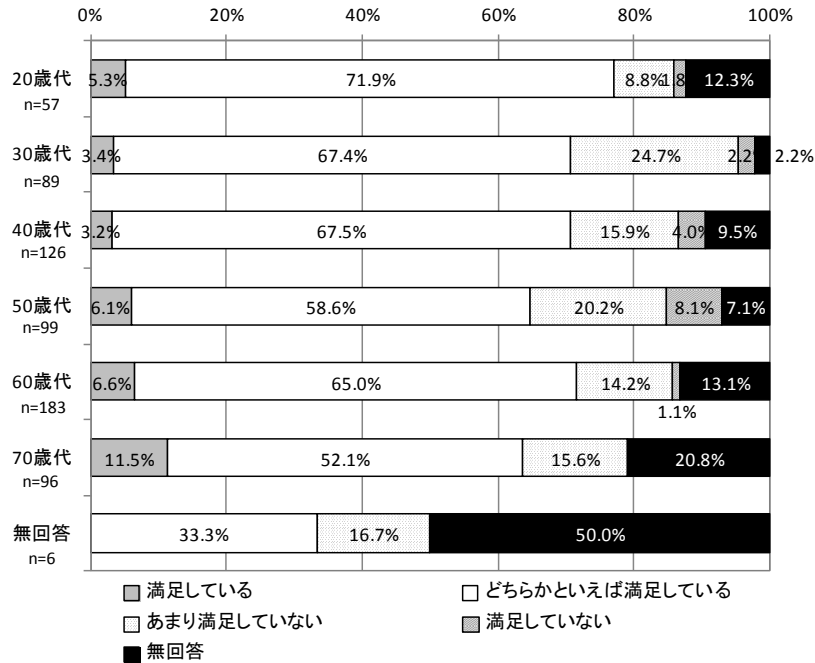
### 【男女別】

市の行う3Rの取組の満足度について男女別でみると、男性よりも女性の方が満足していると答えています。



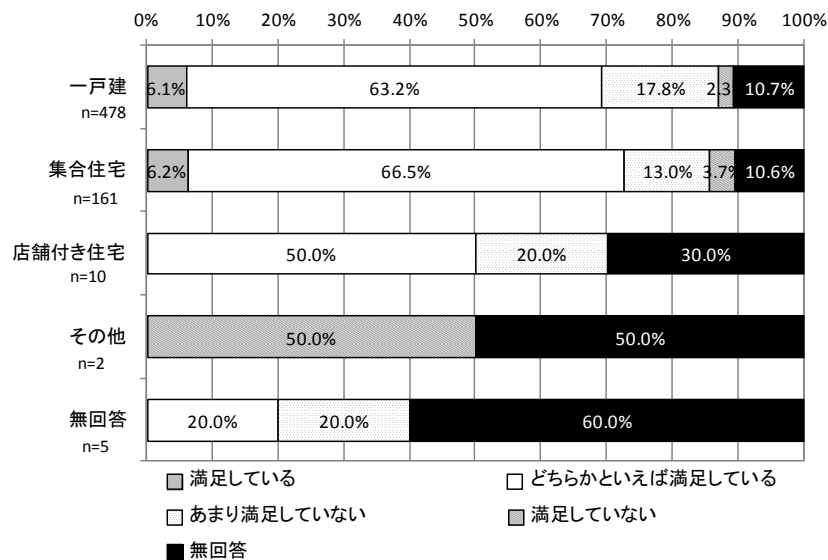
## 【年齢別】

市の行う3Rの取組の満足度について年齢別でみると、20歳代で満足している方が最も多い一方で、30歳代では満足していない方が最も多くなっています。



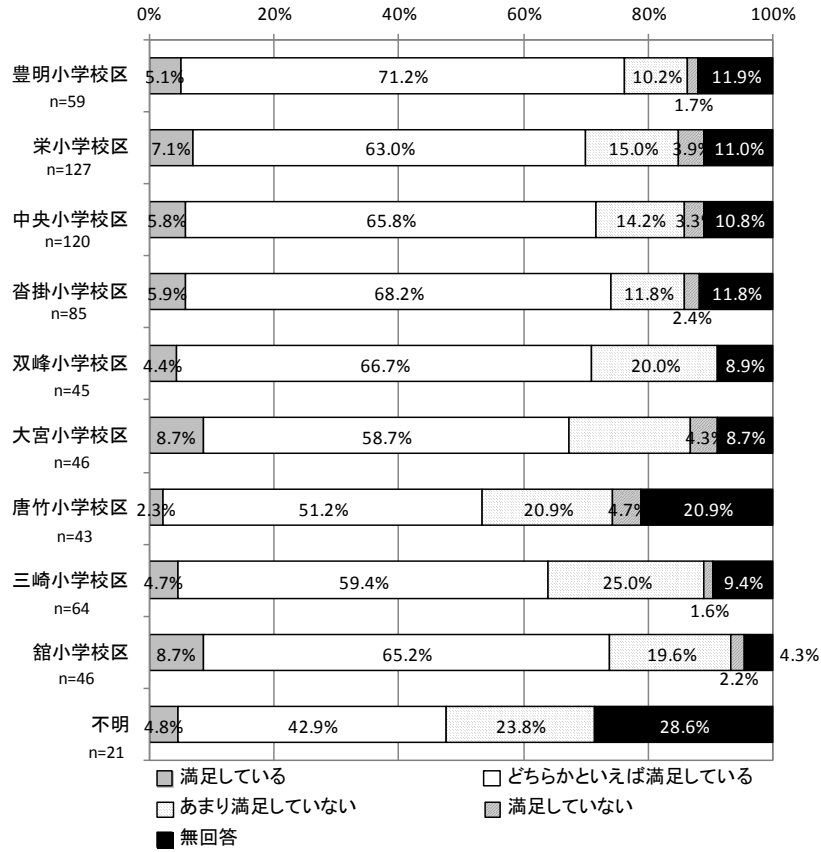
## 【住居形態別】

市の行う3Rの取組の満足度について住居形態別でみると、集合住宅が最も満足していると答えており、それに対して一戸建て、店舗付き住宅で満足していると答えた方の割合は低くなっています。



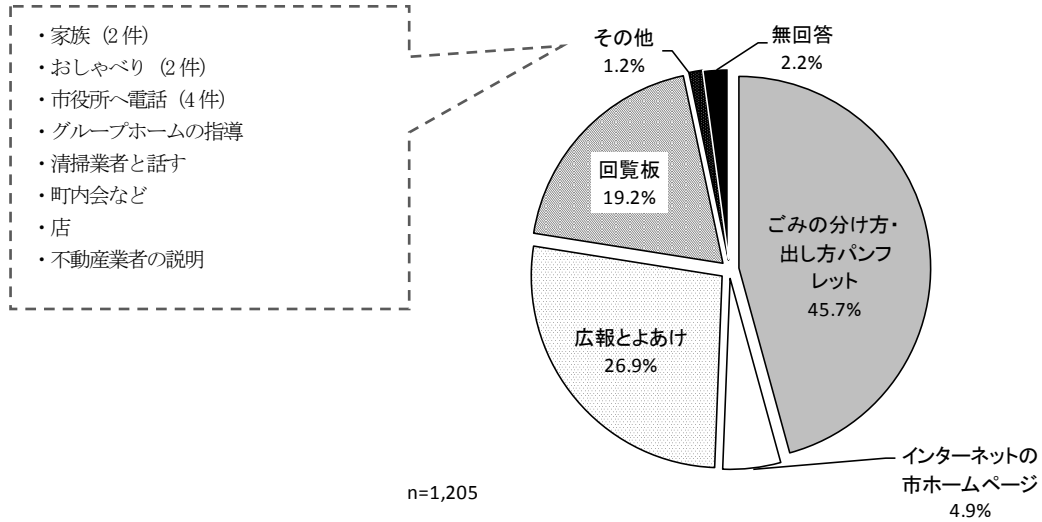
**【地区別】**

市の行う 3 R の取組の満足度について地区別でみると、以下のとおりです。



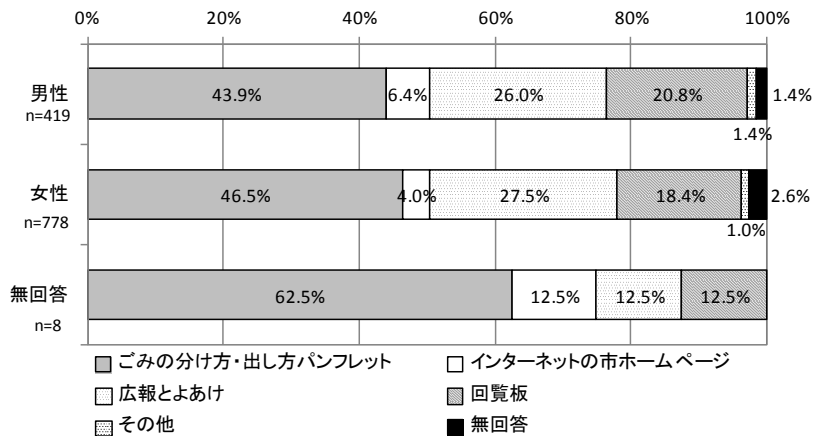
問25 ごみに関する情報をどのような方法で得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

ごみに関する情報の取得方法として、「ごみの分け方・出し方パンフレット」が45.7%とも最も多く、それに続いて「広報とよあけ」が26.9%、「回覧板」が19.2%となっています。



**【男女別】**

ごみに関する情報の取得方法について男女別でみると、男性・女性共に「ごみの出し方・分け方パンフレット」が最も多く、それに続いて「広報とよあけ」、「回覧板」となっています。

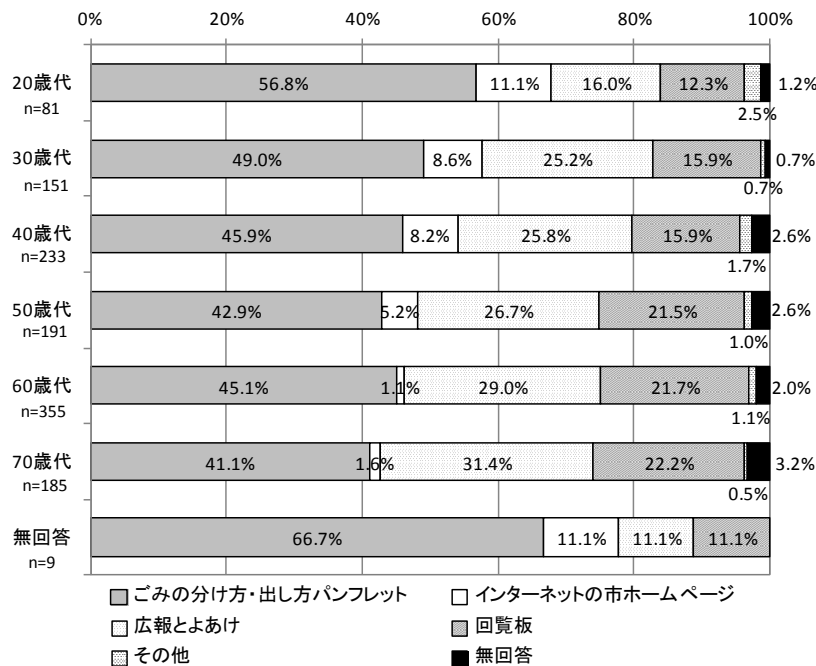




## 【年齢別】

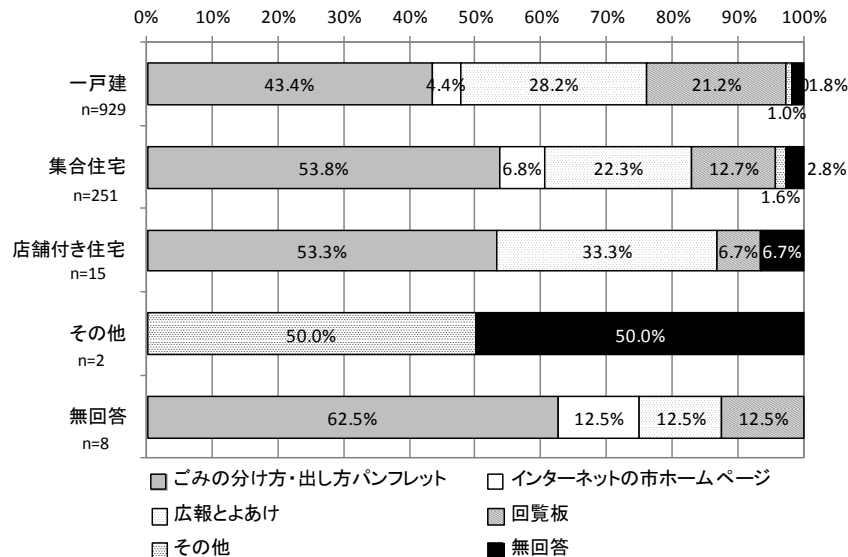
ごみに関する情報の取得方法について年齢別でみると、若い年代の方は「ごみの分け方・出し方パンフレット」をよく利用している一方、高年齢の年代の方は「広報とよあけ」や「回覧板」から情報を取得している方が多くなっています。

また、「インターネットの市ホームページ」は若い年代の方ほど多く利用されています。



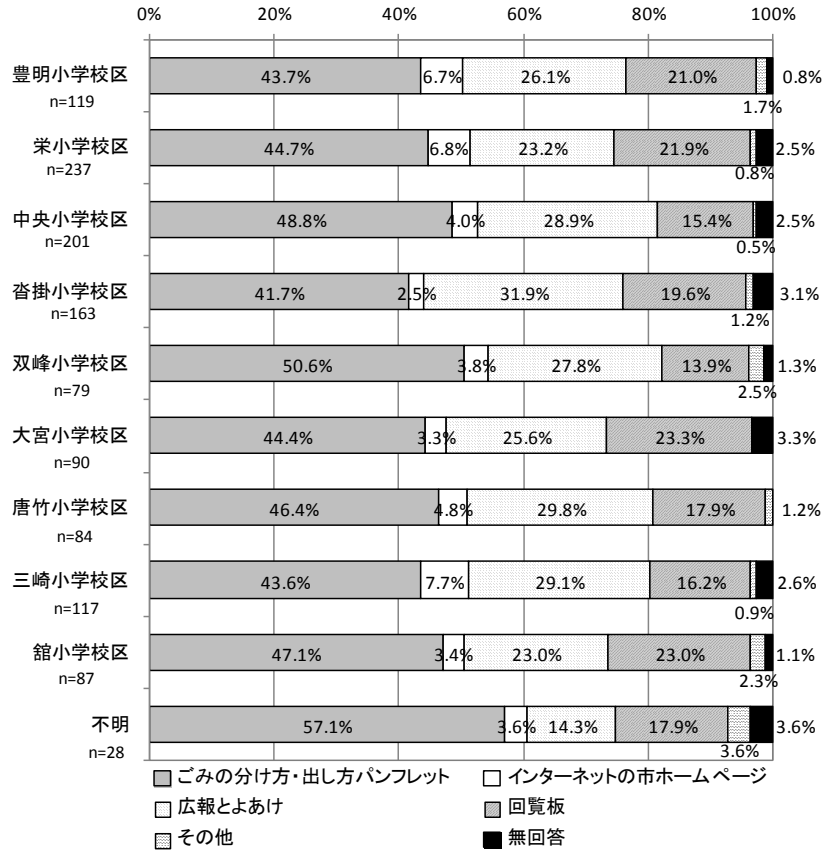
## 【住居形態別】

ごみに関する情報の取得方法について住居形態別でみると一戸建・集合住宅ともに「ごみの出し方・分け方パンフレット」が最も多く、それに続いて「広報とよあけ」、「回覧板」となっています。



**【地区別】**

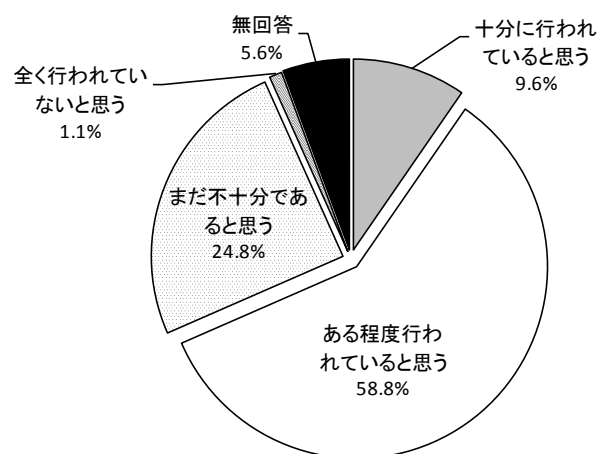
ごみに関する情報の取得方法について地区別でみると以下のとおりです。



問26 これまでの市のごみの減量・リサイクルに関する啓発や情報提供について、十分に行われていると思いますか。(〇は1つ)

市の行うごみ減量・リサイクルに関する啓発や情報提供について、「ある程度行われていると思う」が58.8%と最も多く、「十分に行われていると思う」の9.6%と合わせて、68.4%の方が「行われていると思う」と答えています。

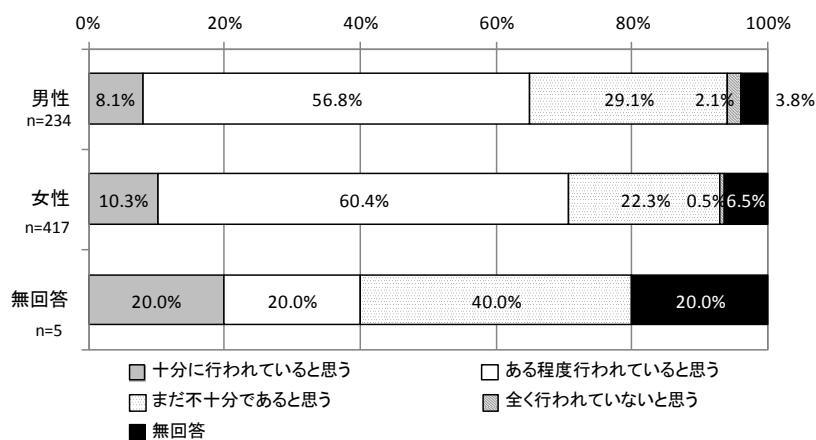
一方で、「まだ不十分であると思う」も24.8%となっています。



n=656

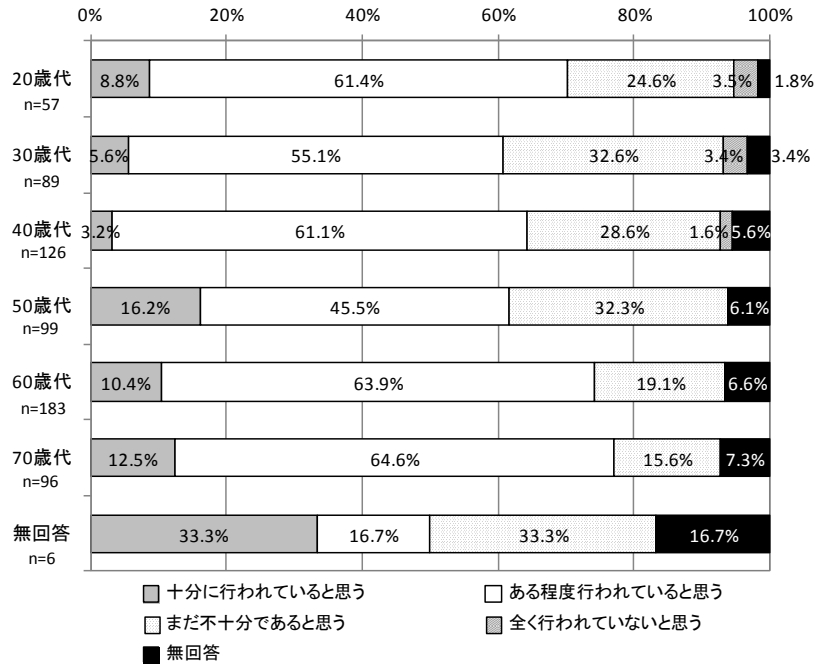
### 【男女別】

市の行うごみ減量・リサイクルに関する啓発や情報提供について男女別でみると、男性に比べて女性の方が「行われていると思う」と答えた方が多くなっています。



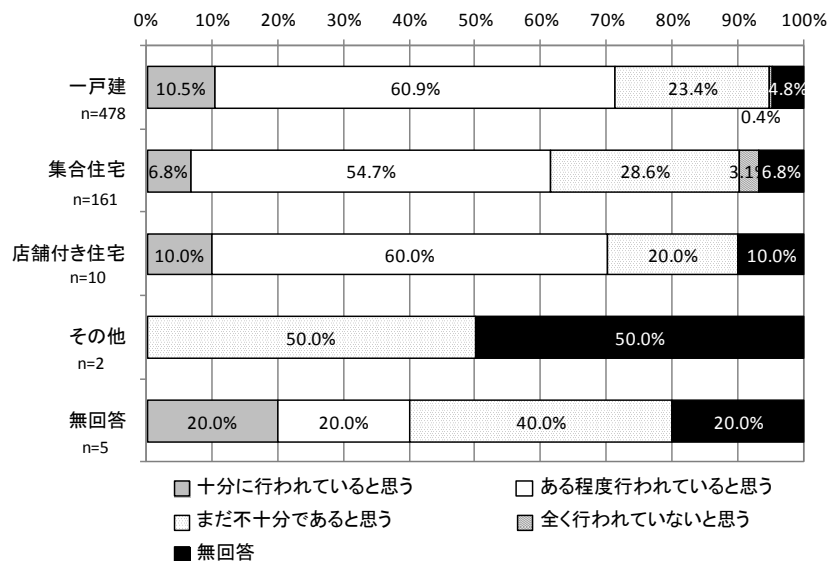
## 【年齢別】

市の行うごみ減量・リサイクルに関する啓発や情報提供について年齢別でみると、30～50歳代で満足度が低い一方、20歳代及び60～70歳代では比較的高くなっています。



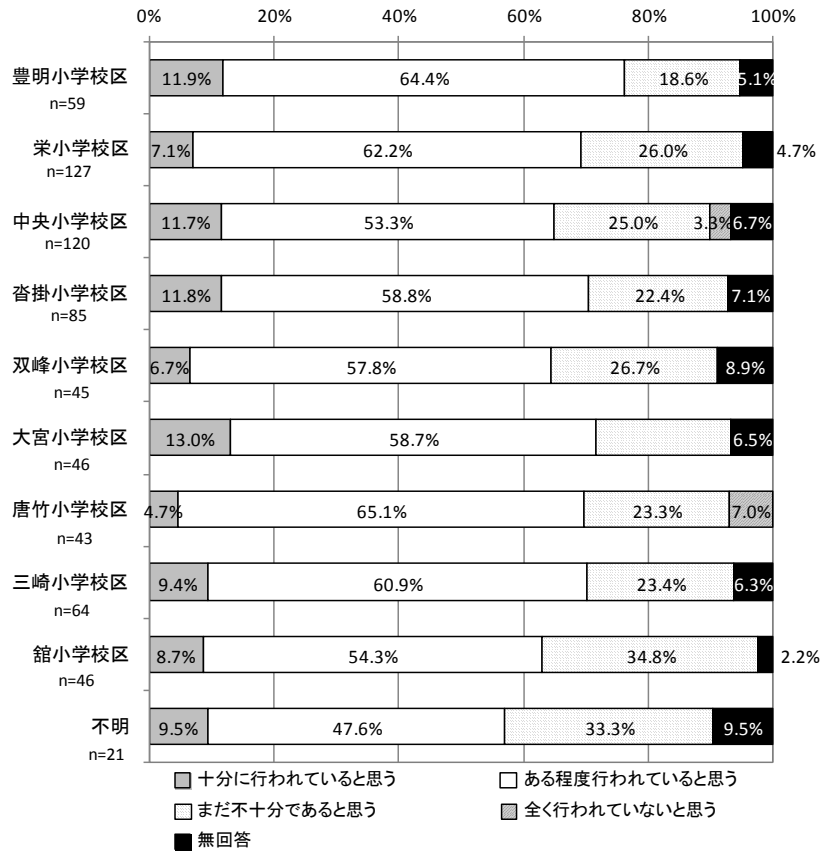
## 【住居形態別】

市の行うごみ減量・リサイクルに関する啓発や情報提供について住居形態別でみると、一戸建てや店舗付き住宅に比べて集合住宅の満足度が低くなっています。



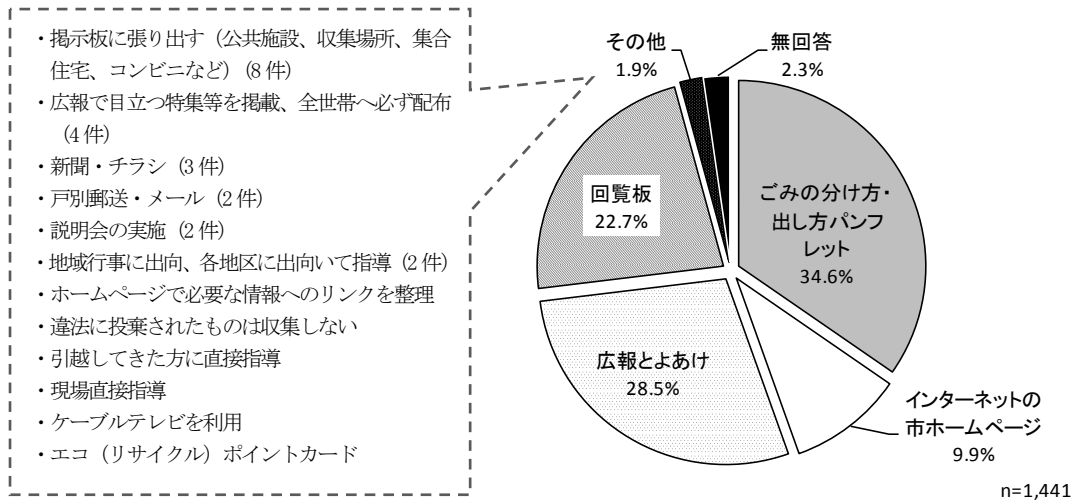
## 【地区別】

市の行うごみ減量・リサイクルに関する啓発や情報提供について地区別でみると、以下のとおりです。



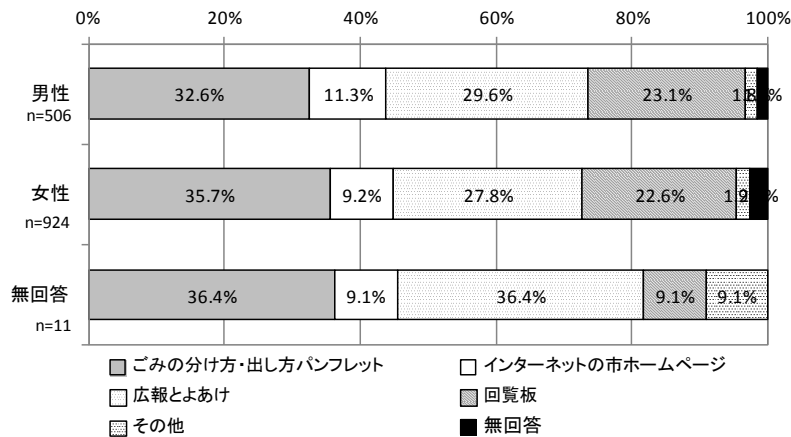
問27 市がごみに関する情報をお知らせする場合、どのような方法が有効だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

有効だと思う情報提供について、「ごみの分け方・出し方パンフレット」が34.6%とも最も多く、それに続いて「広報とよあけ」が28.5%、「回覧板」が22.7%となっています。



**【男女別】**

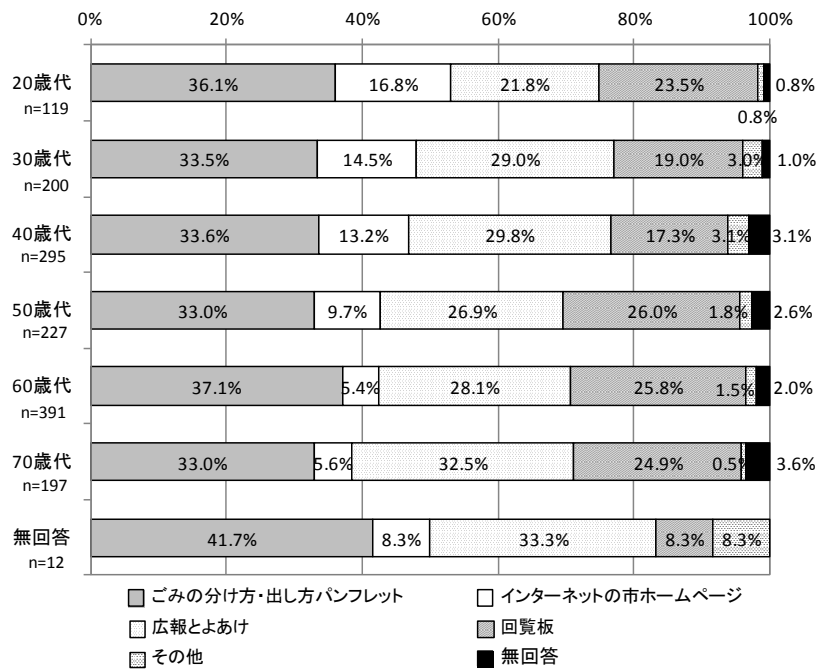
有効だと思う情報提供について男女別で見ると、男性・女性共に同じような割合となっており、「ごみの分け方・出し方パンフレット」が最も多く、それに続いて「広報とよあけ」、「回覧板」となっています。



## 【年齢別】

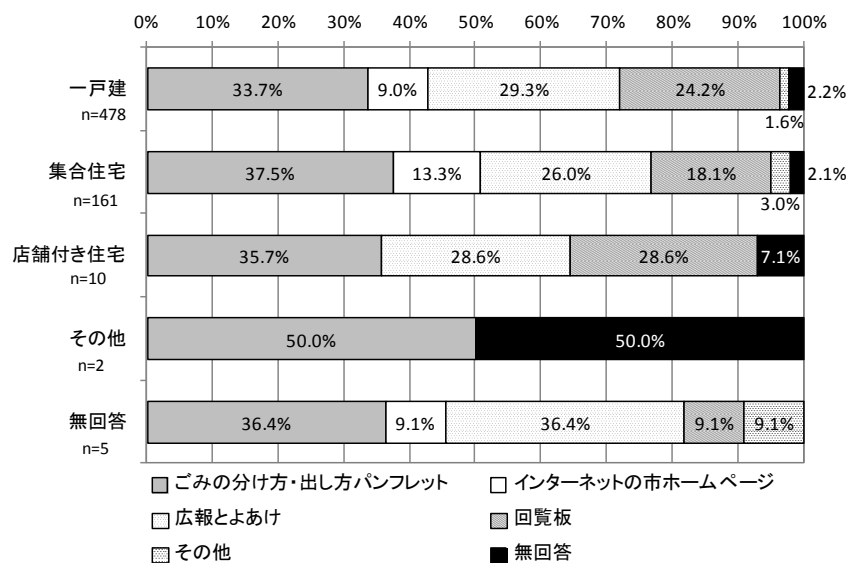
有効だと思う情報提供について年齢別でみると、いずれの年代においても「ごみの分け方・出し方パンフレット」が最も多くなっていますが、それに続いて多いものが20歳代のみ「回覧板」で、30～70歳代では「広報とよあけ」となっています。

また、「インターネットの市ホームページ」は年代が低いほど高くなっています。



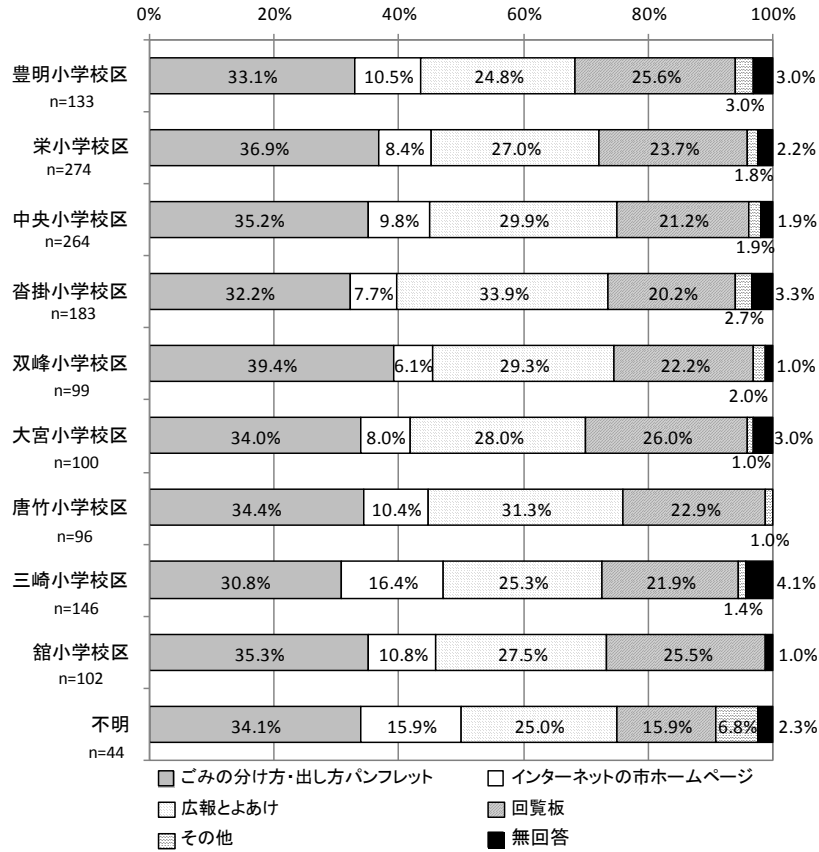
## 【住居形態別】

有効だと思う情報提供について住居形態別でみると、いずれも「ごみの分け方・出し方パンフレット」が最も多く、それに続いて「広報とよあけ」、「回覧板」となっています。



## 【地区別】

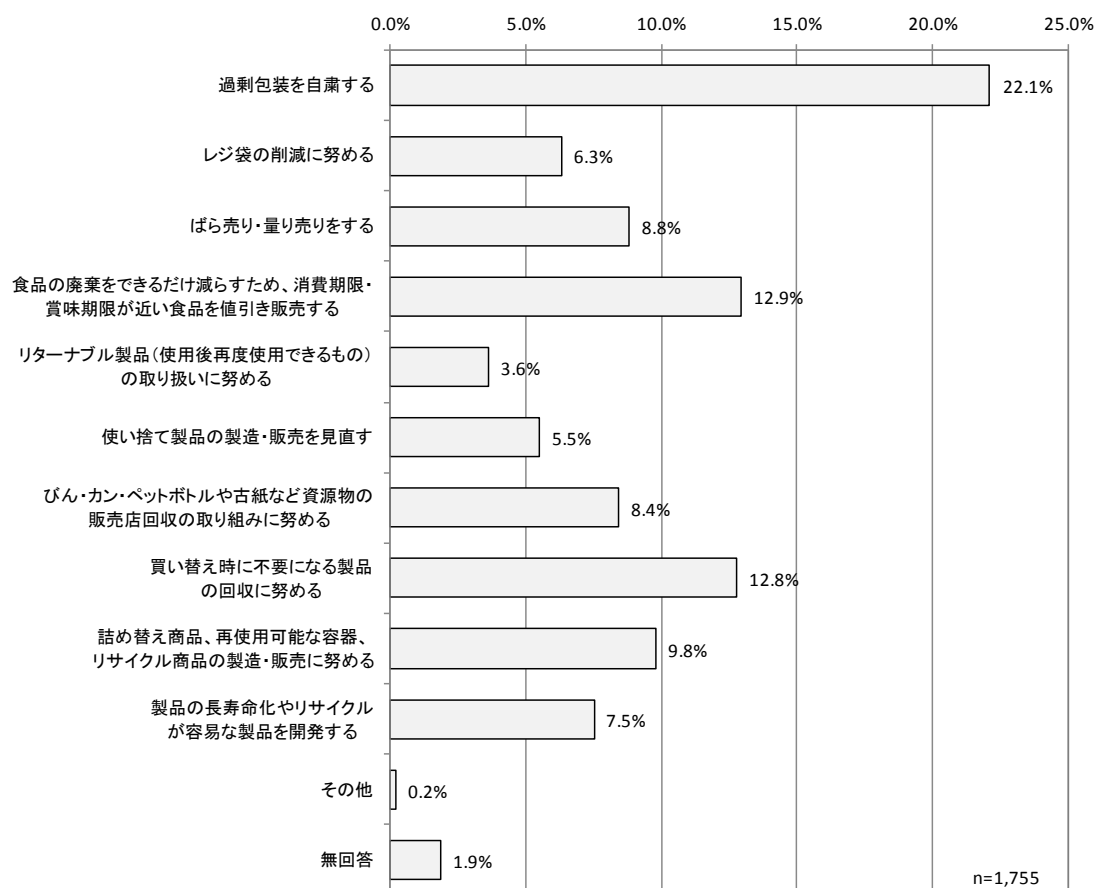
有効だと思う情報提供について地区別でみると以下のとおりです。





問28 市民のごみの減量・リサイクルを進めるため、小売店や製造業者はどのような取り組みを進めるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

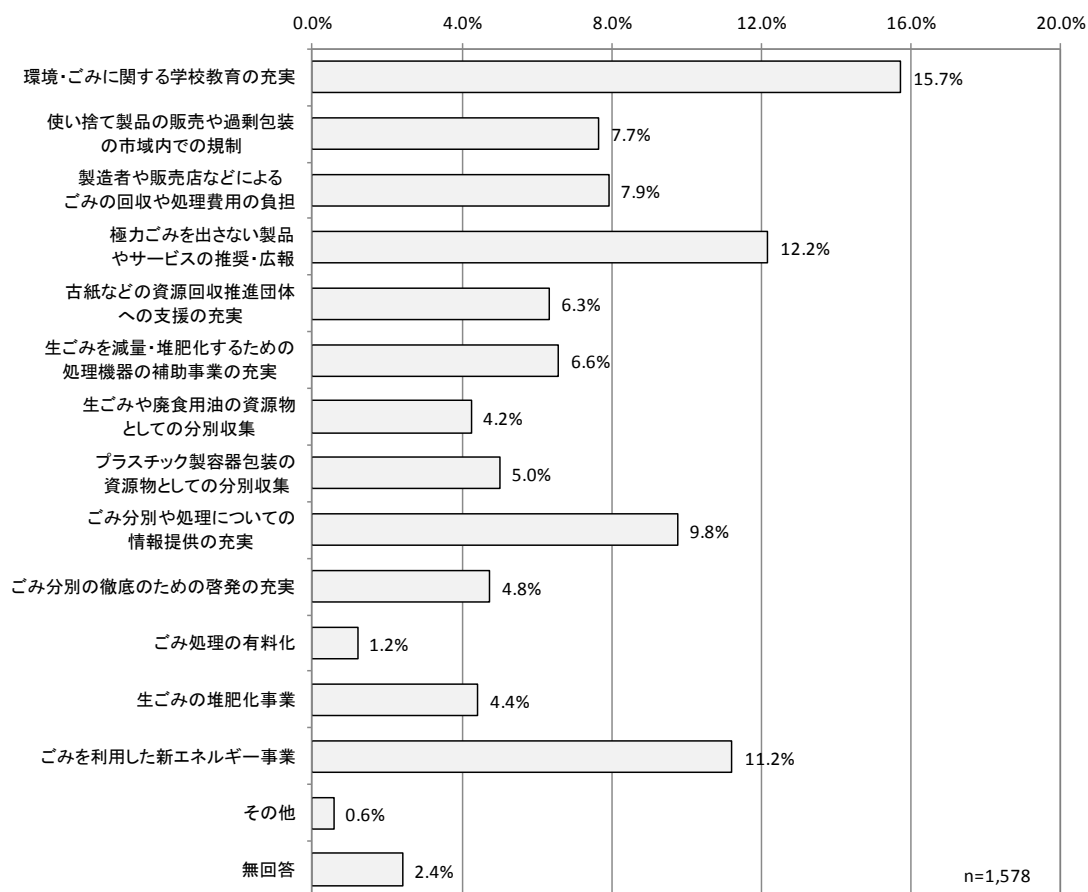
小売店や製造業者の進めるべき取り組みについて、「過剰包装を自粛する」が22.1%とも最も多く、それに続いて「食品の廃棄できるだけ減らすため、消費期限・賞味期限が近い食品を値引き販売する」が12.9%、「買い替え時に不要になる製品の回収に努める」が12.8%となっています。



「その他」意見	件数
ごみに対して、市民が高い意識レベルを持てるように努める事(例:無駄にごみ箱を設置しない)	1
デポジット制度とする。不法投棄の厳格徹底	1
ペットボトルは、どのメーカーのも共通サイズ(どれも使用できる、ぴったり合うように)で、製造してほしい	1
安易に買えて、捨てられる様な物が多すぎる(100均など)	1
修理しやすい製品づくり、保証期間の延長	1
現状でよい	1

問29 ごみの減量・リサイクルを進めるうえで、市の施策として、あなたが特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

市の施策として特に力を入れるべきと思うものについて、「環境・ごみに関する学校教育の充実」が15.7%と最も多く、それに続いて「極力ごみを出さない製品やサービスの推奨・広報」が12.2%、「ごみを利用した新エネルギー事業」が11.2%となっています。



「その他」意見	件数
ごみに対する意識レベルの向上に努める	1
道路へのポイ捨てをなくすように	1
ゴミを分別して捨てやすくする。「シールがはがしやすい」など、分別が楽な商品の開発。分別したゴミを細目に捨てやすいよう、回収所の拠点を増やす	1
小型家電などの市回収制度の明確化	1
庭木せん定材の分別回収と資源化	1
リサイクル施設の充実、ごみの火力で発電	2
企業との連携（中京競馬やホンザキ電機と）	1
食育の充実（加工して食する）	1

●最後に、ごみの収集や減量・リサイクルなどに関して、ご意見・ご要望・アイデアがございましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見をその内容毎に整理すると以下のとおりです。

また、具体的内容は次ページ以降のとおりです。

自由意見の分類		件数	
1. 発生抑制	1-1. 過剰包装の自粛	8	27
	1-2. リユース	8	
	1-3. ごみ袋について	9	
	1-4. 情報提供	2	
2. 資源化	2-1. 生ごみ堆肥化	15	19
	2-2. 情報提供	4	
3. 収集・運搬	3-1. 分別区分	8	70
	3-2. ごみ置き場	9	
	3-3. リサイクルステーション	6	
	3-4. ごみの行方	4	
	3-5. 収集頻度	6	
	3-6. 収集時間	5	
	3-7. 戸別収集	2	
	3-8. 直接搬入	1	
	3-9. 廃食用油	2	
	3-10. 情報提供	18	
	3-11. マナー	4	
	3-12. その他	5	
4. 中間処理	4-1. リサイクル	1	3
	4-2. エネルギー	2	
5. ごみ処理経費	6-1 情報公開	1	3
	6-2. その他	2	
7. ボイ捨て・不法投棄		11	11
8. その他	8-1. 情報提供	3	9
	8-2. 野焼き	2	
	8-3. その他	4	

注) 自由意見の内、ごみに関する意見のみ集計

一つの回答に複数分類される意見があった場合は、分割して集計

## ■自由意見（1. 発生抑制）

分類	内容	件数
1-1. 過剰包装の自粛 (8件)	過剰包装抑制のため、容器持参などを促進し、トレイ販売の見直しを行うべき	5
	ごみが出ない商品が増えるのが理想	1
	不要で捨ててしまっているレジ袋を市指定のごみ袋として使用できると良い	1
	ばら売りやリユースの促進を行うべき	1
1-2. リユース (8件)	インターネット上でフリーマーケットのように売買できるシステムの導入を行ってはどうか	2
	リサイクルステーションやフリーマーケット等の場を増やすべき	2
	市内で不要となった学生服や自転車をリユースできるシステムを構築すべき	2
	不用品をバザーに出したりや後進国への寄付できる窓口を市でつくってはどうか	1
	「譲ります」不用品コーナーを、広報やホームページなどに記載	1
1-3. ごみ袋について (9件)	少量のごみ出しに対する対策、市指定袋の小サイズ袋の作成、軽量化	5
	ごみ袋の有料化は必要であるが、高価格だと不法投棄が増えるためバランスが大切	2
	豊明市のごみ袋を、他市と同じ様に、しぼりやすい物に変えてほしい	1
	生ごみ専用の袋が他のごみ袋と同じように販売されていたらもっと積極的に出せる	1
1-4. 情報提供 (2件)	市民（特に単身世帯の協力）を巻き込んだ取組が必要	1
	ごみの情報パンフレットによる情報の提供（地区ごとの処理費や排出量原単位の公表）	1

## ■自由意見（2. 資源化）

分類	内容	件数
2-1. 生ごみ堆肥化 (15件)	生ごみ専用ごみ袋が大きすぎて使いにくい、小袋を出してほしい	2
	生ごみを堆肥にする為、処理機を購入したものの時間がかかり大変	1
	家庭菜園の拡充で生ごみの減量を図るべき	1
	生ごみのエコ堆肥などをもっと増やし、花の街・豊明を、もっともっと花で一杯にしてほしい	1
	木材や庭の木々などの堆肥化してほしい	1
	レジ袋などを生ごみ収集袋として使用できるようにしてほしい	1
	生ごみの堆肥化の効果を情報発信することで協力しやすくなると思う	1
	生ごみを分別して排出するのが面倒	1
	生ごみの堆肥化について、現状のまま障害者の働く場を充実させてほしい。	1
	生ごみ分別収集袋の必要ない人には配らないようにしてほしい	1
	生ごみ処理機の購入補助を出してほしい	1
	生ごみの堆肥化機を無料、もしくは安くレンタルしてほしい	1
	生ごみの収集が、週2回では少なすぎる（特に夏は増やしてほしい）	1
	生ごみ用の袋が届けられていない	1
2-2. 情報提供 (4件)	子供に、リサイクルやごみの分別に関心の持てる授業や講義、見学をする機会が多くあると良い	2
	分別ごみがわかりにくいので、明確にしてほしい	1
	広報車で地区を巡回しリサイクル品の呼びかけを行い回収をする	1
	小型家電、パソコンの回収について周知してほしい	1

## ■自由意見（3. 収集・運搬）

分類	内容	件数
3-1. 分別区分 (8件)	分別が分かりにくいごみについて分かるように広報してほしい	2
	ごみ収集時に間違ってお出されているものについて、正しく出すように周知させるべき	2
	隣接している市町とごみの分別方法がかなり違うことに疑問を感じる	1
	可燃ごみの中に資源が入っており、一人一人の意識改革が必要	1
	コスト削減のために、無駄な分別をやめるべき	1
	ペットボトルキャップも、分別（資源）の日に回収すれば良いと思う	1
3-2. ごみ置き場 (9件)	高齢者のために、収集場所を自宅近くに設置するなどの配慮がほしい	3
	集合住宅のごみ収集場所をフェンスで囲うなど整備してほしい	1
	どのごみ置き場にも、ネットなどを付けた方が良いと思う。	1
	ごみ置き場に排出している時間帯を具体的に案内してほしい	1
	常にビンや缶を捨てられる場所があると便利です	1
	燃えるごみの収集場所を増やすことで、排出者のマナー向上になると思う	1
	各家庭でごみの分別ボックスを設置するとうい	1
3-3. リサイクルステーション (6件)	資源ごみステーションを各地域に1ヶ所ずつ設置してほしい	2
	常設資源ごみステーションの設置（24時間365日使用できるもの）	2
	資源ごみの収集日を増やすか、いつでも持ち込みできる施設を造ってほしい	1
	廃油、生ごみを休日にもしてほしい。回収箇所も増設してほしい。	1
3-4. ごみの行方 (4件)	資源ごみがどのようなルートを経て処理させているのか知りたい	4
3-5. 収集頻度 (6件)	資源ごみの分別収集の頻度を増やしてほしい	5
	集合住宅で、ごみの日にしかごみ出しができないのも結構辛いので、何とかしてほしい。	1
3-6. 収集時間 (5件)	仕事などの理由で出せないため、資源ごみ回収の時間帯を見直してほしい	3
	前日から排出しないように、ごみを出す時間を守るべき	1
	燃えるごみの回収時間をもう少し早く回収してほしい	1
3-7. 戸別収集 (2件)	壊れた家具など回収に来てほしい	1
	高齢者が益々増えるので、全市自宅前収集（回収）とする事はできませんか。	1
3-8. 直接搬入 (1件)	粗大ごみは、「持ち込みなら無料」にしてほしい	1
3-9. 廃食用油 (2件)	食用油は、炒め物などに使い切ってしまうが良いと思います。	1
	廃食用油の専用ボトル（収集容器）や回収場所の増設など、お願いします。	1
3-10. 情報提供 (18件)	アパートやマンションなどに、ごみの分別の仕方を周知する方法を考えてほしい	5
	出し方のパンフレットに載っていない物が多く、分別が分かりにくい	2
	子供達への教育を行うことは大人になってからも活かされると思うので有意義だと思います。	2
	ひとり暮らしの老人、若い人にごみに関する情報発信をしてはどうか	1
	分別方法の周知に力を入れ、誰でも協力できるレベルをしっかりと確立すべき	1
	分別や出し方について、マナーの良い地区を紹介して意識向上を図ってはどうか	1
	ごみの分別、リサイクルについて、区や班ごとに説明会を実施し、情報交換の場をつくるべき	1

3-10. 情報提供 (18件)	アパート経営者、入居者の町内会への登録、町内会費の実施	1
	広報による啓発の実施	1
	転入者に対する窓口説明等、ごみ処理方法の周知徹底。	1
	ごみ減量・資源化についてその成果が実感できるような情報の発信をしてほしい	1
	粗大ごみの回収方法をわかりやすくするべき	1
3-11. マナー (4件)	「ごみの分別が正しくできているのか」の監視の徹底。不十分な分別は持って行かない。	1
	ごみを時間外に出した場合の罰則（警察OBなどの協力、監視で出来る）	1
	犬、猫のフンの取締り	1
	外国の方のごみ出しマナーの充実	1
3-12. その他 (5件)	資源ごみも、市で収集してほしい	1
	市民一人一人が分別やリサイクルを意識してほしい	1
	リサイクル製品は、積極的に利用した方が良い	1
	ごみ処理、分別の徹底化で、ごみの減量につながると思います。	1
	粗大ごみの回収券をネットで買えるようにしてほしい。	1

#### ■自由意見（4. 中間処理）

分類	内容	件数
4-1. リサイクル (1件)	リサイクルプラザをつくり、そこでバザー等を実施してほしい	1
4-2. エネルギー (2件)	ごみを利用した新エネルギー事業を執行してほしい	1
	市内にごみ処理施設、エネルギーの利用で給湯システム、発電などの総合プラントの設置してほしい	1

#### ■自由意見（5. ごみ処理経費）

分類	内容	件数
5-1. 情報公開 (1件)	ごみを減らすことで、どれだけごみ処理費用が削減できるかの情報を公開してはどうか	1
5-2. その他 (2件)	資源ごみ推進委員への支払いをもとに戻すべき	1
	無駄な経費を使わないようにしてほしい	1

#### ■自由意見（6. ポイ捨て・不法投棄）

分類	内容	件数
6. ポイ捨て・不法投棄 (11件)	ポイ捨てや不法投棄について、取り締まりの強化や厳しく罰する規定があると良い	5
	「ポイ捨て禁止」の徹底、PRの実施	2
	ごみ拾いの活動を大人、子供関係なく実施すべき	1
	「ごみ捨て禁止、持ち帰る」等の看板を設置してはどうか	1
	ごみが散乱しているのを目にするので、市で見回りを実施し、処理してほしい	1
	豊明市は「花の街」と言っていますが、公園付近の道路はごみだらけで、すぐ汚れている時があります。「ごみの街」ですよね。「一人一人の意識改革を如何にするか」が課題でしょうか。	1

## ■自由意見（7. その他）

分類	内容	件数
7-1. 情報提供 (3件)	広報が配布されておらず情報を得られない	2
	ごみ対策について大きな問題として取り上げて、市民にわかる様に情報を教えてほしい	1
7-2. 野焼き (2件)	田畑での野焼きに対して指導してほしい	2
7-3. その他 (4件)	販売されている商品について、資源として分別排出しやすいようなデザインにしてほしい	1
	定期的にこういった要望書を記入する機会があるといい	1
	時代背景や価値観、技術革新などにより変化するので、よく研究していくことが必要でしょう。	1
	家電のリサイクル料金は、購入時の金額に含めてほしい。	1